



Color LaserJet Enterprise MFP M577

ユーザースガイド



M577dn



M577f



M577z



www.hp.com/support/colorljM577MFP



HP Color LaserJet Enterprise MFP M577

ユーザーガイド

著作権およびライセンス

© 2015 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 3, 1/2019

商標表示

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Computer, Inc. の商標です。iPod は Apple Computer, Inc. の商標です。iPod にコピーできる音楽は、合法的なものまたは権利者の許可を受けたものに限り、音楽を無断でコピーしないでください。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

目次

1 プリンタの概要	1
プリンタ図	2
プリンタ前面図	2
プリンタ背面図	3
インタフェースポート	4
コントロールパネル	4
プリンタの仕様	6
技術仕様	7
サポートされているオペレーティングシステム	9
モバイル印刷ソリューション	13
プリンタの寸法	13
電力消費、電気仕様、および稼働音	15
動作環境範囲	16
プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール	17
2 給紙トレイ	19
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット	20
はじめに	20
トレイ 1 の用紙の向き	21
代替レターヘッドモードの使用	22
プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化	23
トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット	24
はじめに	24
トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き	26
代替レターヘッドモードの使用	27
プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化	27
封筒のセットと印刷	28
はじめに	28
封筒の印刷	28

封筒の向き	28
ラベルのセットと印刷	29
はじめに	29
ラベル紙の手差し	29
コンビニエンス ステイプラーの使用 (f、c、および z モデル)	31
3 サプライ品、アクセサリ、部品	33
サプライ品、アクセサリ、部品の注文	34
注文	34
サプライ品およびアクセサリ	34
カスタマ セルフ リペア部品	36
トナー カートリッジの交換	38
はじめに	38
トナー カートリッジ情報	38
カートリッジの取り外しと交換	40
トナー回収ユニットの交換	43
はじめに	43
トナー回収ユニットの取り外しと交換	43
ステイプル カートリッジの交換 (f、c、および z モデル)	46
はじめに	46
ステイプル カートリッジの取り外しと交換	46
4 印刷	49
印刷タスク (Windows)	50
印刷する方法 (Windows)	50
自動両面印刷 (Windows の場合)	52
手動両面印刷 (Windows)	52
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)	53
用紙タイプの選択 (Windows)	53
補足的な印刷タスク	54
印刷タスク (OS X)	55
印刷方法 (OS X)	55
自動両面印刷 (OS X)	55
手動両面印刷 (OS X)	55
1 枚の用紙に複数ページを印刷 (OS X)	56
用紙タイプの選択 (OS X)	56
補足的な印刷タスク	56
プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	58
はじめに	58

保存ジョブの作成 (Windows の場合)	58
保存ジョブの作成 (OS X の場合)	59
保存ジョブの印刷	60
保存したジョブの削除	60
モバイル印刷	62
はじめに	62
HP ePrint (電子メール使用)	62
HP ePrint ソフトウェア	63
AirPrint	63
Android 内蔵印刷	64
Wi-Fi ダイレクト印刷と NFC 印刷	64
USB ポートからの印刷	66
はじめに	66
USB ポートを有効化して印刷	66
USB からの文書の印刷	67

5 コピー 69

コピーする	70
両面コピーする	71
補足的なコピー タスク	72

6 スキャン 73

[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ	74
はじめに	74
作業を開始する前に	74
方法 1: [電子メール セットアップ] ページを使用	75
方法 2: [電子メール セットアップ] ウィザードの使用	81
Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ	83
はじめに	83
Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ (SMTP) の設定	83
電子メールの問題の解決	85
電子メールの送信に関する問題	85
SMTP サーバの設定を確認します。	85
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ	87
はじめに	87
作業を開始する前に	87
方法 1: [[ネットワーク フォルダに保存] のセットアップ] ページを使用	88
手順 1: スキャン データをネットワーク フォルダに送信する機能を有効にし、デフォルト ジョブ オプションを設定	88

通知設定	88
フォルダ設定	89
スキャンの設定	90
ファイル設定	93
手順 2: クイック セットをセットアップ	93
クイック セットの名前、説明、および開始オプションの指定	93
スキャンした文書の宛先フォルダの設定	94
サマリ	96
方法 2: [Save to Network Folder Quick Set Wizard] ([ネットワーク フォルダに保存] のク イック セット ウィザード) の使用	96
ネットワーク フォルダへの送信に関する問題	98
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ	99
はじめに	99
[スキャンして USB ドライブに保存] の有効化	99
デフォルトのスキャン オプションの設定	99
デフォルトのファイル名の設定	102
[スキャンして SharePoint® に保存] のセットアップ (Flow モデルのみ)	103
はじめに	103
[スキャンして SharePoint® に保存] の有効化	103
ファイルをスキャンし、Microsoft SharePoint® サイトに直接保存します。	105
クイック設定の作成	106
スキャンして電子メールに送信	108
はじめに	108
文書をスキャンして電子メールに送信	108
スキャンしてネットワーク フォルダに送信	109
はじめに	109
文書をスキャンしてフォルダに保存	109
スキャンして USB フラッシュ ドライブに保存	110
はじめに	110
文書をスキャンして USB フラッシュ ドライブに保存	110
補足的なスキャン タスク	111
7 ファックス	113
ファックスのセットアップ	114
はじめに	114
プリンタのコントロール パネルを使用したファックスのセットアップ	114
ファックス設定の変更	115
ファックス ダイアル設定	115
全般的なファックス送信設定	116
ファックス受信設定	117

ファクスの送信	119
補足的なファックス タスク	120
8 プリンタの管理	121
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定	122
はじめに	122
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法	122
HP 内蔵 Web サーバの機能	123
情報 タブ	123
一般 タブ	124
コピー/印刷 タブ	125
スキャン/デジタル送信 タブ	126
ファックス タブ	127
トラブルシューティング タブ	128
セキュリティ タブ	128
HP Web サービス タブ	129
Networking (ネットワーキング) タブ	129
その他のリンク のリスト	131
OS X 用 HP ユーティリティを使用した高度な設定	132
HP ユーティリティを開く	132
HP ユーティリティの機能	132
IP ネットワークの設定	134
プリンタ共有の免責条項	134
ネットワーク設定の表示または変更	134
ネットワーク上でのプリンタ名の変更	134
コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する	135
コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する	135
リンク速度と二重通信設定	136
プリンタのセキュリティ機能	138
はじめに	138
セキュリティ ステートメント	138
管理者パスワードの割り当て	138
IP セキュリティ	139
フォーマッタのロック	139
暗号化サポート： HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク	139
省エネ設定	140
はじめに	140
最適速度またはエネルギー使用状況	140
スリープ タイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。 ..	140
スリープ スケジュールの設定	141

HP Web Jetadmin	143
ソフトウェアおよびファームウェアの更新	144
9 問題の解決	145
カスタマ サポート	146
コントロール パネルのヘルプ システム	147
出荷時の設定に戻す	148
はじめに	148
方法 1: プリンタのコントロール パネルで出荷時の設定に戻す	148
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)	148
「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される	149
「非常にわずか」の設定の変更	149
ファックス機能付きのプリンタの場合	149
サプライ品の注文	150
給紙されない、または給紙ミスが発生する	151
はじめに	151
用紙がピックアップされない	151
複数枚の用紙がピックアップされる	153
文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる	157
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング	157
紙詰まりの解消	160
はじめに	160
紙詰まりの場所	160
自動ナビゲーションによる紙詰まり解消	161
紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する	161
文書フィーダの紙詰まりの解消	161
トレイ 1 の紙詰まりの解消	164
トレイ 2 の紙詰まりの解消	166
オプションの 550 枚トレイの紙詰まりの解消	171
右のドアおよびフューザ エリアから紙詰まりの除去	176
排紙ビンの紙詰まりの解消	181
印刷品質の改善	182
はじめに	182
別のソフトウェア プログラムからの印刷	182
印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認	182
用紙タイプ設定の変更 (Windows)	182
用紙タイプ設定の確認 (OS X)	183
トナー カートリッジ ステータスの確認	183

プリンタのクリーニング	184
クリーニング ページの印刷	184
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	184
トナー カートリッジを目視で調べる	185
用紙および印刷環境の確認	186
手順 1: HP 仕様を満たす用紙の使用	186
手順 2: 環境の確認	186
手順 3: 各トレイ位置の設定	186
カラー設定を調整する (Windows の場合)	187
印刷品質ページの印刷と確認	188
プリンタを校正してカラーを調整	188
別のプリント ドライバで試行	189
コピーのイメージ品質を向上させる	191
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	191
スキャナの校正	192
用紙設定を確認する	193
用紙サイズとタイプの設定の確認	193
コピーに使用するトレイの選択	193
イメージ調整設定を確認する	193
テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する	194
最小マージン コピー	194
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング	194
スキャンのイメージ品質を向上させる	197
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	197
解像度設定を確認する	198
カラー設定を確認する	199
イメージ調整設定を確認する	199
テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する	200
出力品質設定を確認する	200
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング	200
ファックスのイメージ品質を向上させる	203
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	203
送信ファックスの解像度設定を確認する	205
イメージ調整設定を確認する	205
テキストまたは画像のファックス品質を最適化する	206
エラー修正設定を確認する	206
用紙の大きさに合わせる設定を確認する	206
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング	207
異なるファックス機に送信する	208
送信側のファックス機を確認する	208

有線ネットワークに関する問題の解決	210
はじめに	210
物理接続が不適切である	210
コンピュータ側で、誤った IP アドレスを使用している	210
コンピュータがプリンタと通信できない	210
プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある	211
新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある	211
コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある	211
プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある	211
ファックスに関する問題を解決する	212
ファックスの問題を解決するためのチェックリスト	212
どのような種類の電話回線を使用していますか？	212
サージ保護装置を使用していますか？	212
電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？	213
電話回線に割り込み通話機能はありますか？	213
ファックス アクセサリのステータスの確認	213
一般的なファックスの問題	214
ファックスを送信できない	214
プリンタのコントロールパネルに【メモリ不足です】というステータスメッセージが表示される	214
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される	214
停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された	214
ファックスアドレス帳ボタンが表示されない	214
HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない	214
オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される	214
受信者ボックスに名前と番号が混在している	215
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される	215
ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる	215
ファックス アクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる	215
索引	217

1 プリンタの概要

- [プリンタ図](#)
- [プリンタの仕様](#)
- [プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

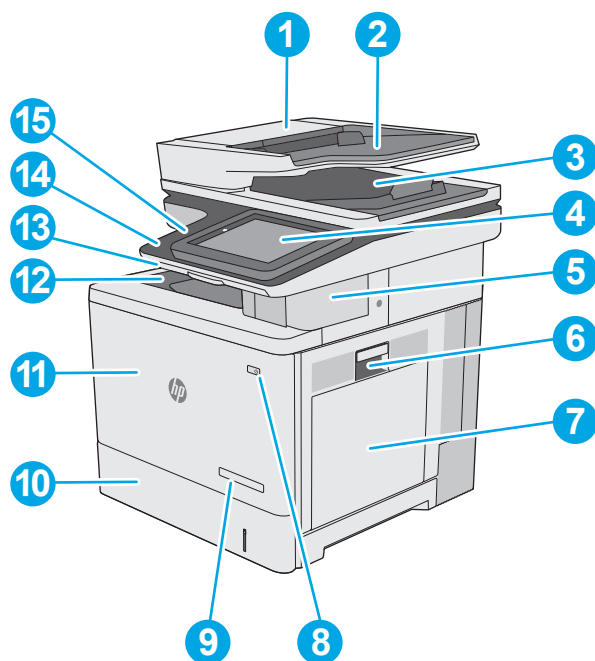
お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

プリンタ図

- [プリンタ前面図](#)
- [プリンタ背面図](#)
- [インターフェースポート](#)
- [コントロールパネル](#)

プリンタ前面図



1	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
2	文書フィーダの給紙トレイ
3	文書フィーダの排紙ビン
	注記: 文書フィーダから長い用紙をセットする場合、用紙止めを排紙ビンの右側位置まで広げます。
4	カラータッチスクリーンディスプレイ付きコントロールパネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
5	コンビニエンス ステイプラ (f、c、および z モデルのみ)
6	右のドア (フューザを操作したり紙詰まりの解消時に開く)
7	トレイ 1
8	オン/オフ ボタン
9	モデル名
10	トレイ 2
11	正面ドア (トナー カートリッジへのアクセス)
12	標準排紙ビン
13	物理キーボード (c および z モデルのみ) キーボードをまっすぐに引き出して使用します。

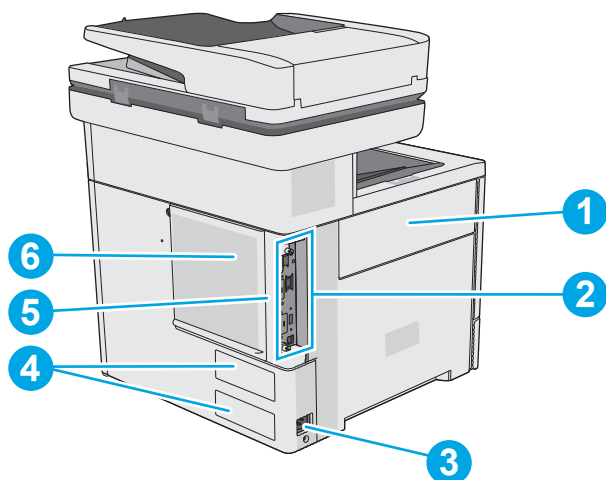
14 イージーアクセス USB ポート (コントロールパネル側)

USB フラッシュ ドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアをアップグレードすることができます。

注記：管理者がポートを有効にしておく必要があります。

15 ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)

プリンタ背面図



1 トナー回収ユニット ドア

2 フォーマッタ (インタフェース ポートを収容)

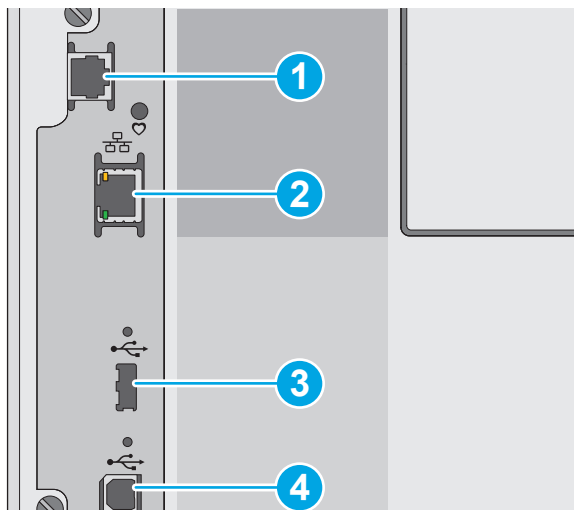
3 電源接続

4 シリアル番号および製品番号ラベル

5 ケーブル式セキュリティ ロック用スロット (プリンタの後部カバー上)

6 フォーマッタ カバー

インタフェースポート



1 ファックスポート (f、c、および z モデルのみ。dn モデルではポートはカバー付き)

2 ローカルエリアネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワークポート

3 外部 USB デバイス接続用 USB ポート (カバー付きの場合あり)



注記： イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロールパネルの近くにある USB ポートを使用してください。

4 高速 USB 2.0 印刷ポート

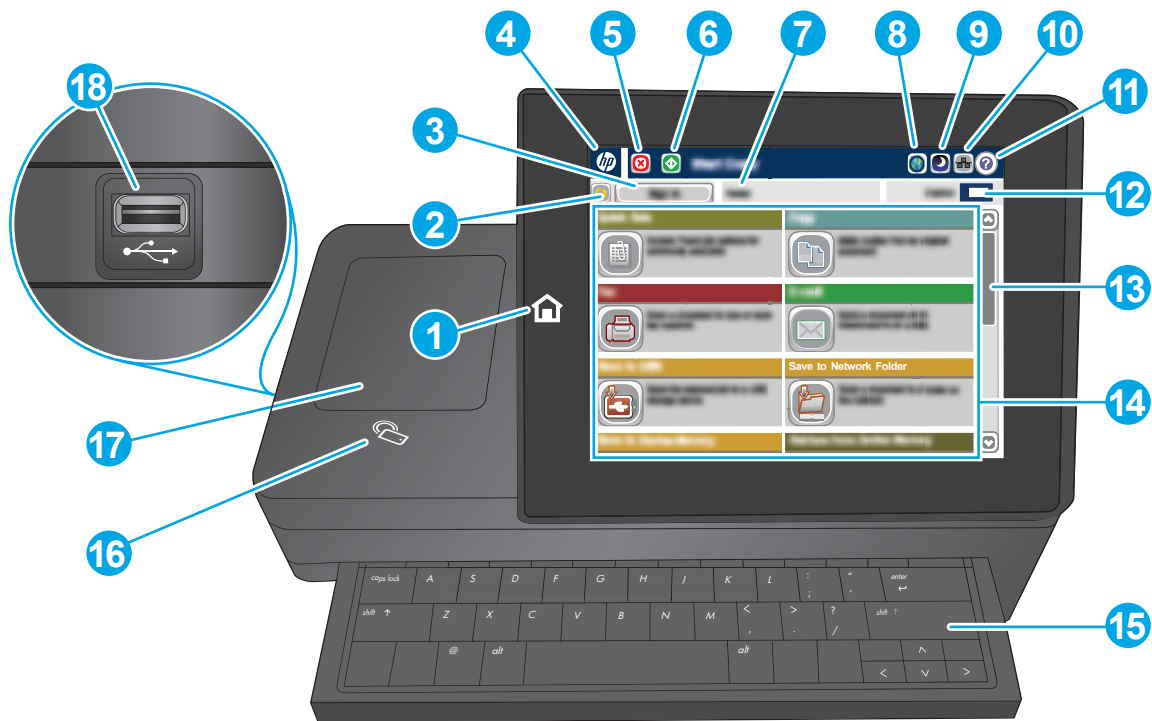
コントロールパネル




注記： コントロールパネルは、見やすい角度に傾けることができます。

ホーム画面からプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

ホーム  ボタンをタッチすれば、いつでもホーム画面に戻ることができます。プリンタのコントロールパネルの左側にある【ホーム】  ボタンをタッチするか、ほとんどの画面の左上隅に表示される【ホーム】ボタンをタッチします。


注記： ホーム画面に表示される機能は、プリンタの構成によって異なる場合があります。



1	ホーム  ボタン	ホーム ボタンにタッチすると、いつでもプリンタのホーム画面に戻ることができます。
2	更新 ボタン	【更新】ボタンにタッチすると、すべての変更がクリアされ、デフォルトの設定に戻ります。
3	サインインまたはサインアウト ボタン	保護された機能を利用するには、サインイン ボタンにタッチします。 プリンタからログオフするには、サインアウト ボタンにタッチします。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。
4	HP ロゴまたは ホーム ボタン	【ホーム】画面以外の画面では、HP ロゴの代わりに、【ホーム】ボタンが表示されます。【ホーム】ボタンをタッチして、ホーム画面に戻ります。
5	⏹️ [停止] ボタン	現在のジョブを停止するには、【停止】ボタンにタッチします。ジョブ ステータス画面が開き、ジョブを停止または続行することができます。
6	▶️ [スタート] ボタン	コピー ジョブを開始するには、【スタート】ボタンにタッチします。
7	プリンタステータス	ステータス ラインには、プリンタの全体的なステータスに関する情報が表示されます。
8	【言語の選択】 ボタン	コントロールパネルに表示する言語を選択するには、【言語の選択】ボタンにタッチします。
9	【スリープ】 ボタン	プリンタをスリープ モードに移行させるには、【スリープ】ボタンにタッチします。
10	ネットワーク  ボタン	ネットワーク接続情報を確認するには、【ネットワーク】ボタンにタッチします。
11	ヘルプ  ボタン	【ヘルプ】ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプシステムが表示されます。
12	部数フィールド	部数 フィールドには、設定されたコピー数が表示されます。
13	スクロール バー	利用できる全機能一覧を閲覧するにはスクロールバーを使用します。

14 機能	<p>プリンタの設定に応じて、この領域には次の機能のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイック セット ● コピー ● 電子メール ● ファックス ● USB に保存 ● ネットワーク フォルダに保存 ● デバイス メモリに保存 ● USB から取得 ● デバイス メモリから取得 ● SharePoint® に保存 (c および z モデルのみ) ● ジョブ ステータス ● サプライ品 ● トレイ ● 管理 ● デバイス メンテナンス
15 キーボード (c および z モデルのみ)	このプリンタは物理キーボードを搭載しています。キーは、プリンタのコントロールパネルでの仮想キーボードのマッピング方法と同じ方法で、使用する言語にマッピングされています。仮想キーボードのキーボード配列が変更された場合、物理キーボードは新しい設定に合わせて再度マッピングされます。
16 近距離無線通信アイコン (z モデルのみ)	このアイコンは、プリンタが統合 HP 近距離無線通信 (NFC) および Wi-Fi Direct を搭載していることを示します。
17 ハードウェア統合ポケット	アクセサリおよびサードパーティ製デバイスを接続します。
18 イージーアクセス USB ポート	<p>USB フラッシュ ドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷とスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアをアップグレードすることができます。</p> <p>注記：管理者がポートを有効にしておく必要があります。</p>

プリンタの仕様

 **重要：**以下の仕様は発表時のもので、変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/colorljm577mfp を参照してください。

- [技術仕様](#)
- [サポートされているオペレーティング システム](#)
- [モバイル印刷ソリューション](#)
- [プリンタの寸法](#)

- [電力消費、電気仕様、および稼働音](#)
- [動作環境範囲](#)

技術仕様

モデル名		M577dn	M577f	Flow M577c	Flow M577z
製品番号		B5L46A	B5L47A	B5L54A	B5L48A
用紙処理	トレイ 1 (100 枚給紙トレイ)	✓	✓	✓	✓
	トレイ 2 (550 枚給紙トレイ)	✓	✓	✓	✓
	550 枚 x 1 段用紙フィーダ	オプション	オプション	オプション	オプション
	注記: プリンタには、550 枚 x 1 段用紙フィーダを 3 台まで装着できます。				
	プリンタ キャビネット	オプション	オプション	オプション	オプション
	自動両面印刷	✓	✓	✓	✓
	ステイプラ	サポートされていません	✓	✓	✓
接続性	IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	✓	✓	✓	✓
	高速 USB 2.0	✓	✓	✓	✓
	コンピュータを介さない印刷用およびファームウェアのアップグレード用のイーザーアクセス USB ポート	✓	✓	✓	✓
	アクセサリやサードパーティ製デバイスを接続するためのハードウェア統合ポケット	✓	✓	✓	✓
	HP 内蔵 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション
	モバイルデバイスから印刷するための統合 HP 近距離無線通信 (NFC) および Wi-Fi Direct 機能	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	✓
	HP Jetdirect 3000w NFC/ワイヤレスアクセサリ (モバイルデバイスからの印刷用)	オプション	オプション	オプション	サポートされていません
	HP Jetdirect 2900nw プリントサーバアクセサリ (ワイヤレス接続用)	オプション	オプション	オプション	オプション

モデル名		M577dn	M577f	Flow M577c	Flow M577z
製品番号		B5L46A	B5L47A	B5L54A	B5L48A
メモリ	1.75GB ベース メモリ 注記：ベース メモリは、DIMM メモリ モジュールを追加することで 2.5GB まで拡張できます。	✓	✓	✓	✓
大容量記憶装置	320GB ハード ディスク ドライブ	✓	✓	✓	✓
セキュリティ	プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	オプション	オプション	オプション	オプション
コントロールパネルディスプレイおよびキーボード	カラー タッチスクリーンのコントロール パネル	✓	✓	✓	✓
	物理キーボード	サポートされていません	サポートされていません	✓	✓
印刷	印刷速度は A4 で 38 枚/分 (ppm)、レター サイズの用紙で 40 枚/分 (ppm)	✓	✓	✓	✓
	イーザーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	✓	✓	✓	✓
	プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	✓	✓	✓	✓
ファックス		オプション	✓	✓	✓
コピーおよびスキャン	コピー速度は A4 で 38 枚/分 (ppm)、レター サイズの用紙で 40 枚/分 (ppm)	✓	✓	✓	✓
	100 ページ対応の文書フイダー (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッド スキャン機能装備)	✓	✓	✓	✓
	超音波マルチフィード 検出等の HP EveryPage テクノロジー	サポートされていません	サポートされていません	✓	✓
	内蔵された光学式文字認識 (OCR) は、印刷されたページをコンピュータで編集または検索可能なテキストに変換	サポートされていません	サポートされていません	✓	✓
	SMART ラベル機能は、用紙の端を検出して、自動的にページのトリミングを実行	サポートされていません	サポートされていません	✓	✓

モデル名	M577dn	M577f	Flow M577c	Flow M577z
製品番号	B5L46A	B5L47A	B5L54A	B5L48A
	最低 100 文字のテキストを含むページの向きを自動的に設定	サポートされていません	サポートされていません	✓
	自動トーン調整により、各ページの明暗、明るさ調整や背景除去が実現	サポートされていません	サポートされていません	✓
デジタル送信	文書を電子メール、USB、およびネットワーク上の共有フォルダに送信	✓	✓	✓
	SharePoint® に文書を送信	サポートされていません	サポートされていません	✓

サポートされているオペレーティング システム

以下の情報は、プリンタ固有の Windows PCL 6 ドライバおよび OS X プリント ドライバ、および付属のソフトウェア インストール CD に適用されます。

Windows: HP ソフトウェア インストーラ CD では、Windows オペレーティング システムに応じて「HP PCL.6」バージョン 3 プリント ドライバ、「HP PCL.6」バージョン 3 プリント ドライバ、または「HP PCL-6」バージョン 4 プリント ドライバがインストールされます。フル ソフトウェア インストーラを使用すると、オプション ソフトウェア もインストールされます。プリンタのサポート Web サイトから、次のプリンタ用の「HP PCL.6」バージョン 3 プリント ドライバ、「HP PCL.6」バージョン 3 プリント ドライバ、および「HP PCL-6」バージョン 4 プリント ドライバをダウンロードしてください。

www.hp.com/support/colorljM577MFP

Mac コンピュータ、OS X、および iOS デバイス： このプリンタは、Mac コンピュータと Apple iOS モバイル デバイスに対応しています。OS X のプリント ドライバとプリント ユーティリティは、hp.com からダウンロードできます。OS X 用の HP インストーラ ソフトウェアは、同梱の CD には収録されていません。OS X 用の HP インストーラ ソフトウェアをダウンロードするには、次の手順に従います。

1. www.hp.com/support/colorljM577MFP にアクセスします。
2. [サポート オプション] を選択し、[ダウンロード オプション] の下にある [ドライバ、ソフトウェア、およびファームウェア] を選択してから、プリンタ バンドルを選択します。
3. オペレーティング システムのバージョンをクリックし、[Download (ダウンロード)] をクリックします。

表 1-1 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ


オペレーティング システム	インストールされるプリント ドライバ (Windows の場合はソフトウェア インストーラ CD から、OS X の場合は Web 上のインストーラからインストール)	注記
Windows® XP SP3 (32 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL.6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フルソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。 Microsoft は、2009 年 4 月に Windows XP のメインストリーム サポートを終了しました。HP では、販売が終了した XP オペレーティング システムについて引き続き最善のサポートを提供します。
Windows Vista® (32 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL.6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フルソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。
Windows Server 2003 SP2 (32 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL.6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フルソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。 Microsoft は、2010 年 7 月に Windows Server 2003 のメインストリーム サポートを終了しましたが、HP では、販売が終了した Server 2003 オペレーティング システムについて引き続き最善のサポートを提供します。
Windows 7 SP1 (32 ビット版および 64 ビット版)	フルソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL.6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。	
Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL-6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フルソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。 Microsoft IN OS バージョン 4 32 ビット版ドライバを通じて、Windows 8 RT サポートが提供されます。
Windows 8.1 (32 ビット版および 64 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL-6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フルソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。 Microsoft IN OS バージョン 4 32 ビット版ドライバを通じて、Windows 8.1 RT サポートが提供されます。

表 1-1 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ (続き)

オペレーティング システム	インストールされるプリント ドライバ (Windows の場合はソフトウェア インストーラ CD から、OS X の場合は Web 上のインストーラからインストール)	注記
Windows 10 (32 ビット版および 64 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL-6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フル ソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。
Windows Server 2008 SP2 (32 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL-6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フル ソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。
Windows Server 2008 SP2 (64 ビット)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フル ソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。
Windows Server 2008 R2 SP 1 (64 ビット版)	基本ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。基本インストーラでは、ドライバのみがインストールされます。	フル ソフトウェア インストーラは、このオペレーティング システムには対応していません。
Windows Server 2012 (64 ビット)	ソフトウェア インストーラは Windows Server 2012 をサポートしていませんが、「HP PCL 6」バージョン 3 および「HP PCL-6」バージョン 4 プリンタ専用プリント ドライバはこのオペレーティング システムをサポートしています。	HP Web サイトでドライバをダウンロードし、Windows Add Printer ツールを使用してインストールを行います。

表 1-1 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ (続き)

オペレーティング システム	インストールされるプリント ドライバ (Windows の場合はソフトウェア インストーラ CD から、OS X の場合は Web 上のインストーラからインストール)	注記
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)	ソフトウェア インストーラは Windows Server 2012 をサポートしていませんが、「HP PCL 6」バージョン 3 および「HP PCL-6」バージョン 4 プリンタ専用プリント ドライバはこのオペレーティング システムをサポートしています。	HP Web サイトでドライバをダウンロードし、Windows Add Printer ツールを使用してインストールを行います。
OS X 10.8 Mountain Lion、OS X 10.9 Mavericks、OS X 10.10 Yosemite	OS X プリンタ ドライバおよびプリント ユーティリティは、hp.com からダウンロードして利用したり、Apple ソフトウェア アップデートから入手することができます。OS X 用の HP インストーラ ソフトウェアは、プリンタ同梱の CD には収録されていません。	OS X の場合、サポート Web サイトからこのプリンタ用のインストーラをダウンロードしてください。 <ol style="list-style-type: none"> www.hp.com/support/colorljM577MFP にアクセスします。 [サポート オプション] を選択し、[ダウンロード オプション] の下にある [ドライバ、ソフトウェア、およびファームウェア] を選択してから、プリンタバンドルを選択します。 オペレーティング システムのバージョンをクリックし、[Download (ダウンロード)] をクリックします。

 **注記** : 現在サポートされているオペレーティング システムの一覧については、www.hp.com/support/colorljM577MFP にアクセスし、お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプを参照してください。


 **注記** : このプリンタのクライアント、サーバ オペレーティングシステム、および HP UPD PCL6、UPD PCL 5、UPD PS ドライバ サポートの詳細については、www.hp.com/go/upd にアクセスし、[Additional information] の下のリンクをクリックして参照してください。


表 1-2 最小システム要件

Windows	Mac コンピュータおよび OS X
<ul style="list-style-type: none"> CD-ROM ドライブ、DVD ドライブ、またはインターネット接続 専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続 400MB 以上のハードディスク空き容量 1GB RAM (32 ビット) または 2GB RAM (64 ビット) 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続 1 GB 以上のハードディスク空き容量

モバイル印刷ソリューション

このプリンタは、モバイル印刷用の以下のソフトウェアに対応します。

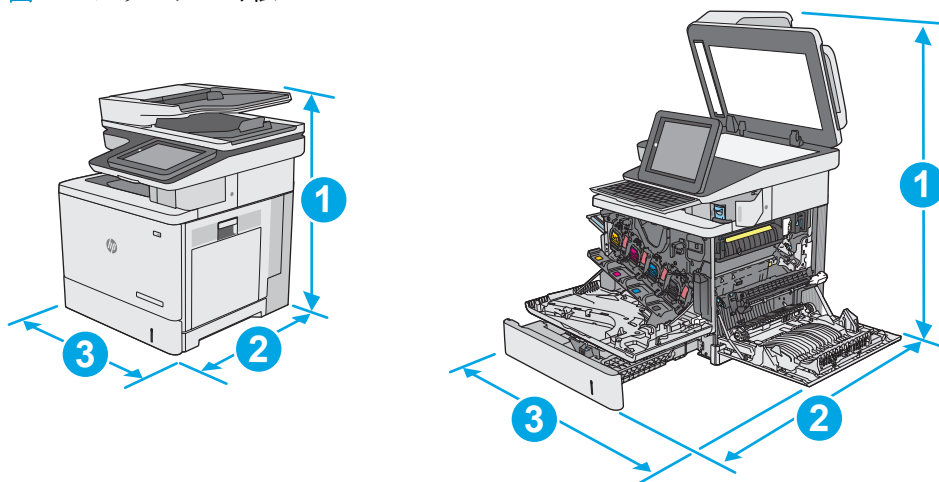
- HP ePrint ソフトウェア

 **注記**：HP ePrint ソフトウェアの対応オペレーティングシステム：Windows 7 SP 1 (32 ビット版および 64 ビット版)、Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版)、Windows 8.1 (32 ビット版および 64 ビット版)、Windows 10 (32 ビット版および 64 ビット版)、OS X バージョン 10.8 Mountain Lion、10.9 Mavericks、10.10 Yosemite。

- 電子メール経由の HP ePrint (HP Web サービスを有効化してプリンタを HP Connected に登録する必要あり)
- HP ePrint アプリ (Android、iOS、Blackberry で使用可能)
- ePrint Enterprise アプリ (ePrint Enterprise サーバソフトウェアによりすべてのプリンタでサポート)
- HP ePrint Home & Biz アプリ (Symbian/Nokia デバイスで使用可能)
- Google Cloud Print 1.0 (プリンタを HP Connected に登録し、次に Google Cloud に登録する必要あり)
- AirPrint
- Android プリント

プリンタの寸法

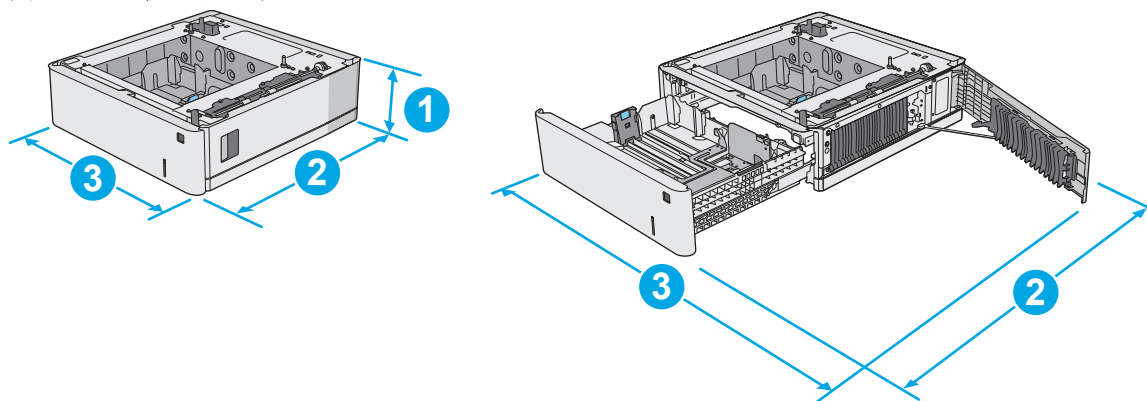
図 1-1 プリンタの寸法



	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
1. 高さ	583mm	837mm
2. 奥行き	504mm	853mm

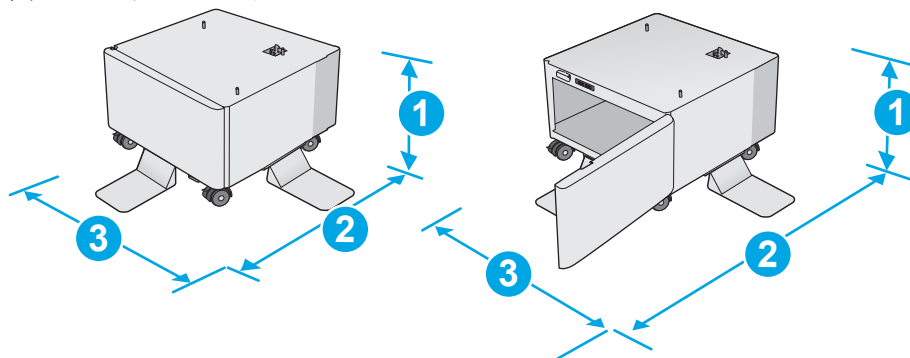
	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
3. 幅	482mm	803mm
重量	dn モデル : 38.1kg f モデル : 38.3kg c および z モデル : 38.6kg	

図 1-2 550 枚用紙フィーダの寸法



1. 高さ	130mm
2. 奥行き	トレイを閉じた状態 465mm トレイを開いた状態 : 768mm
3. 幅	右下ドアを閉じた状態 : 458mm 右下ドアを開いた状態 : 853mm
重量	5.8kg

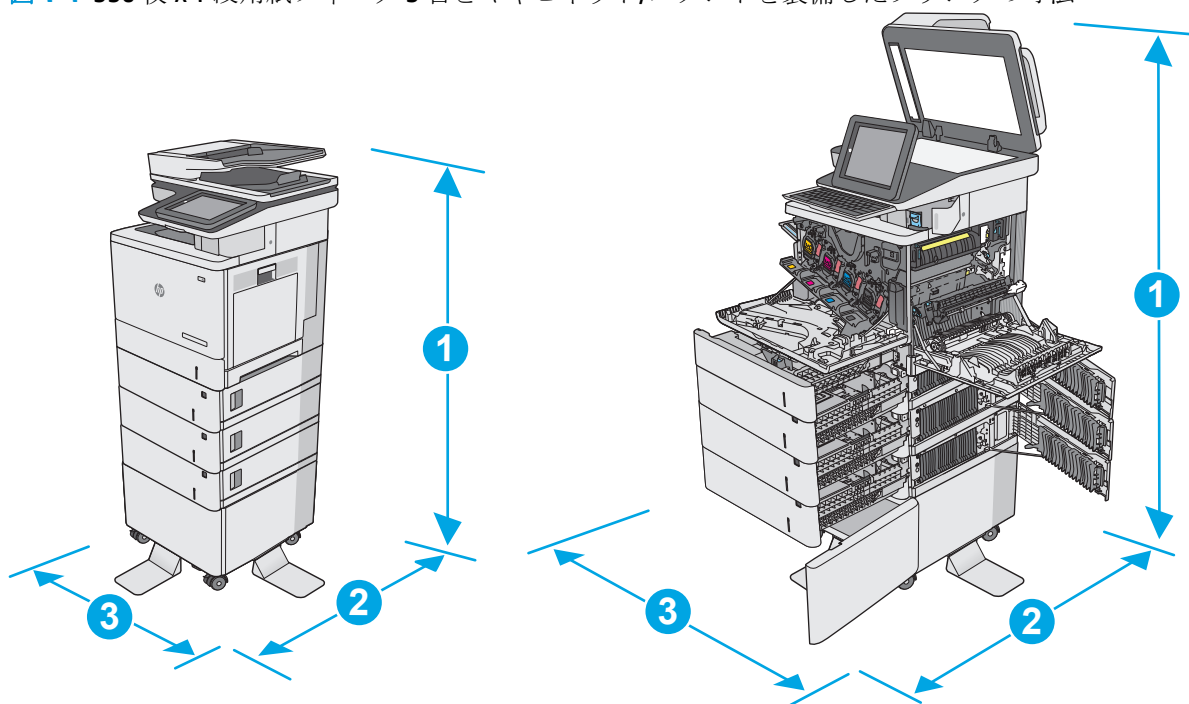
図 1-3 キャビネット/スタンドの寸法



1. 高さ	295mm
2. 奥行き	ドアが閉じた状態 869mm ドアが開いた状態 1113mm

3. 幅	884mm
	この値は変更される可能性があります。現時点の情報については、 www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。
重量	17.7kg
	この値は変更される可能性があります。現時点の情報については、 www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

図 1-4 550 枚 x1 段用紙フィーダ 3 台とキャビネット/スタンドを装備したプリンタの寸法



	プリンタとアクセサリをすべて閉じた状態	プリンタとアクセサリをすべて開いた状態
1. 高さ	1268mm	1522mm
2. 奥行き	869mm	1113mm
3. 幅	884mm	853mm
重量	dn モデル： 73.2kg f モデル： 73.4kg c および z モデル： 73.7kg	

- ¹ これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。
- ² 一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

電力消費、電気仕様、および稼働音

最新情報については、「www.hp.com/support/colorljM577MFP」を参照してください。

△注意: 電源要件は、プリンタが販売された国/地域に基づきます。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象となりません。

動作環境範囲

表 1-3 動作環境仕様

環境	推奨	許容値
温度	17 ~ 25°C	15 ~ 30°C
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	相対湿度 (RH) 10 ~ 80%

プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール

基本的なセットアップ手順については、プリンタに同梱されているハードウェアのインストールガイドを参照してください。詳細な手順については、**Web**のHPサポートを確認してください。

www.hp.com/support/colorljM577MFP にアクセスして、お使いのプリンタを含むHPの包括的なヘルプを参照します。次のサポートが含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

2 給紙トレイ

- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) に用紙をセット](#)
- [トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット](#)
- [封筒のセットと印刷](#)
- [ラベルのセットと印刷](#)
- [コンビニエンス ステイプラの使用 \(f、c、および z モデル\)](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

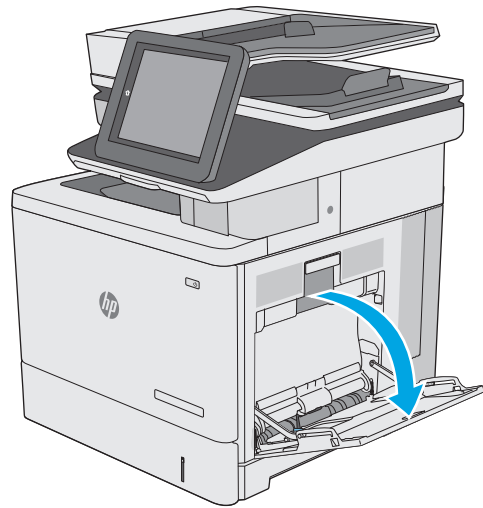
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット

はじめに

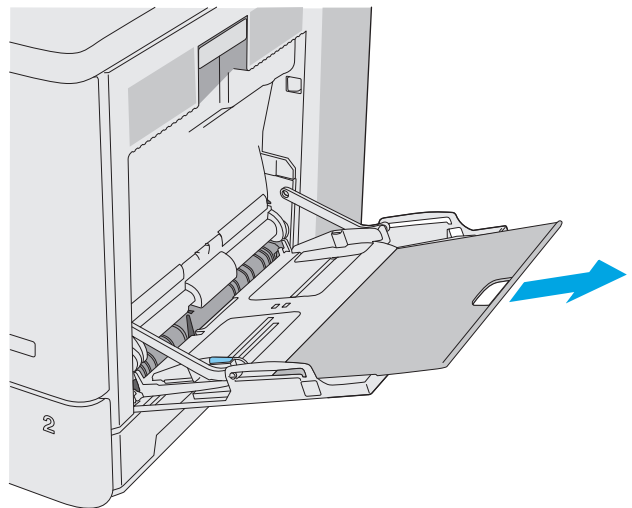
以下の情報は、トレイ 1 に用紙をセットする方法について説明するものです。このトレイには、75g/m² 用紙 100 枚まで、または封筒 10 枚までをセットできます。

- 📄 **注記**：印刷を行う前に、プリント ドライバで正しい用紙タイプを選択してください。
- 📄 **注記**：トレイ 1 はラベルに対応していません。ラベル紙に印刷するには、トレイ 2 またはオプションの 550 枚用紙フィーダのいずれかを使用します。
- ⚠️ **注意**：紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

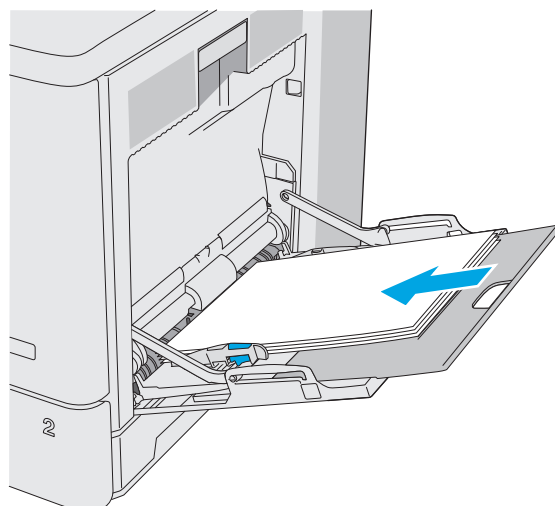
1. トレイ 1 を開きます。



2. 用紙をサポートしているトレイ拡張部を引き出します。

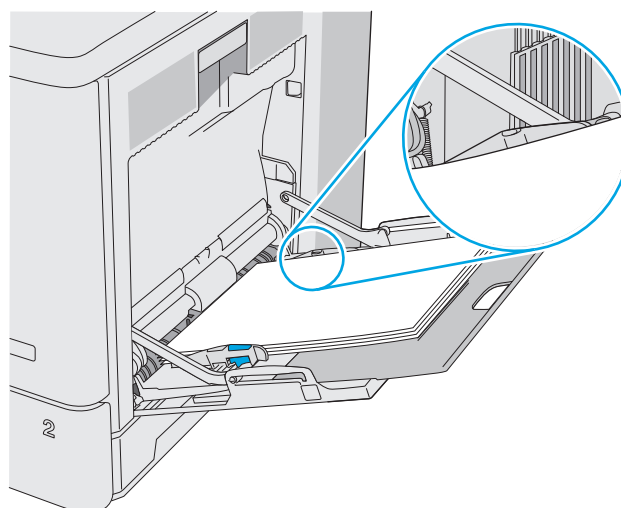


3. 用紙ガイドを該当するサイズまで広げてから、用紙をトレイにセットします。用紙の向きの詳細については、[21 ページのトレイ 1 の用紙の向き](#)を参照してください。

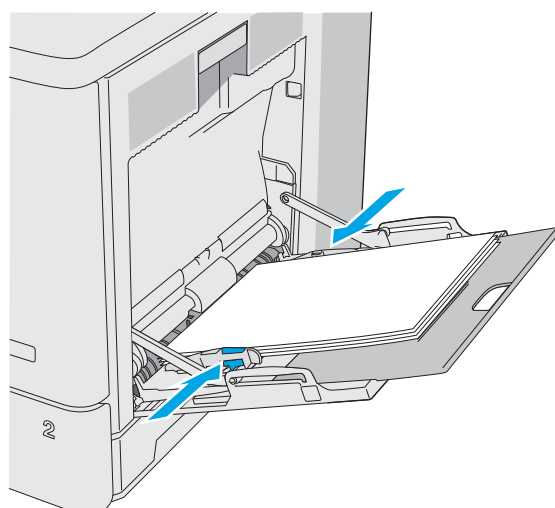


4. 用紙が用紙幅ガイドの上限ライン以内に収まっていることを確認します。

注記：積み重ねの最大高さは10mm、または75gの用紙約100枚です。




5. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。



トレイ 1 の用紙の向き

特定の向きに印刷する用紙を使用する場合は、下の表の情報に従って用紙をセットします。

 **注記：**代替レターヘッドモード設定は、レターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする方法に影響します。この設定はデフォルトでは無効になっています。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。詳細は、[22 ページの代替レターヘッドモードの使用](#)を参照してください。

用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
レターヘッドまたは印刷済み用紙	縦	下向き 上端からプリンタに挿入	上向き 下端からプリンタに挿入
	横	下向き 上端をプリンタの背面に向けてセット	上向き 上端をプリンタの背面に向けてセット
穴あき用紙	縦向きおよび横向き	穴をプリンタの背面に向けてセット	穴をプリンタの背面に向けてセット

代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

この機能を使用するには、プリンタのコントロールパネルメニューを使用して機能を有効にします。


プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**設定**メニューが表示されるまで右から左へスワイプします。**設定**アイコンにタッチしてメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **トレイの管理**
 - **代替レターヘッドモード**
3. **有効**オプションを選択し、次に**保存**ボタンにタッチするか、**OK**ボタンを押します。

トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット

はじめに

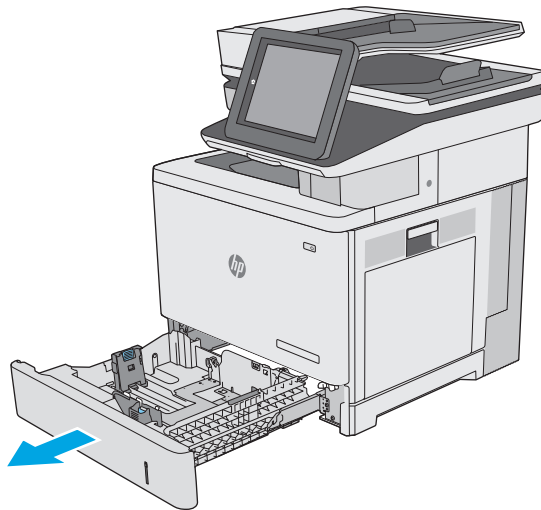
トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイ (トレイ 3/4/5、製品番号 B5L34A) に用紙をセットする手順について説明します。これらのトレイには、75g/m² 用紙 550 枚までをセットできます。

 **注記:** オプションの 550 枚トレイの用紙セット方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

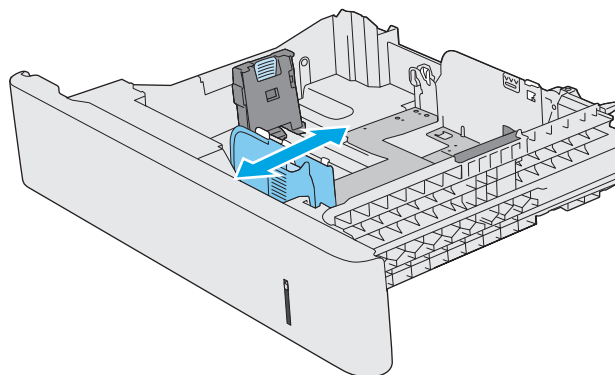
 **注意:** 一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

1. トレイを引き出します。

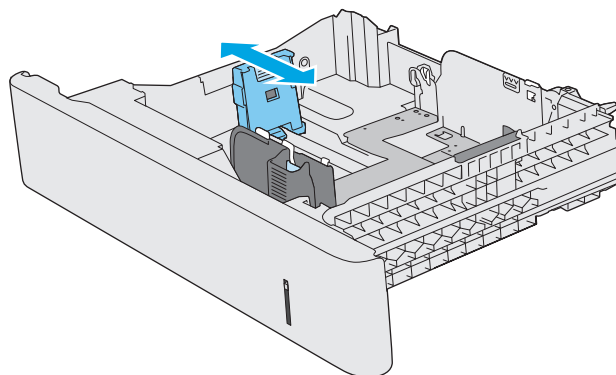
注記: プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



2. 用紙をセットする前に、横方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。



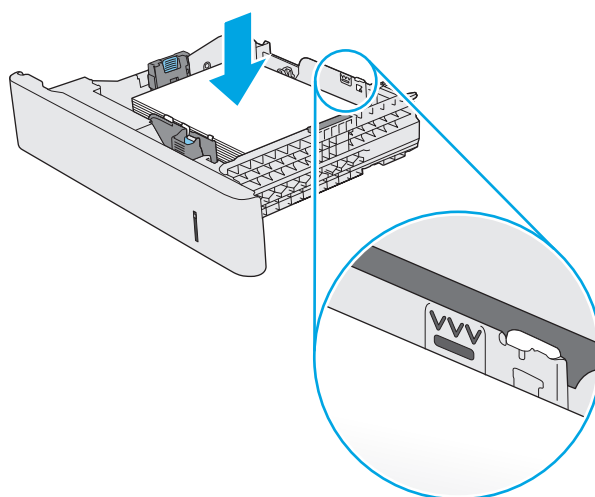
3. 縦方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



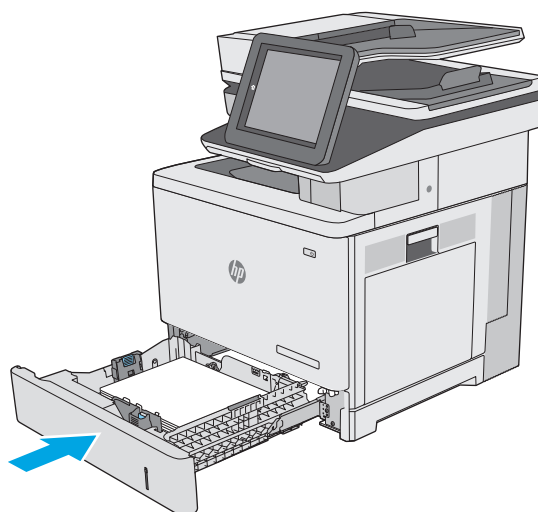
4. トレイに用紙をセットします。用紙の向きの詳細については、[26 ページのトレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き](#)を参照してください。

注記：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

注記：紙詰まりを防ぐため、用紙ガイドを正しいサイズに調整し、用紙を入れすぎないようにしてください。拡大図のように、用紙束の高さがトレイ上限線を超えていないことを確認してください。

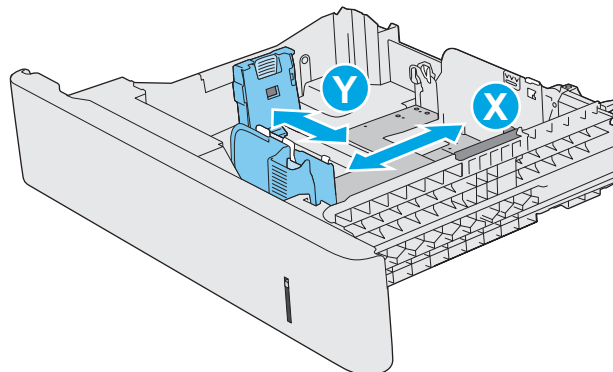


5. トレイを閉めます。



6. プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
7. 用紙サイズとタイプが適切でない場合は、**変更**を選択して、正しい用紙サイズとタイプを選んでください。

カスタムサイズの場合、プリンタのコントロールパネルにメッセージが表示された場合は、**X**および**Y**方向の寸法を指定する必要があります。

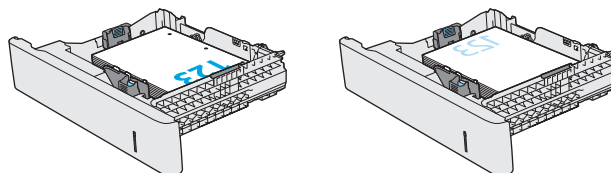


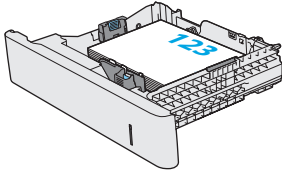
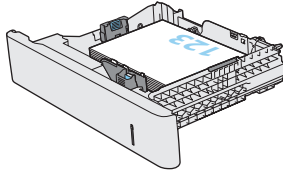
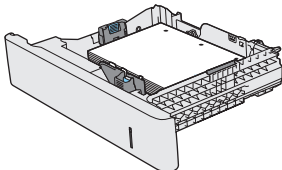
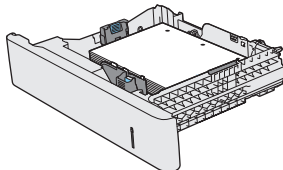
トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き

特定の向きに印刷する用紙を使用する場合は、下の表の情報に従って用紙をセットします。

注記：代替レターヘッドモード設定は、レターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする方法に影響します。この設定はデフォルトでは無効になっています。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。詳細は、[27 ページの代替レターヘッドモードの使用](#)を参照してください。

用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
レターヘッドまたは印刷済み用紙	縦	上向き 用紙の上端を右側に向けてセット	下向き 用紙の上端を左側に向けてセット



用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
	横	上向き 上端をプリンタの背面に向けてセット	下向き 上端をプリンタの背面に向けてセット
			
穴あき用紙	縦向きおよび横向き	穴をプリンタの背面に向けてセット	穴をプリンタの背面に向けてセット
			

代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

この機能を使用するには、プリンタのコントロールパネルメニューを使用して機能を有効にします。

プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**設定**メニューが表示されるまで右から左へスワイプします。**設定**アイコンにタッチしてメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **トレイの管理**
 - **代替レターヘッドモード**
3. **有効**オプションを選択し、次に**保存**ボタンにタッチするか、**OK**ボタンを押します。

封筒のセットと印刷


はじめに


以下の情報は、封筒のセットおよび印刷方法について説明するものです。封筒印刷に使用できるトレイは1のみです。トレイ1は封筒10枚までです。

手差しオプションで封筒を印刷するには、次の手順に従ってプリントドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後に封筒をトレイにセットします。

封筒の印刷

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストから製品を選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリントドライバを開きます。

 **注記**： ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記**： Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

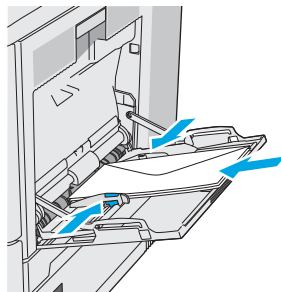
3. **[用紙/品質]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当する封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[封筒]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

封筒の向き

封筒は次のいずれかの向きにセットできます。

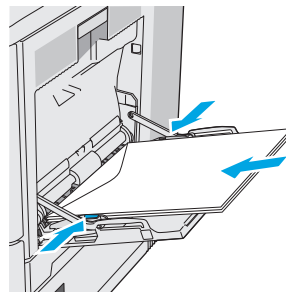
下向き

上端をプリンタの背面に向けてセット



下向き

上端からプリンタに挿入



ラベルのセットと印刷


はじめに


ラベルに印刷するには、トレイ 2 またはオプションの 550 枚トレイのいずれかを使用します。トレイ 1 はラベルに対応していません。

手差しオプションを使用してラベルを印刷するには、次の手順に従ってプリント ドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後にラベルをトレイにセットします。手差しを使用する場合、トレイの開閉が検出されるまで、プリンタは待機状態になります。


ラベル紙の手差し

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストから製品を選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。

 **注記：** ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

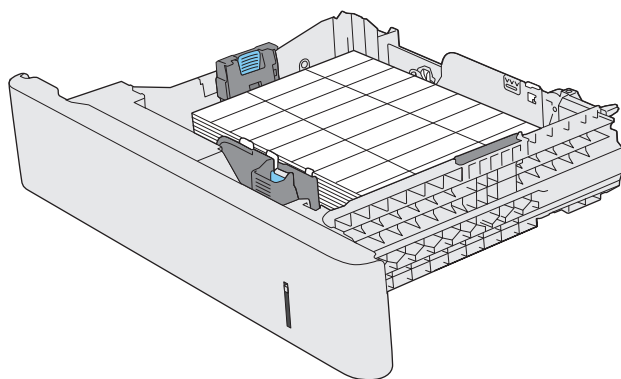
 **注記：** Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウン リストで該当するラベル紙のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストで **[ラベル紙]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウン リストで **[手差し]** を選択します。

 **注記：** 手差しを使用する場合、該当するサイズの用紙に設定されているトレイの最も番号が小さいものから給紙して印刷されるため、特定のトレイを指定する必要はありません。たとえば、トレイ 2 がラベル紙に設定されている場合、トレイ 2 から給紙されます。トレイ 3 が取り付けられていてラベル紙に設定されているが、トレイ 2 がラベル紙に設定されていない場合は、トレイ 3 から給紙されます。

7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

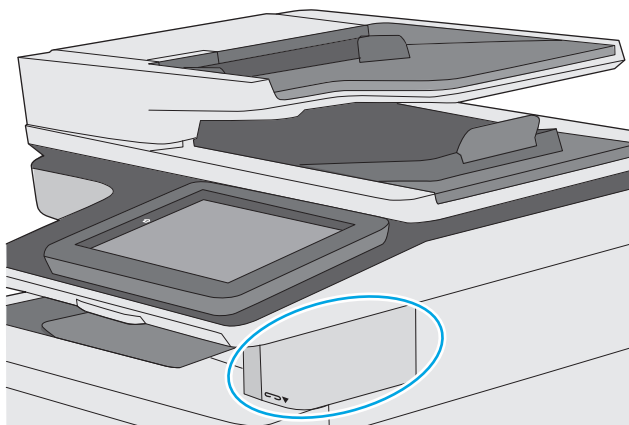
9. ラベル紙を上に向け、用紙の上端をプリンタの右側に向けてセットします。



コンビニエンス ステイプラの使用 (f、c、および z モデル)

コンビニエンス ステイプラを使用して、20 枚までの 75g/m² 用紙をステイプル留めできます。

⚠ 注意： プリンタの損傷を防ぐため、用紙以外のものをステイプル留めしないでください。



1. 用紙の束をステイプラの正面にあるスロットに挿入します。
2. 用紙がステイプル留めされるのを待ちます。ステイプラは、用紙を検出すると起動し、ステイプル留めする音を発します。

📝 注記： プリンタがスリープモードになっている場合は、多少時間がかかる場合があります。

3. ステイプル留めされた用紙をスロットから取り出します。

ステイプラから用紙が離れない場合は、次の手順に従って問題を解決します。

⚠ 警告！ けがを防ぐために、ステイプラ内に指を入れて用紙を取り出そうとしないでください。

1. ステイプラのドアを開閉してから用紙を取り除きます。
2. それでも用紙が詰まる場合は、ステイプラのドアが閉じていることを確認し、プリンタの電源を切ってから入れ直します。

3 サプライ品、アクセサリ、部品

- [サプライ品、アクセサリ、部品の注文](#)
- [トナーカートリッジの交換](#)
- [トナー回収ユニットの交換](#)
- [ステイブルカートリッジの交換 \(f、c、およびzモデル\)](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

サプライ品、アクセサリ、部品の注文

注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリの注文	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使った注文	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP SureSupply Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

サプライ品およびアクセサリ

品目	説明	カートリッジ番号	部品番号
サプライ品			
HP 508A Black Original LaserJet トナー カートリッジ	標準容量の交換用トナー カートリッジ (黒)	508A	CF360A
HP 508X High Yield Black Original LaserJet トナー カートリッジ	大容量の交換用トナー カートリッジ (黒)	508X	CF360X
HP 純正 508A LaserJet トナー カートリッジ (シアン)	標準容量の交換用カートリッジ (シアン)	508A	CF361A
HP 純正 508X LaserJet トナー カートリッジ (シアン、大容量)	大容量の交換用トナー カートリッジ (シアン)	508X	CF361X
HP 純正 508A LaserJet トナー カートリッジ (イエロー)	標準容量の交換用トナー カートリッジ (イエロー)	508A	CF362A
HP 純正 508X LaserJet トナー カートリッジ (イエロー、大容量)	大容量の交換用トナー カートリッジ (イエロー)	508X	CF362X
HP 純正 508A LaserJet トナー カートリッジ (マゼンタ)	標準容量の交換用トナー カートリッジ (マゼンタ)	508A	CF363A
HP 純正 508X LaserJet トナー カートリッジ (マゼンタ、大容量)	大容量の交換用トナー カートリッジ (マゼンタ)	508X	CF363X
HP トナー回収ユニット	付属ドア付きの交換用トナー回収ユニット	非該当	B5L37A
HP ステイブル カートリッジパック	f および z モデル用の交換用ステイブル カートリッジです。ステイブルカートリッジを2つ装備しており、各カートリッジには 1,500 本のステイブル針を充填できます。	非該当	Q7432A

品目	説明	カートリッジ番号	部品番号
HP LaserJet 110V フューザ キット	110V モデル用交換用フューザ 注記: フューザの交換が必要になると、コントロールパネルにメッセージが表示されます。	非該当	B5L35A
HP LaserJet 220V フューザ キット	220V モデル用交換用フューザ 注記: フューザの交換が必要になると、コントロールパネルにメッセージが表示されます。	非該当	B5L36A
HP 200 ADF ローラー交換キット	文書フィーダ用交換用フィードローラー	非該当	B5L52A
アクセサリ			
HP Color LaserJet 550 枚用紙トレイ	オプションの 550 枚用紙フィーダ 注記: プリンタには、550 枚用紙フィーダを 3 台まで装着できます。	非該当	B5L34A
プリンタ スタンドおよびキャビネット	プリンタに対応するストレージキャビネット付きのオプションのスタンド 複数のオプション用紙フィーダを使用する場合にお勧めです。 インストール手順を含む	非該当	B5L51A
HP LaserJet キーボード簡体字および繁体字中国語オーバーレイキット (c および z モデルのみ)	物理キーボード用の粘着式特定言語オーバーレイ	非該当	A7W12A
HP LaserJet キーボードスウェーデン語オーバーレイキット (c および z モデルのみ)	物理キーボード用の粘着式特定言語オーバーレイ	非該当	A7W14A
HP 1GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	オプションのメモリ拡張用 DIMM	非該当	E5K48A
HP Trusted Platform Module	プリンタを通過する全データを自動的に暗号化	非該当	F5S62A
HP 外部インタフェース ハーネス	オプションのサードパーティ製デバイス接続用ポート	非該当	B5L31A
HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 600	オプションの dn モデル用ファックス アクセサリ	非該当	B5L53A
HP Jetdirect 2900nw プリントサーバ	USB ワイヤレス プリントサーバ アクセサリ	非該当	J8031A
HP Jetdirect 3000w NFC/ワイヤレス アクセサリ	モバイル デバイスから Wi-Fi Direct で印刷ができる「タッチ」アクセサリ付属	非該当	J8030A

カスタマセルフ リペア部品

CSR (カスタマセルフリペア) パーツにより修理時間の短縮が可能です。多くの HP LaserJet 製品で使用できます。CSR プログラムおよびそのメリットについては、www.hp.com/go/csr-support および www.hp.com/go/csr-faq で詳細が説明されています。

HP 純正交換部品は、www.hp.com/buy/parts で注文できます。または、HP 認定のサービスまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。注文時には、次のいずれかが必要となります。部品番号、シリアル番号 (プリンタ背面にあります)、製品番号、または製品名。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が**オプション**と表示されている部品は、お客様のご要望に応じて HP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

項目	説明	セルフ交換オプション	部品番号
550 枚 x1 段用紙フィーダキット	交換用 550 枚 x1 段フィーダ	必須	B5L34-67901
プリンタ キャビネットキット	交換用プリンタ キャビネット/スタンド	必須	B5L51-67901
HP フューザキット	交換用フューザ	必須	B5L35-67901 (110V) B5L36-67901 (220V)
HP フューザキット	交換用フューザ、サービスキット	必須	B5L35-67902 (110V) B5L36-67902 (220V)
ITB および T2 ローラーキット、サービス	交換用転写ベルトおよびセカンダリ トランスファー ローラー	オプション	B5L24-67901
T2 ローラー サービスキット	交換用セカンダリ トランスファー ローラー	必須	B5L24-67902
トレイ 2-X 用ローラーキット	トレイ 2、3、4、および 5 の交換用ローラー	オプション	B5L24-67904
コントロールパネルキット	交換用タッチスクリーン コントロールパネル	必須	B5L47-67018
320GB ハードディスク ドライブキット	交換用ハードディスク ドライブ	必須	5851-6712
HP 1GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	交換用メモリ DIMM	必須	E5K48A-67902
HP Trusted Platform Module キット	交換用 Trusted Platform Module	必須	F5S62-61001
HP 外部インタフェース ハーネスキット	交換用外部インタフェース ハーネス	必須	B5L31-67902
トナー回収ユニット	交換用トナー回収ユニット	必須	B5L37-67901
Analog FAX 600 キット	交換用ファックスボード	必須	B5L53-67901
ADF メンテナンス キット	文書フィーダ用保守キット	必須	B5L52-67903
スキャナの白い原稿押さえ	スキャナの交換用白いプラスチック製の原稿押さえ	必須	5851-6570

項目	説明	セルフ交換オプション	部品番号
保持クリップ アセンブリ	スキャナの後ろにある白い原稿押さえの背後にある交換用保持クリップ	必須	5851-6573
米国英語キーボードキット	cおよびzモデル向け交換用キーボード	必須	B5L47-67019
英国 英語キーボードキット	cおよびzモデル向け交換用キーボード	必須	B5L47-67020
キーボード オーバーレイ キット フランス語、イタリア語、ロシア語、ドイツ語、スペイン語、ウクライナ語	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6019
キーボード オーバーレイ キット カナダフランス語、南米スペイン語、米国スペイン語	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6020
キーボード オーバーレイ キット スイスフランス語、スイスドイツ語、デンマーク語	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6021
キーボード オーバーレイ キット 中国語簡体字、中国語繁体字	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6022
キーボード オーバーレイ キット スペイン語、ポルトガル語	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6023
キーボード オーバーレイ キット 日本語 (KG および KT)	cおよびzモデル向け交換用キーボード オーバーレイ	必須	5851-6024

トナーカートリッジの交換

はじめに

以下の情報は、プリンタのトナーカートリッジの詳細を説明するものです。交換方法も併せて説明します。

- [トナーカートリッジ情報](#)
- [カートリッジの取り外しと交換](#)


トナーカートリッジ情報

トナーカートリッジの残量がわずか、または非常にわずかになると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの残り寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った場合に、交換用カートリッジの取り付けをご検討ください。


カートリッジを購入したり、プリンタとの互換性を確認するには、**HP SureSupply** (www.hp.com/go/suresupply) にアクセスしてください。ページの一番下までスクロールして、国/地域が正しいことを確認してください。

プリンタでは、4色を使用されており、それぞれ異なるトナーカートリッジがあります。イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、および黒 (K) のインクカートリッジがあります。トナーカートリッジは正面ドア内にあります。

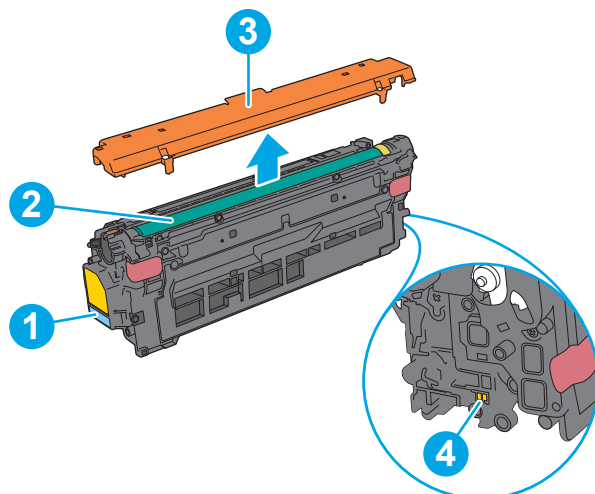
項目	説明	カートリッジ番号	部品番号
HP 508A Black Original LaserJet トナーカートリッジ	標準容量の交換用トナーカートリッジ (黒)	508A	CF360A
HP 508X High Yield Black Original LaserJet トナーカートリッジ	大容量の交換用トナーカートリッジ (黒)	508X	CF360X
HP 純正 508A LaserJet トナーカートリッジ (シアン)	標準容量の交換用カートリッジ (シアン)	508A	CF361A
HP 純正 508X LaserJet トナーカートリッジ (シアン、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ (シアン)	508X	CF361X
HP 純正 508A LaserJet トナーカートリッジ (イエロー)	標準容量の交換用トナーカートリッジ (イエロー)	508A	CF362A
HP 純正 508X LaserJet トナーカートリッジ (イエロー、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ (イエロー)	508X	CF362X
HP 純正 508A LaserJet トナーカートリッジ (マゼンタ)	標準容量の交換用トナーカートリッジ (マゼンタ)	508A	CF363A
HP 純正 508X LaserJet トナーカートリッジ (マゼンタ、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ (マゼンタ)	508X	CF363X

 **注記**：大容量トナーカートリッジには、標準のカートリッジよりも多くにトナーが入っており、大量ページの印刷に対応できます。詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。


トナーカートリッジは、交換する直前までパッケージから取り出さないでください。


 **注意**：損傷を防ぐため、トナーカートリッジに、数分以上光を当てないでください。トナーカートリッジを長時間プリンタから取り外しておく必要がある場合は、緑色のイメージングドラムを覆ってください。

次の図は、トナーカートリッジコンポーネントを示しています。



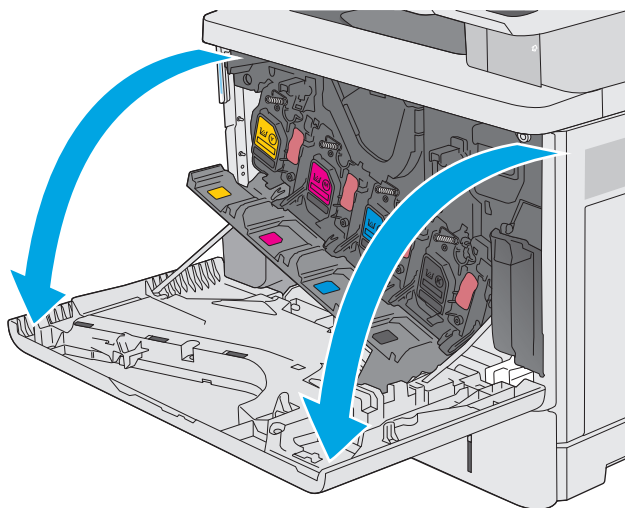
1	ハンドル
2	イメージングドラム
3	保護シールド
4	メモリチップ

 **注意**：トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

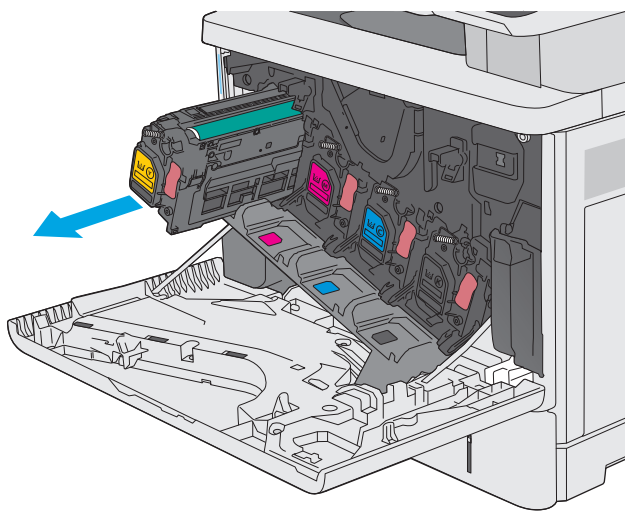
 **注記**：使用済みトナーカートリッジのリサイクルの詳細は、トナーカートリッジの箱に記載されています。

カートリッジの取り外しと交換

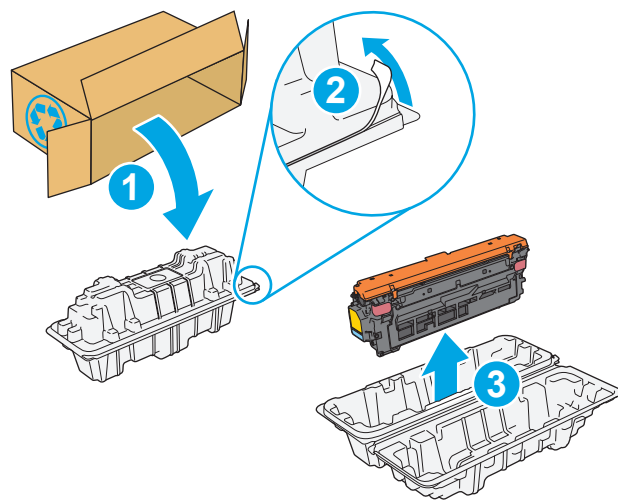
1. 正面のドアを開きます。



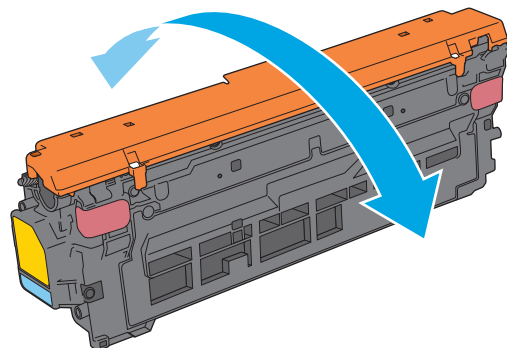
2. トナーカートリッジに付いているハンドルをつかみ、引き出します。



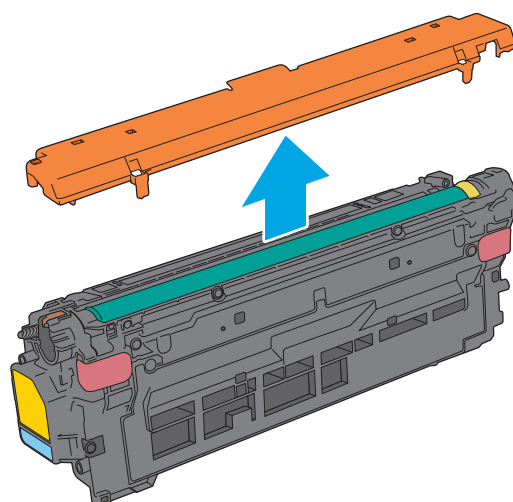
3. プラスチックテープをはがし、パッケージを開いて、新しいトナーカートリッジを保護シエルから取り出します。梱包材は、使用済みのトナーカートリッジのリサイクルに使用するため、すべて保存しておいてください。



4. トナーカートリッジの両側を持ち、5～6回振り回します。

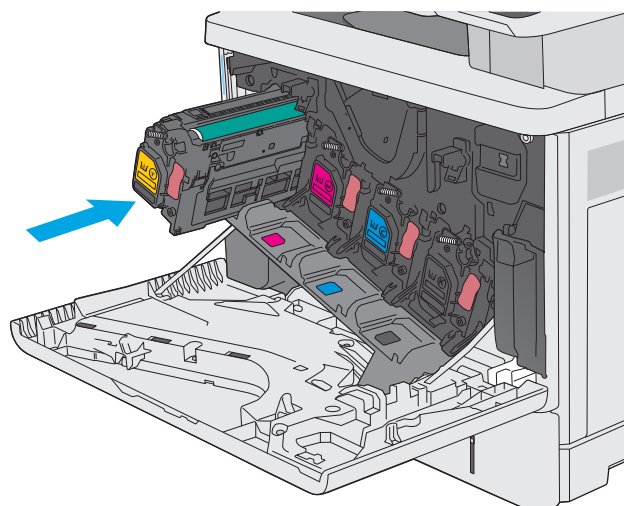


5. トナーカートリッジから保護用シールドを剥がします。

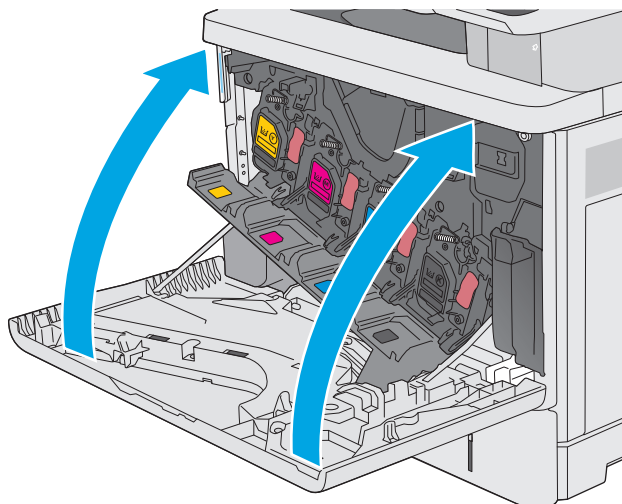


6. 片手でトナーカートリッジを下から持ち、もう一方の手でカートリッジのハンドルを握ります。トナーカートリッジをシェルフのスロットに合わせて、プリンタに挿入します。

注記：緑のイメージングドラムには触らないでください。イメージングドラムに付いた指紋が印刷の問題の原因になる場合があります。



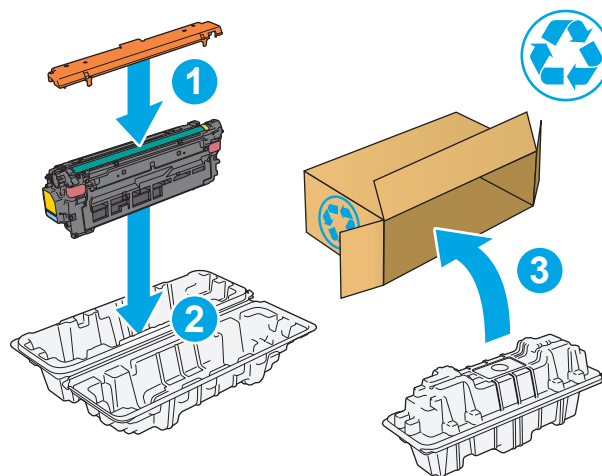
7. 正面ドアを閉じます。



8. 使用済みのトナーカートリッジを、保護シートを使用して交換用カートリッジが梱包されていた箱に梱包します。リサイクル情報については、同梱のリサイクルガイドを参照してください。

HP は HP 純正カートリッジのリサイクルを支援します。世界中の 50 以上の国/地域および領土で利用可能な **HP Planet Partners** プログラムは、簡単で無料です¹⁾。

使用済みの HP カートリッジをリサイクルする方法については、www.hp.com/recycle を参照してください。



1) 利用可能なプログラムは異なります。詳細については、www.hp.com/recycle を参照してください。


トナー回収ユニットの交換


はじめに

以下の情報は、プリンタ用のトナー回収ユニットの詳細を説明するものです。交換方法も併せて説明します。

トナー回収ユニットがほぼ一杯になる、または完全に一杯になると、プリンタに表示されます。トナー回収ユニットが完全に一杯になると、ユニットを交換するまで印刷を行うことはできません。

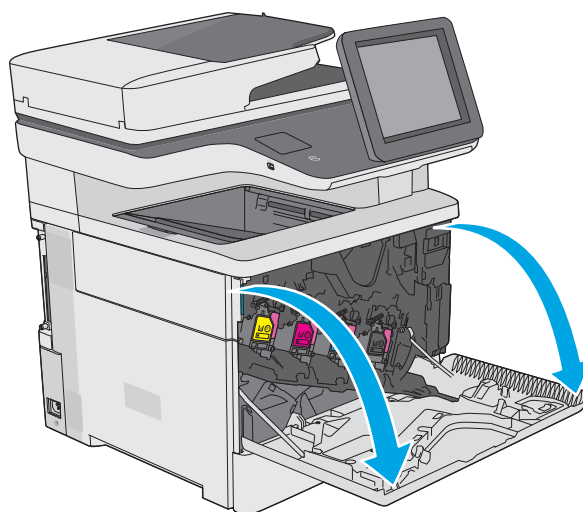
トナー回収ユニット (製品番号 **B5L37A**) は、HP パーツストア (www.hp.com/buy/parts) で購入できます。

 **注記**：トナー回収ユニットは使い捨てです。空になったトナー回収ユニットを再使用しないでください。再使用すると、トナーがプリンタ内部に漏れ、印刷品質が低下する場合があります。使用後は、リサイクルのため **HP Planet Partners** プログラムまでトナー回収ユニットを返却してください。

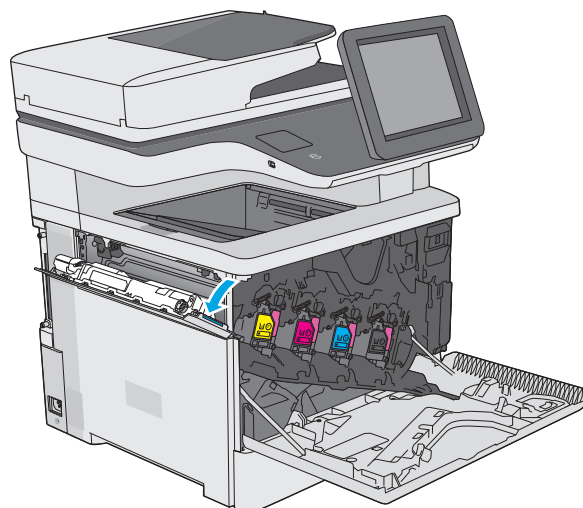
 **注意**：トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

トナー回収ユニットの取り外しと交換

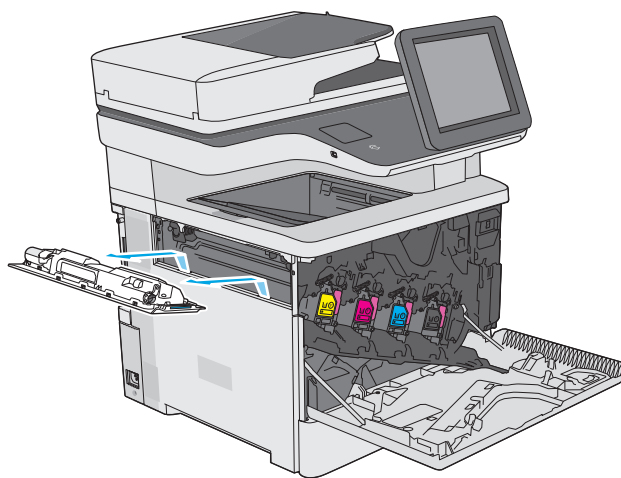
1. 正面のドアを開きます。



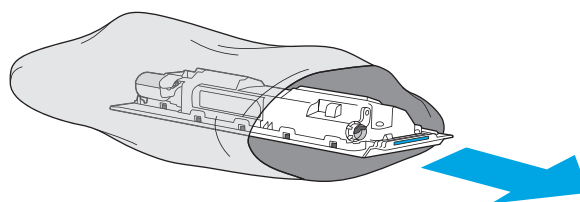
2. プリンタの左上側にあるトナー回収ユニットのドアを開きます。



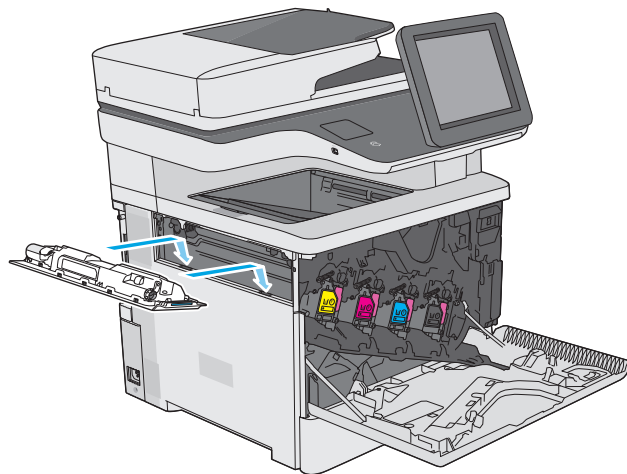
3. トナー回収ユニットと付属ドアを引き出します。



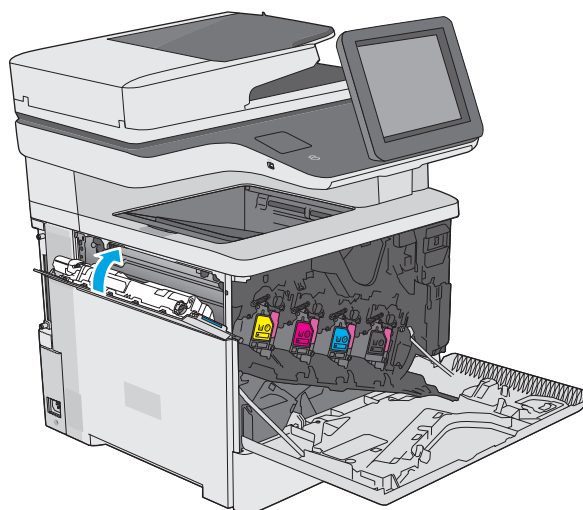
4. パッケージから新しいトナー回収ユニットを取り出します。



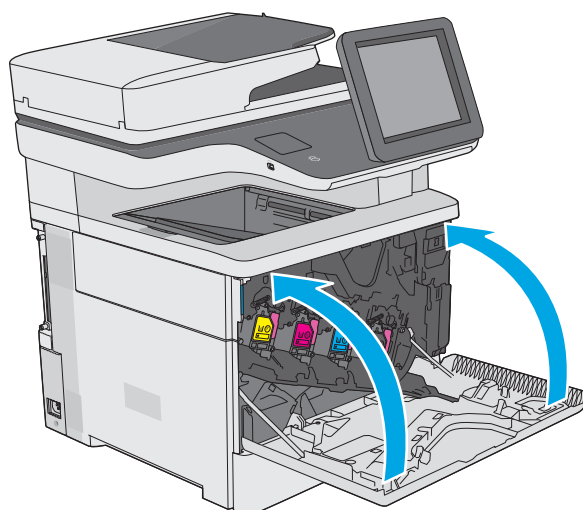
5. 新しいトナー回収ユニットと付属ドアをプリンタに取り付けます。ドアのタブをプリンタのスロットに合わせます。



6. トナー回収ユニットのドアを閉じます。



7. 正面ドアを閉じます。
使用済みトナー回収ユニットのリサイクルについては、新しいトナー回収ユニットに付属している指示書に従ってください。



ステイプルカートリッジの交換 (f、c、および z モデル)

はじめに

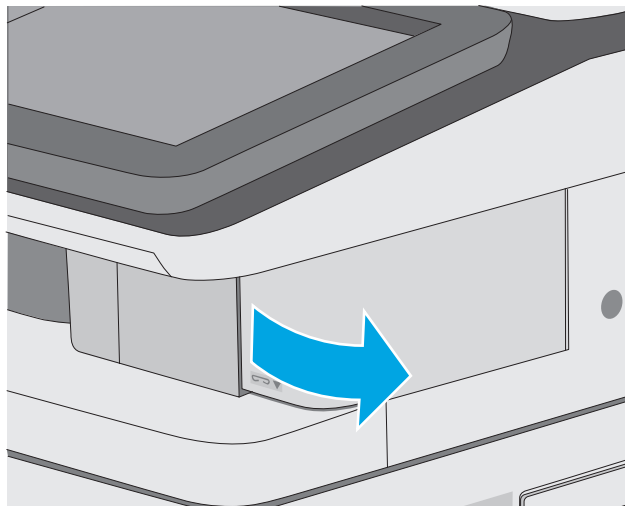
以下の情報は、プリンタ用のステイプルカートリッジの詳細を説明するものです。交換方法も併せて説明します。

ステイプルカートリッジ 2 つ入りのパッケージ (製品番号 Q7432A) は、HP パーツストア (www.hp.com/buy/parts) で購入できます。各カートリッジには、1,500 本のステイプラ針を充填できます。

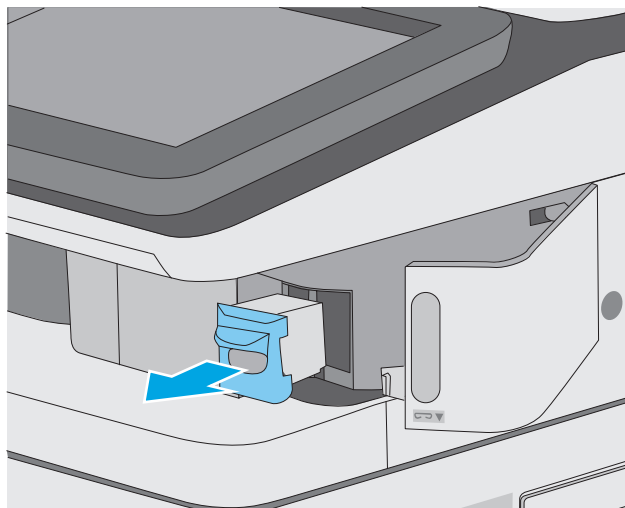
ステイプルカートリッジの取り外しと交換

1. ステイプラのドアを開きます。

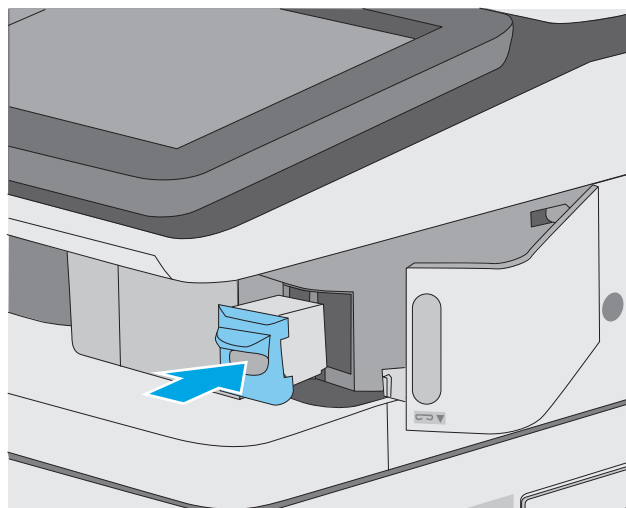
注記：ステイプラのドアを開くとステイプラが使用できなくなります。



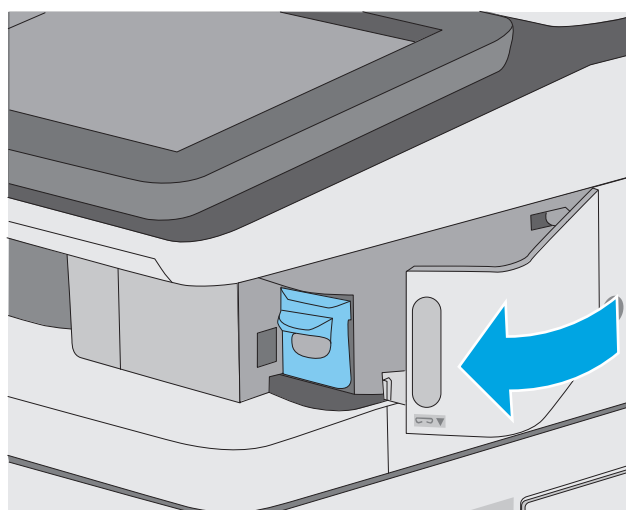
2. プリンタからステイプルカートリッジを取り外します。



3. ステイブラのドアの内側にある開口部に新しいステイプルカートリッジを挿入します。



4. ステイブラのドアを閉じます。



4 印刷

- [印刷タスク \(Windows\)](#)
- [印刷タスク \(OS X\)](#)
- [プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷](#)
- [モバイル印刷](#)
- [USB ポートからの印刷](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索


4. **[OK]** ボタンをクリックまたはタップして、**[印刷]** ダイアログ ボックスに戻ります。この画面から印刷する部数を選択します。
5. ジョブを印刷するには、**[OK]** ボタンをクリックまたはタップします。

自動両面印刷 (Windows の場合)

自動両面印刷ユニットがインストールされているプリンタでこの手順を実行します。プリンタに自動両面印刷ユニットがインストールされていない場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙タイプに印刷する場合は、手動で両面に印刷します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 8 または 8.1 のスタート画面からこれらの機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。


3. **[仕上げ]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[両面印刷]** チェック ボックスをオンにします。 **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
5. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

手動両面印刷 (Windows)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。


 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


 **注記** : Windows 8 または 8.1 のスタート画面からこれらの機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[仕上げ]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[手動両面印刷]** チェック ボックスをオンにします。ジョブの片面を印刷するには、**[OK]** ボタンをクリックします。
5. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、トレイ 1 に入れます。
6. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロール パネル ボタンをタッチして操作を続けます。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。


 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


 **注記** : Windows 8 または 8.1 のスタート画面からこれらの機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[仕上げ]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙あたりのページ数]** ドロップダウンリストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** で適切なオプションを選択します。**[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
6. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプの選択 (Windows)

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 8 または 8.1 のスタート画面からこれらの機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウンリストから、**[詳細...]** をクリックします。
5. **[用紙の種類 :]** オプションのリストを展開します。
6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。
8. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

トレイを設定する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
9. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。
10. **OK** ボタンをタッチして検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、**変更** ボタンをタッチして別のサイズまたはタイプを選択します。
11. 正しいタイプとサイズを選択して、**OK** ボタンをタッチします。

補足的な印刷タスク

www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

たとえば、次のような印刷タスクの実行手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズを選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

印刷タスク (OS X)

印刷方法 (OS X)

次の手順では、OS X の基本的な印刷プロセスについて説明します。


1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、その他のメニューを選択して印刷設定を調節します。

 **注記：** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [印刷] ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (OS X)

 **注記：** この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンタに適用されます。


 **注記：** この機能は、HP プリント ドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[レイアウト] メニューをクリックします。

 **注記：** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [両面印刷] ドロップダウンリストから [綴じ込み] オプションを選択します。
5. [印刷] ボタンをクリックします。

手動両面印刷 (OS X)

 **注記：** この機能は、HP プリント ドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[手動両面印刷] メニューをクリックします。

 **注記：** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [手動両面印刷] ボックスをクリックし、[綴じ込み] オプションを選択します。
5. [印刷] ボタンをクリックします。
6. プリンタのトレイ 1 に入っている空白の用紙をすべて取り除きます。

7. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を下向きにして給紙トレイにセットします。
8. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンをタッチして操作を続けます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷 (OS X)

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[レイアウト] メニューをクリックします。

 **注記:** 項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。


4. [用紙あたりのページ数] ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. [レイアウト方向] 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [境界線] メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。
7. [印刷] ボタンをクリックします。

用紙タイプの選択 (OS X)

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[メディアと品質] メニューまたは [用紙/品質] メニューをクリックします。

 **注記:** 項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. [メディアと品質] または [用紙/品質] オプションから選択します。

 **注記:** このリストには、使用可能なオプションのマスタセットが含まれています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

- [メディアタイプ]: 印刷ジョブでメディア タイプに合ったオプションを選択します。
 - [印刷品質]: 印刷ジョブの解像度を選択します。
 - [全幅印刷]: 用紙の端近くまで印刷するには、このオプションを選択します。
 - [エコノモード]: 文書のドラフトを印刷するときにトナーを節約するには、このオプションを選択します。
5. [印刷] ボタンをクリックします。

補足的な印刷タスク

www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

たとえば、次のような印刷タスクの実行手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズを選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷


はじめに

以下の情報は、プリンタに保存されている文書を作成および印刷する手順について説明するものです。これらのジョブは、後で印刷することもプライベート印刷することもできます。

- [保存ジョブの作成 \(Windows の場合\)](#)
- [保存ジョブの作成 \(OS X の場合\)](#)
- [保存ジョブの印刷](#)
- [保存したジョブの削除](#)


保存ジョブの作成 (Windows の場合)

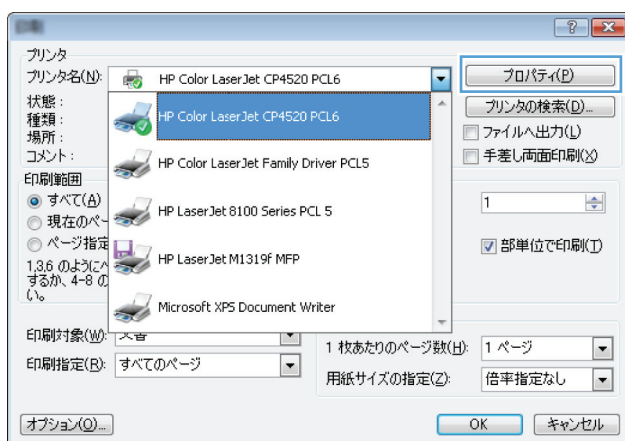
プライベートの印刷または遅延印刷のために、プリンタでジョブを保存します。

 **注記：** ご利用のプリント ドライバで実際に表示される内容は下図とは異なる場合がありますが、手順は同じです。

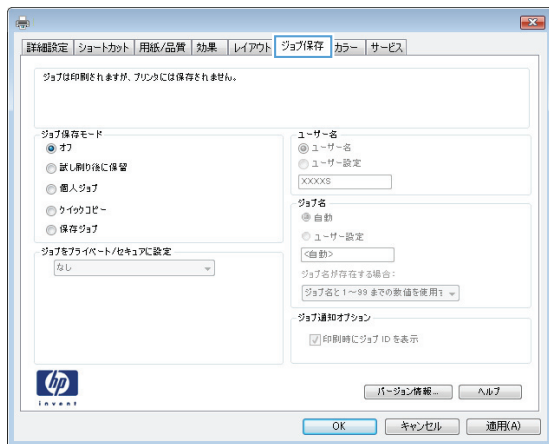
1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** (名前はソフトウェアプログラムによって異なります) を選択します。

 **注記：** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記：** Windows 8 または 8.1 のスタート画面アプリケーションにアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。



3. [ジョブ保存] タブをクリックします。



4. [ジョブ保存モード] オプションを選択します。

- **[試し刷り後に保留]**：ジョブを1部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
- **[個人ジョブ]**：ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか1つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、コントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
- **[クイックコピー]**：指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
- **[保存ジョブ]**：プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか1つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てた場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。

5. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブに同じ名前が付いている場合に使用するオプションを選択します。

- **[ジョブ名と 1～99 までの数値を使用する]**：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
- **[既存のファイルを置換]**：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

6. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

7. ジョブの印刷方法については、「保存ジョブの印刷」を参照してください。

保存ジョブの作成 (OS X の場合)

プライベートの印刷または遅延印刷のために、プリンタでジョブを保存します。



1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリント ドライバに **[部数とページ]** メニューが表示されます。メニューのドロップダウンリストを開いて、**[ジョブ保存]** メニューをクリックします。
4. **[モード]** ドロップダウンリストで、保存するジョブの種類を選択します。
 - **[試し刷りに後保留]**：ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
 - **[個人ジョブ]**：ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力します。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
 - **[クイック コピー]**：指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
 - **[保存ジョブ]**：プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。
5. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

 - **[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]**：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
 - **[既存のファイルを置換]**：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。
6. 手順 3 で **[保存ジョブ]** または **[個人ジョブ]** オプションを選択した場合、PIN でジョブを保護できます。**[印刷用の PIN を使用]** フィールドに 4 桁の番号を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとする、この PIN 番号の入力を求められます。
7. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを処理します。

保存ジョブの印刷

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。


1. プリンタのコントロールパネル上のホーム  ボタンをタッチするか押します。
2. **デバイス メモリから取得** を選択します。
3. ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートであるか暗号化されている場合、PIN またはパスワードを入力する必要があります。
5. 部数を調整し、スタート  ボタンをタッチするか、OK ボタンを押してジョブを印刷します。

保存したジョブの削除

保存するジョブをプリンタのメモリに送信する際に、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在している場合、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の

保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。プリンタに保存できるジョブ数は、プリンタのコントロールパネルの **全般的な設定** メニューから変更できます。

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム  ボタンをタッチするか押します。
2. **デバイス メモリから取得** を選択します。
3. ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択し、**削除** ボタンを選択します。
5. ジョブがプライベートまたは暗号化されている場合には、**PIN** またはパスワードを入力して、**削除** ボタンを選択します。

モバイル印刷

はじめに

HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイルデバイスから HP プリンタへの印刷が簡単に実行できる複数のモバイルおよび ePrint ソリューションを提供します。完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting を参照してください。

- [HP ePrint \(電子メール使用\)](#)
- [HP ePrint ソフトウェア](#)
- [AirPrint](#)
- [Android 内蔵印刷](#)
- [Wi-Fi ダイレクト印刷と NFC 印刷](#)


HP ePrint (電子メール使用)

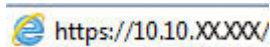
HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。


HP ePrint を使用するには、プリンタが次の要件を満たしている必要があります。

- プリンタが有線ネットワークかワイヤレス ネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。
- [HP Web サービス] をプリンタで有効にし、プリンタを HP Connected に登録する必要があります。

以下の手順を使用して、HP Web サービスを有効にし、HP に接続してプリンタを登録します。


1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. [HP Web サービス] タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

 **注記** : Web サービスを有効にするのに数分かかる場合があります。

4. www.hpconnected.com にアクセスして HP ePrint アカウントを作成し、セットアップ手順を完了します。

HP ePrint ソフトウェア

HP ePrint ソフトウェアを使用すると、Windows または Mac デスクトップ コンピュータまたはノートパソコンから HP ePrint 対応のプリンタで簡単に印刷することが可能です。このソフトウェアにより、お使いの HP 接続アカウントに登録されている HP ePrint 対応プリンタを簡単に見つけられます。目的の HP プリンタはオフィスにあるかもしれませんが、世界各地に散らばっているかもしれません。


- **Windows** : ソフトウェアのインストール後に、お使いのアプリケーションから **[印刷]** オプションを選択して、設置されているプリンタのリストから **[HP ePrint]** を選択します。**[プロパティ]** ボタンをクリックし、印刷オプションを設定します。
- **OS X** : ソフトウェアのインストール後、**[ファイル]**、**[印刷]** の順に選択し、**[PDF]** (ドライバ画面の左下) の横にある矢印を選択します。**[HP ePrint]** を選択します。

Windows の場合、HP ePrint ソフトウェアは、ネットワーク (LAN または WAN) 上のローカルプリンタ、または UPD PostScript® に対応するプリンタへの TCP/IP 印刷をサポートします。

Windows と OS X はいずれも、LAN または WAN ネットワークに接続された ePCL 対応プリンタへの IPP 印刷をサポートしています。

また、Windows と Mac はどちらも、公共の印刷施設への PDF ドキュメントの出力や、クラウドを通じ電子メールを介して HP ePrint を使用した印刷もサポートしています。

ドライバと詳細については、www.hp.com/go/eprintsoftware にアクセスしてください。

 **注記** : HP ePrint ソフトウェアは、Mac の PDF ワークフロー ユーティリティであり、厳密にいうとプリント ドライバではありません。


 **注記** : HP ePrint ソフトウェアは USB 印刷をサポートしません。

AirPrint

Apple の AirPrint を使った直接印刷は、iOS 4.2 以降、および OS X 10.7 Lion 以降を実行する Mac コンピュータでサポートされています。次のモバイルアプリケーションで、iPad、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) からプリンタに直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- iBooks
- 選択したサードパーティのアプリケーション

AirPrint を使用するには、プリンタが Apple デバイスと同じネットワーク (サブネット) に接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP プリンタの詳細については、www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting を参照してください。

 **注記** : USB 接続で **AirPrint** を使用する前に、バージョン番号を確認してください。 **AirPrint** バージョン 1.3 以前は、USB 接続をサポートしていません。

Android 内蔵印刷

HP の **Android** および **Kindle** 用内蔵印刷ソリューションにより、ネットワーク上または **Wi-Fi Direct** 印刷のワイヤレス範囲に存在する **HP** プリンタを、自動的に検出して印刷することが可能となります。

プリンタが **Android** デバイスと同じネットワーク (サブネット) に接続されている必要があります。

印刷ソリューションはサポートされるオペレーティングシステムに内蔵されているため、ドライブのインストールやソフトウェアのダウンロードは必要ありません。

Android 埋め込み印刷ソリューションの使い方と、対応する **Android** デバイスの詳細については、www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting を参照してください。

Wi-Fi ダイレクト印刷と NFC 印刷

対応する **HP Jetdirect 3000w NFC**/ワイヤレス アクセサリ搭載の **HP** プリンタでは、**Wi-Fi Direct** 印刷および **NFC (Near Field Communication)** 印刷を利用することができます。このアクセサリは、**HP LaserJet** プリンタ用のハードウェアインテグレーションポケット (**HIP**) を含むオプションとして提供されています。

HP ワイヤレス ダイレクト、**Wi-Fi Direct**、および **NFC** 印刷を使用すると、ワイヤレス ルーターを使用せずに、**Wi-fi** 対応 (モバイル) デバイスを直接プリンタにワイヤレス ネットワーク接続できます。

このモバイル ワークアップ印刷は、プリンタがネットワークに接続されていなくても機能します。

HP ワイヤレス ダイレクトを使用すると、以下のデバイスからワイヤレスに印刷できます。

- **Apple AirPrint** アプリまたは **HP ePrint** アプリを使用する **iPhone**、**iPad**、**iPod touch**
- **HP ePrint** アプリまたは **Android** 内蔵プリント ソリューションを使用する **Android** モバイル デバイス
- **HP ePrint** ソフトウェアを使用する **PC** デバイスと **Mac** デバイス



Wi-Fi Direct を使用すると、以下のデバイスからワイヤレスで印刷できます。

- **HP ePrint App** または **Android** 内蔵印刷ソリューションを使用する **Android** モバイル デバイス

HP ワイヤレス ダイレクトおよび **Wi-Fi Direct** 印刷の詳細については、www.hp.com/go/wirelessprinting を参照してください。

NFC、**HP** ワイヤレス ダイレクト、および **Wi-Fi Direct** 機能の有効/無効の切り替えは、プリンタのコントロールパネルで実行できます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** メニューまでスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - ワイヤレス メニュー
 - ワイヤレス ダイレクト
3. **オン** を選択して、ワイヤレス印刷を有効にします。

 **注記**：複数の同一プリンタ モデルが設置されている環境では、**HP** ワイヤレス ダイレクト印刷でプリンタを識別しやすくするため、各プリンタに固有のサービス セット識別子 (**SSID**) を指定すると便利です。**SSID** は、プリンタのコントロールパネルのホーム画面からネットワーク  ボタンをタッチして表示される **接続方法ページ** でも指定できます。

プリンタの **SSID** を変更するには、次の手順に従ってください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** メニューまでスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - ワイヤレス メニュー
 - ワイヤレス ダイレクト
 - **SSID**
3. [**SSID** 名] の領域を選択します。
4. キーボードを使用して名前を変更します。
5. **OK** を選択します。

USB ポートからの印刷

はじめに


このプリンタはイーザー アクセス USB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずにすばやくファイルを印刷できます。コントロールパネルの近くにある USB ポートには、標準の USB フラッシュ ドライブを接続できます。対応するファイルタイプ：

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht


USB ポートを有効化して印刷

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。

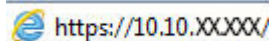
方法 1: プリンタのコントロールパネル メニューから USB ポートを有効化


1. プリンタのコントロールパネルのホーム  ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 管理
 - 全般的な設定
 - [USB から取得] の有効化
3. 有効 オプションを選択し、次に 保存 ボタンにタッチするか、OK ボタンを押します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 https://10.10.XX.XXX/


 **注記** : EWS を開く際に、Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります] というメッセージが表示されたら、[Web サイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。


2. [プリント] タブを開きます。
3. 画面左側で、[USB から取得のセットアップ] をクリックします。
4. [USB から取得の有効化] チェック ボックスを選択します。
5. [適用] をクリックします。


USB からの文書の印刷

1. USB フラッシュ ドライブをイーザーアクセス USB ポートに挿入します。

 **注記** : ポートにカバーが付いている場合があります。一部のプリンタのカバーはフリップ式です。それ以外のプリンタのカバーは、まっすぐ引いて取り外す形式です。

2. プリンタが USB フラッシュ ドライブを検出します。OK ボタンを押して、ドライブにアクセスします。または、表示された場合は、使用できるアプリケーションのリストから **USB から取得** オプションを選択します。USB から取得 画面が開きます。
3. 印刷する文書の名前を選択します。

 **注記** : 文書はフォルダ内にある場合があります。必要に応じてフォルダを開きます。

4. 部数を調整するには、部数 を選択してから、キーパッドを使用して部数を変更します。
5. スタート  ボタンにタッチするか、OK ボタンを押して、文書を印刷します。

5 コピー

- [コピーする](#)
- [両面コピーする](#)
- [補足的なコピー タスク](#)


詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。


お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

コピーする

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
3. 部数を調整するには、**部数** フィールドをタッチしてキーパッドを開きます。
4. **その他のオプション** ボタンをタッチして、**テキスト/画像の最適化** ボタンをタッチします。
5. 定義済みのオプションのいずれかを選択するか、または、**マニュアル調整** ボタンにタッチして**最適化** 領域のスライダを調整します。**OK** ボタンをタッチします。
6. コピー  ボタンをタッチします。

両面コピーする

1. 文書を下向きにしてスキヤナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
3. **片面/両面原稿** ボタンをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 片面印刷の原稿から両面コピーを作成するには **片面の文書を両面コピー** を使用します。
 - 両面印刷の原稿から両面コピーを作成するには **両面の文書を両面コピー** を使用します。
 - 両面印刷の原稿から片面コピーを作成するには **両面の文書を片面コピー** を使用します。
4. **OK** ボタンをタッチします。
5. **スタート** ボタン  をタッチします。

補足的なコピー タスク

www.hp.com/support/colorljm577mfp を参照してください。

以下のようなコピー タスクの手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- 複数のサイズが混在する原稿のコピー
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- ブックレット形式での文書のコピーまたはスキャン

6 スキャン

- [\[スキャンして電子メールで送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンして SharePoint® に保存\]のセットアップ \(Flow モデルのみ\)](#)
- [クイック設定の作成](#)
- [スキャンして電子メールに送信](#)
- [スキャンしてネットワーク フォルダに送信](#)
- [スキャンして USB フラッシュドライブに保存](#)
- [補足的なスキャンタスク](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

【スキャンして電子メールで送信】のセットアップ

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [方法 1:【電子メールセットアップ】ページを使用](#)
- [方法 2:【電子メールセットアップ】ウィザードの使用](#)
- [Office 365 Outlook を使用するための【電子メールへの送信】のセットアップ](#)
- [電子メールの問題の解決](#)

はじめに


このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。ただし、この機能は HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して設定されるまで利用できません。EWS で、スキャンして電子メールで送信する機能を設定するには、次の2つの方法があります。完全セットアップを行う場合は [【電子メールセットアップ】](#) ページを使用し、基本的なセットアップを行う場合は [【スキャンして電子メールで送信セットアップウィザード】](#) を使用します。

作業を開始する前に

スキャンして電子メールで送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。


管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の情報が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- DNS サフィックス (例 : `companyname.com`)
- SMTP サーバ (例 : `smtp.mycompany.com`)


 **注記 :** SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または認証情報がわからない場合は、電子メール/インターネット サービス プロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。SMTP サーバ名とポート番号は、通常はインターネットを検索すれば簡単にわかります。たとえば、「gmail smtp サーバ名」や「yahoo smtp サーバ名前」などで検索します。

- 認証に使用されるユーザー名とパスワード (該当する場合) を含む、送信電子メールメッセージの SMTP サーバ認証要件。

スキャンして電子メールで送信する機能を設定するには、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用します。続行する前に、この手順で EWS を開いてから、次の2つの方法のいずれかでスキャンして電子メールで送信する機能をセットアップしてください。


 **重要 :** 電子メール アカウントのデジタル送信制限の詳細については、電子メール サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。プロバイダによっては送信制限を超えると、一時的にアカウントがロックされる場合があります。

HP 内蔵 Web サーバへのアクセス

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記:** EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります]** というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

方法 1: [電子メールセットアップ] ページを使用


1. [ネットワーク] タブをクリックします。

 **注記:** [ネットワーク] タブで設定を行うには、システム管理者のサポートが必要になる場合があります。


2. [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定) が選択されていない場合は、左側のナビゲーション ウィンドウでクリックします。
3. [ネットワーク ID] タブをクリックします。
4. ネットワークで DNS が必要な場合は、[TCP/IP ドメイン サフィックス] 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com* などの形式になります。


 **注記:** ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。


5. [適用] をクリックします。
6. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーション ペインで、[電子メールセットアップ] リンクをクリックし、[デフォルトジョブ オプション] をクリックします。
8. [電子メールセットアップ] ダイアログで、[電子メールへの送信の有効化] チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにしないと、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。
9. [送信電子メール サーバ (SMTP)] 領域で、次のいずれかのオプションの手順を実行します。
 - 表示されたサーバのいずれかを選択
 - [次へ] をクリックして、SMTP ウィザードを開始します。
 1. SMTP ウィザードで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 方法 1: SMTP サーバのアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
 - 方法 2: [送信電子メール サーバのネットワークを検索] を選択し、[次へ] をクリックします。サーバを選択し、[次へ] をクリックします。

 **注記:** SMTP サーバが別のプリンタ機能向けに既に作成されている場合は、**[別の機能で既に使用しているサーバを使用する]** オプションが表示されます。このオプションを選択して電子メール機能に使用するよう設定します。

2. **[サーバに接続するために必要な基本情報を設定します]** ダイアログで、使用するオプションを設定し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記:** 一部のサーバでは、**5MB** より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、**[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]** に数字を入力することにより回避できます。


 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

 **注記:** 電子メール サービスに **Google™ Gmail** を使用している場合は、**[SMTP SSL プロトコルの有効化]** チェック ボックスをオンにします。通常、**Gmail** の場合、**SMTP アドレス** は **smtp.gmail.com**、ポート番号 **465** で **SSL** は有効にする必要があります。


オンライン ソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

3. **[サーバ認証要件]** ダイアログで、サーバの認証要件、

- **[サーバによる認証が不要]** を説明するオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- **[サーバによる認証が必要]**
 - ドロップダウン ボックスから、**[コントロール パネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - ドロップダウン ボックスから、**[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記:** サインインしたユーザーの認証情報を使用する場合、プリンタのコントロール パネルで、ユーザーによるサインインが必要になるように電子メールを設定します。**[セキュリティ]** タブの **[アクセス制御]** ダイアログにある **[サインインおよび権限ポリシー]** 領域の **[デバイス ゲスト]** 列で電子メールのチェック ボックスをオフにして、電子メールへのデバイス ゲスト アクセスを拒否します。チェック ボックスのアイコンがチェック マークからロックに変更されます。


4. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この **SMTP** サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

 **注記:** サーバが認証を要求する場合は、プリンタから自動警告とレポートを送信するためのユーザー名とパスワードが必要になります。

5. **[概要およびテスト]** ダイアログの **[テスト電子メールの宛先:]** フィールドに有効な電子メール アドレスを入力して **[テスト]** をクリックします。
6. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メール サーバのセットアップを完了します。


10. **[アドレス/メッセージ フィールド制御]** 領域に **[デフォルトの差出人:]** 設定とその他のオプション設定を入力します。

[アドレス/メッセージ フィールド制御] 設定

 **注記:** これらのすべての設定を表示するには、ページの下部にある **[詳細設定]** をクリックします。

機能	説明
[アドレス フィールドの制限]	<p>ユーザーがアドレス帳から電子メール アドレスを選択する必要があるか、またはユーザーが手動で電子メール アドレスを入力できるかを指定します。</p> <p>注意: [ユーザーによるアドレス帳からの選択が必要] が選択されていて、アドレス フィールドのいずれかが [ユーザーによる編集が可能] に設定されている場合、編集が可能なフィールドを変更すると、アドレス帳の対応する値も変更されます。</p> <p>ユーザーがプリンタのコントロール パネルでアドレス帳の連絡先を変更できないようにするには、[セキュリティ] タブの [アクセス制御] ページに進み、アドレス帳の変更を目的とした [デバイス ゲスト] アクセスを拒否します。</p>
[無効な電子メール アドレス形式を許可]	<p>無効な電子メール アドレス形式を許可する場合に選択します。</p>
[ユーザーによる編集が可能]	<p>(ユーザーがサインインしていない場合) このプリンタから送信するすべての電子メールに [デフォルトの差出人] アドレスと [デフォルト表示名] を使用するには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにしないでください。</p> <p>アドレス フィールドを設定する際、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにしておくと、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロール パネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。自分に送信する機能を使用するには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスを [差出人:] [宛先:] [CC:]、および [BCC:] フィールドを含むすべてのアドレスフィールドでオフにして、そのユーザーの電子メール送信の [差出人:] を自分の電子メール アドレスに、[宛先:] を自分の電子メール アドレスに設定します。</p>
[デフォルトの差出人:] および [デフォルトの表示名:]	<p>電子メール メッセージの [差出人:] アドレスに使用する電子メール アドレスと名前を入力します。</p> <p>ヒント: プリンタの電子メール アカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メール アドレスとして使用します。</p> <p>ヒント: ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[宛先:]	<p>電子メールに宛先 (受信者) の電子メール アドレスを入力します。</p>
[CC:]	<p>電子メールに CC する電子メール アドレスを入力します。</p>
[BCC:]	<p>電子メールに BCC する電子メール アドレスを入力します。</p>
[件名:]	<p>電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。</p>
[メッセージ:]	<p>カスタムのメッセージを作成します。プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ:] の [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにします。</p>


11. [署名と暗号化] 領域で、署名と暗号化 設定を設定します。

 **注記:** **[署名と暗号化]** 設定を表示するには、ページの下部にある **[詳細設定]** をクリックします。

[署名と暗号化] 設定:

機能	説明
[署名]	セキュリティ証明書に署名するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ハッシュ アルゴリズム]	電子メールの署名に使用するアルゴリズムを選択します。
[暗号化]	電子メールを暗号化するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[暗号化アルゴリズム]	電子メールの暗号化に使用するアルゴリズムを選択します。
[受信者公開鍵の属性]	LDAP から受信者の公開鍵証明書を取得するためにどの属性を使用するかを入力します。
[受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認します]	受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認するには、この設定を選択します。

12. **[通知設定]** 領域で、送信された電子メールに関する通知をユーザーがいつ受信するかを選択します。デフォルト設定では、サインインしたユーザーの電子メール アドレスが使用されます。受信者の電子メールが空白の場合、通知は送信されません。

 **注記：** **[通知]** 設定を表示するには、ページの下部にある **[詳細設定]** をクリックします。

13. **[ファイル設定]** 領域で、デフォルトのスキャンのユーザー設定を設定します。

 **注記：** 次のリストには、HP LaserJet Enterprise MFP プリンタで使用できるオプションのマスタ セットが記載されています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

名前を付けて保存	スキャンしたファイルの保存先フォルダとファイル名を指定します。
設定のロードと保存	<p>クイック セットのロード： 保存されているクイック セットからスキャン設定をロードします。</p> <p>注記： HP 内蔵 Web サーバを使用して、クイック セットを作成および保存します。</p> <p>デフォルトの保存： [オプション] リストの現在の設定を、今後のスキャン ジョブのデフォルト設定として保存します。</p>

文書ファイルタイプ

スキャンした文書を、ファイルタイプを指定して保存できます。

次のような標準的なファイルタイプを使用できます。

- **PDF:** このファイルタイプを選択すると、最適なイメージ品質とテキスト品質が得られます。PDFファイルの表示には、Adobe® Acrobat® Reader ソフトウェアが必要です。
- **JPEG:** このファイルタイプを選択すると、ほとんどのグラフィックで最適な結果が得られます。JPEGファイルは、ほとんどのコンピュータのブラウザで表示できます。このファイルタイプでは、1ページに対して1ファイルずつ生成されます。
- **TIFF:** これは、数多くのグラフィックプログラムがサポートしている標準的なファイル形式です。このファイルタイプでは、1ページに対して1ファイルずつ生成されます。
- **MTIFF:** MTIFFは、マルチページTIFFのことです。このファイルタイプでは、スキャンした複数のページを1つのファイルに保存できます。
- **XPS:** XPS (XML Paper Specification) は、文書の元のフォーマットを維持し、カラーグラフィックと内蔵フォントをサポートするXAMLファイルを作成します。
- **PDF/A:** PDF/Aは、電子文書の長期にわたる保管のために設計されたPDFの一種です。文書のすべてのフォーマット情報は、内蔵型です。

HP LaserJet Enterprise Flow MFP プリンタは、次のタイプのOCRファイルもサポートしています。

- **テキスト (OCR):** テキスト (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、テキストファイルを作成します。テキストファイルは任意のワープロプログラムで開くことができます。このオプションでは、原稿のフォーマットは保存されません。
- **Unicode テキスト (OCR):** Unicode テキスト (OCR) は、テキストを確実に表示および操作するために使用される業界標準です。このファイルタイプは、インターナショナルライズおよびローカライズに適しています。
- **RTF (OCR):** RTF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、リッチテキストフォーマット (RTF) を作成します。RTFは、ほとんどのワープロプログラムで開くことができる代替のテキスト形式です。このオプションでは、原稿のフォーマットの一部が保存されます。
- **サーチャブル PDF (OCR):** サーチャブル PDF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、検索可能なPDFファイルを作成します。この方法でスキャンした文書では、Adobe Acrobat® Reader の検索ツールを使ってPDF内の特定の単語または句を検索することができます。
- **サーチャブル PDF/A (OCR):** サーチャブル PDF/A (OCR) は、文書構造に関する情報を含むPDF/Aファイルのタイプです。この情報によりコンテンツを検索できます。
- **HTML (OCR):** HTML (OCR) は、原稿のコンテンツを含んだハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) ファイルを作成します。HTMLはWebサイト上でファイルを表示するために使用されます。
- **CSV (OCR):** CSV (OCR) は、共通のテキストファイル形式で、カンマ区切りの値が含まれます。このタイプのファイルは、ほとんどのワープロ、表計算、またはデータベースプログラムで開くことができます。


出力品質

スキャンしたイメージの出力品質を指定できます。これは、出力ファイルのサイズに影響します。

片面原稿/両面原稿	元原稿が片面または両面のどちらで印刷されているかを指定します。
カラー/モノクロ カラープリンタのみ。	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでイメージをスキャンするかを指定します。
スキャンモード	<p>標準文書：文書フィーダを使用してページまたはページの束をスキャンするか、またはスキャナガラスで1枚ずつページをスキャンします。</p> <p>ブックモード：開いた本をスキャンし、本の各ページを別々のページに出力します。</p> <p>両面IDコピー：スキャナガラスでIDカードの各面をスキャンし、1ページに出力します。最初の面をスキャンした後、プリンタには裏面をガラスの適切な位置に配置するようにメッセージが表示されます。</p>
解像度	スキャンするイメージの解像度を指定できます。高い解像度を指定するほど、イメージの鮮明度が向上します。ただし、解像度を上げるとファイルサイズも大きくなります。
元のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
内容の向き	原稿を印刷する向き（縦または横）を指定します。
イメージ調整	<p>シャープネス：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。</p> <p>濃度：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。</p> <p>コントラスト：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。</p> <p>背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。</p> <p>自動トーン：Flowプリンタのみ。原稿に100字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。</p>
テキスト/画像の最適化	スキャン中の次の画像タイプに合わせてジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。
エッジの消去	スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイプル跡などの不良を消します。
トリミングオプション	<p>原稿サイズにトリミング：原稿の用紙サイズに合わせてイメージをトリミングします。</p> <p>内容部分までトリミング：原稿の検出可能な内容のサイズに合わせてイメージをトリミングします。</p>
空白のページの削除	スキャンするイメージから原稿内の空白ページを除外できます。この機能は、文書内の空白ページを除去できるため、両面印刷されたページをスキャンするときに便利です。
複数ページの給紙の検出	複数ページの給紙の検出を有効または無効にします。有効に設定すると、プリンタが文書フィーダで一度に複数ページが給紙されていることを検出した場合、スキャンを停止します。無効に設定すると、複数ページが給紙されていることが検出されてもスキャンは続行するため、用紙同士が張り付いている場合、原稿に付箋紙が付いている場合、厚手の用紙を使用している場合などでもページをスキャンできます。


通知	スキャンジョブのステータスに関する通知を送信するかどうかを選択します。通知は、印刷するか、電子メールで送信できます。
デフォルトの保存	現在のスキャン設定を、このスキャン機能の新しいデフォルト設定として保存します。

14. **[ファイル設定]** 領域で、デフォルトのファイル設定を設定します。

 **注記:** これらのすべての設定を表示するには、ページの下部にある **[詳細設定]** をクリックします。

15. 選択したオプションを確認して正確であることを確認し、**[適用]** をクリックしてセットアップを完了します。

16. 左側のナビゲーションペインで、**[電子メールセットアップ]** にある **[クイックセット]** をクリックし、プリンタのクイックセットを選択します。

 **注記:** クイックセットは、プリンタのコントロールパネルのクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

方法 2: **[電子メールセットアップ]** ウィザードの使用

このセットアップウィザードには、基本的な設定のためのオプションが含まれます。

1. **[ネットワーク]** タブをクリックします。

2. **[TCP/IP Settings]** (TCP/IP 設定) が選択されていない場合は、左側のナビゲーションウィンドウでクリックします。

3. **[ネットワーク ID]** タブをクリックします。

4. ネットワークで DNS が必要な場合は、**[TCP/IP ドメインサフィックス]** 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com* などの形式になります。

 **注記:** ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. **[適用]** をクリックします。


6. **[スキャン/デジタル送信]** タブをクリックします。

7. 左側のナビゲーションペインで、**[電子メールおよび【ネットワークフォルダに保存】クイックセットアップウィザード]** をクリックします。

8. **[電子メールセットアップウィザード]** リンクをクリックします。


9. **[電子メールサーバ (SMTP) を設定]** ダイアログで、次のいずれかのオプションの手順を実行します。


- オプション 1: **[送信電子メールサーバのネットワークを検索]:**

 **注記:** このオプションを使用すると、ファイアウォール内の送信 SMTP サーバのみ検出されます。

1. [送信電子メール サーバのネットワークを検索] を選択し、[次へ] をクリックします。
 2. 適切なサーバを [SMTP サーバを検出しています] リストから選択し、[次へ] をクリックします。
 3. サーバの認証要件、
 - [サーバによる認証が不要] を説明するオプションを選択し、[次へ] をクリックします。
 - [サーバによる認証が必要]
 - ドロップダウン ボックスから、[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - ドロップダウン ボックスから、[常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。
- オプション 2: [SMTP サーバの追加]:


1. [SMTP サーバの追加] を選択します。
2. [サーバ名] と [ポート番号] を入力し、[次へ] をクリックします。

 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

 **注記:** Gmail などのホスト SMTP サービスを使用している場合は、サービスプロバイダの Web サイトまたはその他のソースの SMTP アドレス、ポート番号、および SSL 設定を確認します。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは `smtp.gmail.com`、ポート番号 465 で SSL は有効にする必要があります。

オンライン ソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

3. サーバの認証要件、
 - [サーバによる認証が不要] を説明するオプションを選択し、[次へ] をクリックします。
 - [サーバによる認証が必要]
 - ドロップダウン ボックスから、[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - ドロップダウン ボックスから、[常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。
10. [電子メールの設定] ダイアログに、差出人の電子メールアドレス、電子メールの件名、およびデフォルトのメッセージに関する情報を入力し、[次へ] をクリックします。

 **注記:** アドレス フィールドを設定する際、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにしておくと、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロールパネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。

機能	説明
[送信元:] (必須)	次のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザーのアドレス (サインインが必要)] • [デフォルトの差出人] <ul style="list-style-type: none"> ◦ [デフォルトの差出人:] および [デフォルトの表示名:] <p>電子メールメッセージに使用する電子メールアドレスと名前を入力します。</p> <p>ヒント: プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p>ヒント: ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[件名:] (オプション)	電子メールメッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ:] (オプション)	カスタムのメッセージを作成します。
	プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ:] の [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにします。

11. [ファイル スキャン設定を設定] ダイアログで、デフォルトのスキャン設定を設定し、[次へ] をクリックします。
12. [サマリ] ダイアログを確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

Office 365 Outlook を使用するための【電子メールへの送信】のセットアップ

- [はじめに](#)
- [Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メール サーバ \(SMTP\) の設定](#)

はじめに

Microsoft Office 365 Outlook は、Microsoft が提供するクラウドベースの電子メールシステムで、Microsoft の SMTP (Simple mail transfer protocol) サーバを使用して電子メールの送受信を実行します。プリンタで、コントロールパネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにするには、次を実行します。

 **注記:** EWS で設定を構成するには、Office 365 Outlook の電子メールアドレス アカウントを持っている必要があります。


Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メール サーバ (SMTP) の設定

1. [ネットワーク] タブをクリックします。
2. [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定) が選択されていない場合は、左側のナビゲーション ウィンドウでクリックします。

3. [ネットワーク ID] タブをクリックします。
4. ネットワークで DNS が必要な場合は、[TCP/IP ドメイン サフィックス] 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com* などの形式になります。

 **注記：**ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. [適用] をクリックします。
6. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーション ペインで、[スキャンして電子メールで送信] リンクをクリックします。
8. [スキャンして電子メールで送信を有効化] チェック ボックスを選択します。このチェック ボックスがオフになっていると、プリンタのコントロール パネルでこの機能を使用できません。
9. [送信電子メール サーバ (SMTP)] 領域で [追加] をクリックして、SMTP ウィザードを起動します。
10. [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)] フィールドで、「*smtp.onoffice.com*」と入力し、[次へ] をクリックします。
11. [サーバに接続するために必要な基本情報を設定します] ダイアログの、[ポート番号] フィールドに「587」と入力します。

 **注記：**一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)] に数字を入力することにより回避できます。


12. [SMTP SSL プロトコルの有効化] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
13. [サーバ認証要件] ダイアログで、次の情報を入力します。
 - a. [サーバに認証が必要です] を選択します。
 - b. ドロップダウンリストで、[常に次の資格証明を使用する:] を選択します。
 - c. [ユーザー名] フィールドに Office 365 Outlook の電子メール アドレスを入力します。
 - d. [パスワード] フィールドに Office 365 Outlook のアカウント パスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
14. [サーバ使用状況] ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
15. [概要およびテスト] ダイアログの [テスト電子メールの宛先:] フィールドに有効な電子メール アドレスを入力して [テスト] をクリックします。
16. すべての設定が正しいことを確認し、[終了] をクリックして、送信電子メール サーバのセットアップを完了します。

電子メールの問題の解決

電子メールの送信に関する問題

- [スキャンして電子メールで送信] ページの [スキャン/デジタル送信] タブで、[スキャンして電子メールで送信を有効化] チェック ボックス がオンになっていることを確認します。
- この機能が有効になっているにも関わらず電子メールを送信できない場合、SMTP サーバが正しく設定されていない可能性があります。原因は次の理由のいずれかであると考えられます。
 - サーバで認証が必要ですが、認証情報が送信されていません。
 - SMTP サーバのネットワーク アドレスまたはホスト名が正しくありません。
 - SMTP サーバが電子メールを受信しません (ポート 25 が開いていません)。
- 問題を特定するために、SMTP サーバの設定を確認します。

SMTP サーバの設定を確認します。

 **注記:** この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。次の手順では、サーバからの応答の例を示します。応答のテキストは、サーバごとに異なる場合があります。

1. Windows コマンドプロンプトを開きます [スタート]、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、「cmd」と入力します。
2. 「telnet」と入力し、続けて SMTP ゲートウェイのホスト名を入力して、最後にプリンタが通信に使用するポート番号「25」を入力します。たとえば、「telnet example.com 25」のように入力します。
3. Enter キーを押します SMTP ゲートウェイのホスト名が有効でない場合、応答には「**Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed. Connect Failed (ポート 25 のホストに接続できませんでした。接続に失敗しました)**」というメッセージが含まれます。
4. SMTP ゲートウェイのホスト名が無効である場合、サーバを再設定します。
 - 電子メール デジタル送信機能については、内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブで、異なる SMTP サーバを使用するようプリンタを設定します。

「220 smtp.hostname」などの応答を受信する場合、SMTP ゲートウェイのホスト名は有効です。次の手順に進みます。

5. SMTP サーバに対してユーザー情報を指定します。プロンプトで、[HELO] に続けてホスト名を入力します。[Enter] キーを押します これで応答を受信できるはずです。
6. SMTP サーバへの認証を試行します。プロンプトで「AUTH」と入力します。[Enter] キーを押します
7. 応答が「503.5.3.3 AUTH not available (503.5.3.3 AUTH は使用できません)」である場合、SMTP サーバでは認証が不要です。

応答が「250 AUTH」または「334」である場合、SMTP サーバで認証が必要になります。HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブにある [スキャンして電子メールで送信] ページで、正しい認証情報を設定します。

8. メッセージを送信する電子メールアカウントをサーバが認識していることを確認します。プロンプトで「MAIL FROM: <sender@domain.com>」と入力します。「<sender@domain.com>」は、テスト用の電子メールアドレスです。

応答が、「550 Requested action not taken: mailbox unavailable (550 要求された操作を実行できません：メールボックスは使用できません)」である場合、サーバはそのアドレスのメールボックスを見つけられません。

応答が、「550 Requested action not taken: mailbox name not allowed (550 要求された操作を実行できません：メールボックス名は許可されません)」である場合、電子メールアドレスは無効です。

9. サーバが受信者に電子メールを送信したことを確認します。プロンプトで「RCPT TO: <recipient@example.com>」と入力します。「<recipient@example.com>」は、受信者の電子メールアドレスです。

応答が、「550 Requested action not taken: mailbox unavailable (550 要求された操作を実行できません：メールボックスは使用できません)」である場合、サーバはそのアドレスのメールボックスを見つけられません。受信者の電子メールアカウントが、プリンタからメッセージを受信できないように設定されている可能性があります。

応答が、「551 User not local: please try <forward-path> (551 ユーザーがローカルではありません：<forward-path>を試してください) (<forward-path>は別の電子メールアドレス)」である場合、電子メールアカウントがアクティブではありません。


【スキャンデータをネットワークフォルダに送信】のセットアップ

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [方法 1:【ネットワークフォルダに保存】のセットアップ】ページを使用](#)
- [方法 2:【Save to Network Folder Quick Set Wizard】\(【ネットワークフォルダに保存】のクイックセットウィザード\)の使用](#)
- [ネットワークフォルダへの送信に関する問題](#)

はじめに


この文書は、スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをネットワークフォルダに保存する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。ただし、この機能は HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して設定されるまで利用できません。EWS でネットワークフォルダのスキャンを設定するには、2つの方法があります。高度な設定を行う場合は【ネットワークフォルダに保存】のセットアップ】ページを使用し、基本的な設定を行う場合は【スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップウィザード】を使用します。

作業を開始する前に

 **注記：**スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。


管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の項目が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- 宛先フォルダの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例：\\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例：\\16.88.20.20\scans)


 **注記：**このコンテキストで使用する「サーバ」という用語は共有フォルダが存在するコンピュータを指します。


スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップするには、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用します。続行する前に、この手順で EWS を開いてから、次のいずれかの方法でスキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップしてください。

HP 内蔵 Web サーバへのアクセス

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記:** EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

方法 1: **[[ネットワーク フォルダに保存] のセットアップ] ページを使用**

スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を完全構成する場合は、この方法を実行します。

- [手順 1: スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にし、デフォルトジョブオプションを設定](#)
- [手順 2: クイックセットをセットアップ](#)

手順 1: スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にし、デフォルトジョブオプションを設定


1. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーションメニューで、**[[ネットワーク フォルダに保存] のセットアップ]** リンクをクリックします。
3. **[[ネットワーク フォルダに送信] のセットアップ]** ダイアログで、**[ネットワークフォルダへの保存を有効化]** チェックボックスをオンにします。このボックスがオフになっていると、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。

ページ上のすべてのダイアログのフィールドを設定します。

- [通知設定](#)
- [フォルダ設定](#)
- [スキャンの設定](#)
- [ファイル設定](#)

通知設定

[通知設定] ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。

 **注記:** 通知電子メールを送信するには、電子メールジョブを送信するため SMTP サーバを使用するようプリンタがセットアップされている必要があります。

- オプション 1: [通知しない]


1. **[通知しない]** を選択します。
 2. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- **オプション 2: [ジョブが完了した場合に通知]**
 1. **[ジョブの完了時に通知する]** を選択します。
 2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。
選択されている通知方法が **[電子メール]** である場合、**[通知電子メールアドレス]** フィールドに電子メールアドレスを入力します。
 3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]** を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - **オプション 3: [ジョブが失敗した場合にのみ通知]**
 1. **[ジョブの失敗時にのみ通知する]** を選択します。
 2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。
選択されている通知方法が **[電子メール]** である場合、**[通知電子メールアドレス]** フィールドに電子メールアドレスを入力します。
 3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]** を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

フォルダ設定


[ファイル設定] ダイアログを使用して、スキャンした文書を送信するフォルダのタイプを設定します。
フォルダのアクセス権は次の 2 つのタイプから選択できます。

オプション 1: 読み取り/書き込みアクセス権

スキャンした文書を読み取り/書き込みアクセス権が設定されたフォルダに送信するには、次の手順を実行します。

 **注記:** **[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]** は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートします


1. まだ選択されていない場合は、**[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]**を選択します。
2. スキャンジョブを開始する前に、プリンタでフォルダアクセスの確認を行う必要がある場合は、**[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認]**を選択します。


 **注記：** **[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認]** が選択されていないほうが、スキャンジョブは迅速に完了できます。ただし、フォルダが利用できない場合は、スキャンジョブが失敗します。

3. **[次へ]** をクリックします。

オプション 2: 書き込みアクセス権のみ

スキャンした文書を書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記：** **[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する]** は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートしません

 **注記：** このオプションがオンになっていると、プリンタでスキャンファイル名のインクリメントは実行されません。すべてのスキャンに同じファイル名を送信します。

スキャンファイル名の時刻関連のファイル名プレフィックスまたはサフィックスを選択し、各スキャンが一意的なファイルとして保存され、前のファイルを上書きしないようにします。このファイル名は、**[ファイル設定]** ダイアログの情報によって決定されます。

1. **[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する]** を選択します。
2. **[次へ]** をクリックします。

スキャンの設定

[スキャン設定] ダイアログで、デフォルトのスキャン オプションを設定します。

名前を付けて保存

スキャンしたファイルの保存先フォルダとファイル名を指定します。

文書ファイルタイプ

スキャンした文書を、ファイルタイプを指定して保存できます。

次のような標準的なファイルタイプを使用できます。

- **PDF:** このファイルタイプを選択すると、最適なイメージ品質とテキスト品質が得られます。PDF ファイルの表示には、Adobe® Acrobat® Reader ソフトウェアが必要です。
- **JPEG:** このファイルタイプを選択すると、ほとんどのグラフィックで最適な結果が得られます。JPEG ファイルは、ほとんどのコンピュータのブラウザで表示できます。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。
- **TIFF:** これは、数多くのグラフィック プログラムがサポートしている標準的なファイル形式です。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。
- **MTIFF:** MTIFF は、マルチページ TIFF のことです。このファイルタイプでは、スキャンした複数のページを 1 つのファイルに保存できます。
- **XPS:** XPS (XML Paper Specification) は、文書の元のフォーマットを維持し、カラーグラフィックと内蔵フォントをサポートする XAML ファイルを作成します。
- **PDF/A:** PDF/A は、電子文書の長期にわたる保管のために設計された PDF の一種です。文書のすべてのフォーマット情報は、内蔵型です。

HP LaserJet Enterprise Flow MFP プリンタは、次のタイプの OCR ファイルもサポートしています。

- **テキスト (OCR):** テキスト (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、テキストファイルを作成します。テキストファイルは任意のワープロプログラムで開くことができます。このオプションでは、原稿のフォーマットは保存されません。
- **Unicode テキスト (OCR):** Unicode テキスト (OCR) は、テキストを確実に表示および操作するために使用される業界標準です。このファイルタイプは、インターナショナルライズおよびローカライズに適しています。
- **RTF (OCR):** RTF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、リッチテキストフォーマット (RTF) を作成します。RTF は、ほとんどのワープロプログラムで開くことができる代替のテキスト形式です。このオプションでは、原稿のフォーマットの一部分が保存されます。
- **サーチャブル PDF (OCR):** サーチャブル PDF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、検索可能な PDF ファイルを作成します。この方法でスキャンした文書では、Adobe Acrobat® Reader の検索ツールを使って PDF 内の特定の単語または句を検索することができます。
- **サーチャブル PDF/A (OCR):** サーチャブル PDF/A (OCR) は、文書構造に関する情報を含む PDF/A ファイルのタイプです。この情報によりコンテンツを検索できます。
- **HTML (OCR):** HTML (OCR) は、原稿のコンテンツを含んだハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) ファイルを作成します。HTML は Web サイト上でファイルを表示するために使用されます。
- **CSV (OCR):** CSV (OCR) は、共通のテキストファイル形式で、カンマ区切りの値が含まれます。このタイプのファイルは、ほとんどのワープロ、表計算、またはデータベースプログラムで開くことができます。

出力品質

スキャンしたイメージの出力品質を指定できます。これは、出力ファイルのサイズに影響します。

片面原稿/両面原稿

元の原稿が片面または両面のどちらで印刷されているかを指定します。

カラー/モノクロ	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでイメージをスキャンするかを指定します。 カラープリンタのみ。
スキャンモード	標準文書 ：文書フィーダを使用してページまたはページの束をスキャンするか、またはスキャナガラスで1枚ずつページをスキャンします。 ブックモード ：開いた本をスキャンし、本の各ページを別々のページに出力します。 両面IDコピー ：スキャナガラスでIDカードの各面をスキャンし、1ページに出力します。最初の面をスキャンした後、プリンタには裏面をガラスの適切な位置に配置するようにメッセージが表示されます。
解像度	スキャンするイメージの解像度を指定できます。高い解像度を指定するほど、イメージの鮮明度が向上します。ただし、解像度を上げるとファイルサイズも大きくなります。
元のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
内容の向き	原稿を印刷する向き(縦または横)を指定します。
イメージ調整	シャープネス ：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。 濃度 ：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。 コントラスト ：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。 背景の除去 ：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。 自動トーン ：Flowプリンタのみ。原稿に100字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。
テキスト/画像の最適化	スキャン中の次の画像タイプに合わせてジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。
エッジの消去	スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイプル跡などの不良を消します。
トリミングオプション	原稿サイズにトリミング ：原稿の用紙サイズに合わせてイメージをトリミングします。 内容部分までトリミング ：原稿の検出可能な内容のサイズに合わせてイメージをトリミングします。
空白のページの削除	スキャンするイメージから原稿内の空白ページを除外できます。この機能は、文書内の空白ページを除去できるため、両面印刷されたページをスキャンするときに便利です。
複数ページの給紙の検出	複数ページの給紙の検出を有効または無効にします。有効に設定すると、プリンタが文書フィーダで一度に複数ページが給紙されていることを検出した場合、スキャンを停止します。無効に設定すると、複数ページが給紙されていることが検出されてもスキャンは続行するため、用紙同士が張り付いている場合、原稿に付箋紙が付いている場合、厚手の用紙を使用している場合などでもページをスキャンできます。
通知	スキャンジョブのステータスに関する通知を送信するかどうかを選択します。通知は、印刷するか、電子メールで送信できます。

ファイル設定

[ファイル設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのファイル設定を設定し、[次へ] をクリックします。

[ファイル設定] :


機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名サフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。

手順 2: クイックセットをセットアップ


クイックセットは、プリンタのコントロールパネルの **クイックセット** アプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定を行うことができます。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャンジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] のメタデータを含める必要があります。

クイックセットの名前、説明、および開始オプションの指定

1. 左側のナビゲーションペインで、[クイックセット] をクリックします。
2. [クイックセットリスト] 領域で、[追加] をクリックします。[クイックセット設定] ページが表示されます。
3. [クイックセット名] フィールドに、名前を入力します。

 **ヒント:** クイックセットにユーザーがすぐ認識できる名前を付けます (例: 「スキャンしてフォルダに保存」)。

4. [クイックセットの説明] フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
5. [クイックセット開始オプション] リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション 1: [アプリケーションに入ってからユーザーが【開始】を押します]
 - オプション 2: [選択後、直ちに開始します]
 - ▲ [原稿側プロンプト] の下で次のいずれかのオプションを選択します。
 - [アプリケーションのデフォルトの使用]
 - [原稿側のプロンプト]

 **注記**：[選択後、直ちに開始します] が選択されている場合は、次の手順で宛先フォルダを設定する必要があります。

6. [次へ] をクリックします。

スキャンした文書の宛先フォルダの設定


オプション 1: 共有フォルダまたは FTP フォルダ

スキャンした文書を標準共有フォルダまたは FTP フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

1. まだ選択されていない場合は、[共有フォルダまたは FTP フォルダに保存] を選択します。
2. [追加...] をクリックします。[ネットワーク フォルダ パスの追加] ダイアログが開きます。
3. [ネットワーク フォルダ パスの追加] ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション 1: [標準共有ネットワーク フォルダに保存]

1. まだ選択されていない場合は、[標準共有ネットワーク フォルダに保存] を選択します。
2. [UNC フォルダ パス] フィールドにフォルダ パスを入力します。


フォルダ パスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例 : \\servername.us.companyname.net \scans) またはサーバの IP アドレス (例 : \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダ パス (例 : \scans) を続けます。

 **注記**：FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。


3. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、[カスタムサブフォルダ] リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定] を選択します。

4. スキャンした文書の完全なフォルダ パスを表示するには、[プレビューを更新] をクリックします。
5. [認証設定] リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [コントロール パネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]
 - [常にこれらの認証情報を使用する]


 **注記**：[常にこれらの認証情報を使用する] が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。


6. [Windows ドメイン] フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **ヒント** : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、[スタート]、[コントロールパネル]、[システム] の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、[検索] をクリックし、検索ボックスに「システム」と入力し、[システム] をクリックします。


ドメインが [コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定] の下に一覧表示されます。

 **注記** : すべてのユーザーがアクセスできるように共有フォルダが設定されている場合、ワークグループ名 (デフォルトは「Workgroup」です)、ユーザー名、およびパスワードの値を対応するフィールドに入力する必要があります。ただし、フォルダが公開フォルダでなく特定のユーザーのフォルダ内に存在する場合、そのユーザーのユーザー名とパスワードを使用する必要があります。

 **注記** : コンピュータ名の代わりに、IP アドレスが必要になる場合があります。多くのホーム ルーターではコンピュータ名を処理できることが少なく、ドメイン ネーム サーバー (DNS) もありません。この場合、新しい IP アドレスを割り当てる DHCP の問題を軽減するため、共有 PC に静的 IP アドレスを設定することをお勧めします。通常のホーム ルーターでこの設定を行うには、同じサブネット上にあるが DHCP アドレス範囲内でない静的 IP アドレスを設定します。

7. [OK] をクリックします。

- オプション 2: [FTP サーバに保存]

 **注記** : FTP サイトがファイアウォールの外側にある場合は、ネットワーク設定でプロキシサーバを指定する必要があります。これらの設定は、[EWS ネットワーク] タブの [詳細設定] オプションの下にあります。

1. [FTP サーバに保存] を選択します。

2. [FTP サーバ] フィールドに FTP サーバ名または IP アドレスを入力します。

3. [ポート] フィールドにポート番号を入力します。

 **注記** : ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

4. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、[カスタムサブフォルダ] リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

5. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、[プレビューを更新] をクリックします。

6. [FTP 転送モード] リストから、次のいずれかのオプションを選択します。

- [パッシブ]
- [アクティブ]

7. [ユーザー名] フィールドに、ユーザー名を入力します。


8. [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。

9. [アクセスの確認] をクリックして、宛先にアクセスできることを確認します。


10. [OK] をクリックします。

オプション 2: 個人用共有フォルダ

スキャンした文書を個人用共有フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** このオプションは、管理者が各ユーザーの共有フォルダを設定するドメイン環境で使用します。個人用共有フォルダに保存する機能が設定されている場合、ユーザーは **Windows** 認証情報 または **LDAP** 認証を使用して、プリンタのコントロールパネルでサインインするように要求されます。

1. **[個人用共有フォルダに保存]** を選択します。
2. **[この属性を使用してデバイス ユーザーの名前を取得]** フィールドに、**Microsoft Active Directory** のユーザーのホーム フォルダを入力します。

 **注記:** ユーザーがこのホーム フォルダのネットワーク上の場所を把握していることを確認します。

3. フォルダパスの末尾にユーザー名サブフォルダを追加するには、**[ユーザー名に基づいてサブフォルダを作成]** を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]** を選択します。


サマリ


[サマリ] ダイアログで、設定を確認し、**[終了]** をクリックします。

方法 2: **[Save to Network Folder Quick Set Wizard]** (**[ネットワーク フォルダに保存]** のクイック セット ウィザード) の使用

このオプションにより、プリンタの HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にあるセットアップ ウィザードが開きます。このセットアップ ウィザードには、基本的な設定のためのオプションが含まれます。

1. **[スキャン/デジタル送信]** タブをクリックします。
2. **[電子メールおよび [ネットワーク フォルダに保存] クイック セット ウィザード]** リンクをクリックします。
3. **[ネットワーク フォルダに保存]** の追加または削除クイック セット] ダイアログで、**[追加]** をクリックします。

 **注記:** クイック セットは、プリンタのコントロールパネルの **クイック セット** アプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

 **注記:** **[ネットワーク フォルダに保存]** 機能は、クイック セットを作成しなくても、最小限の設定が可能です。ただし、クイック セットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャン ジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイック セットには、**[ネットワーク フォルダに保存]** のメタデータを含める必要があります。

4. **[フォルダ クイック セットの追加]** ダイアログで、次の情報を入力します。
 - a. **[クイック セット タイトル]** フィールドにタイトルを入力します。

☀ **ヒント** : クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例 : 「スキャンしてフォルダに保存」)。

- b. **[ボタンの場所]** ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。これらのオプションは、**クイックセット** ボタンがプリンタのコントロールパネルが表示される場所を示します。
- **[Quick Sets Application(クイック設定アプリケーション)]**
 - **[ホーム画面]**
- c. **[クイックセットの説明]** フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
- d. **[次へ]** をクリックします。
5. **[宛先フォルダの設定]** ダイアログで、次の情報を入力します。

- a. **[UNC フォルダパス]** フィールドに、スキャンが移動するフォルダパスを入力します。
- フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例 : \\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例 : \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例 : \scans) を続けます。

📄 **注記** : FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

- b. **[認証設定]** ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。
- **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
 - **[常にこれらの認証情報を使用する]**

📄 **注記** : **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力し、**[アクセスの確認]** をクリックして、フォルダへのプリンタのアイコンを確認する必要があります。

- c. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

☀ **ヒント** : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

ドメインが **[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]** の下に一覧表示されます。

- d. **[次へ]** をクリックします。
6. **[ファイルスキャン設定を設定]** ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

7. [サマリ] ダイアログを確認し、[終了] をクリックします。
8. [[ネットワーク フォルダに保存]のセットアップ] ダイアログで、選択されている設定を確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

ネットワーク フォルダへの送信に関する問題

問題	原因	解決法
すべてのユーザーがネットワーク フォルダにジョブを保存できない。	ファイアウォールが干渉している可能性があります。	IPsec を有効にした場合、この機能がデジタル送信機能に干渉している可能性があります。IPsec を無効にしてください。
	サーバの電源がオフになっている可能性があります。	サーバの電源がオンになっていることを確認します。
	DNS 設定が正しくない可能性があります。	変更された可能性または入力为正しくない可能性があるため、UNC フォルダ パスを確認します。
特定のユーザーがネットワーク フォルダにジョブを保存できない。	フォルダには、書き込みアクセス権の制限がある可能性があります。	フォルダに対する書き込みのアクセス権が管理されている場合、そのフォルダにファイルを保存するには、再度サインインする必要があります。
	クイック設定フォルダではないフォルダにジョブを送信しようとする場合、フォルダのパスが正しくない可能性があります。	正しいネットワーク パスが入力されていることを確認します。
	クイック設定フォルダへのパスを編集してフォルダを指定した場合、新しいフォルダに対する権限が許可されない可能性があります。	このユーザーがジョブをこのフォルダに保存することを許可するアクセス権を設定します。
	ユーザーがネットワーク サーバに対して認証されていない可能性があります。	ネットワーク フォルダがあるサーバにアクセスするのに必要な資格証明をユーザーが取得していることを確認します。
	ユーザーがサポートされていないファイル形式を指定した可能性があります。	ファイルを異なるファイル形式の拡張子で保存してください。
通知を受信するオプションを選択したが、通知を受信しない。	通知用のデフォルトの電子メールアドレスを設定していないか、アドレスが正しくない可能性があります。	プリンタにサインインして、通知オプションの電子メールアドレスが正しいことを確認してください。SMTP サーバが設定されていることを確認してください。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ

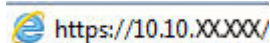
- [はじめに](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\] の有効化](#)
- [デフォルトのスキャン オプションの設定](#)
- [デフォルトのファイル名の設定](#)


はじめに

この文書は、スキャンして USB ドライブに保存する機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータを USB ドライブに保存する機能を備えています。この機能は、設定するまで使用できません。

[スキャンして USB ドライブに保存] の有効化

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** メニューまでスクロールして選択します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. [セキュリティ] タブをクリックし、[ハードウェア ポート] の領域で [ホスト USB プラグアンドプレイを有効にする] を選択します。[適用] をクリックします。
3. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
4. [USB に保存] リンクをクリックします。
5. [USB への保存の有効化] を選択します。
6. ページの一番下にある [適用] ボタンをクリックします。

デフォルトのスキャン オプションの設定

[スキャンして USB ドライブに保存] の次のデフォルトのオプションを設定します。

 **注記** : 次のリストには、HP LaserJet Enterprise MFP プリンタで使用できるオプションのマスタ セットが記載されています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

名前を付けて保存	スキャンしたファイルの保存先フォルダとファイル名を指定します。
----------	---------------------------------

設定のロードと保存

クイックセットのロード: 保存されているクイックセットからスキャン設定をロードします。

注記: HP 内蔵 Web サーバを使用して、クイックセットを作成および保存します。

デフォルトの保存: [オプション] リストの現在の設定を、今後のスキャンジョブのデフォルト設定として保存します。

文書ファイルタイプ

スキャンした文書を、ファイルタイプを指定して保存できます。

次のような標準的なファイルタイプを使用できます。

- **PDF**: このファイルタイプを選択すると、最適なイメージ品質とテキスト品質が得られます。**PDF** ファイルの表示には、**Adobe® Acrobat® Reader** ソフトウェアが必要です。
- **JPEG**: このファイルタイプを選択すると、ほとんどのグラフィックで最適な結果が得られます。**JPEG** ファイルは、ほとんどのコンピュータのブラウザで表示できます。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。
- **TIFF**: これは、数多くのグラフィックプログラムがサポートしている標準的なファイル形式です。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。
- **MTIFF**: **MTIFF** は、マルチページ **TIFF** のことです。このファイルタイプでは、スキャンした複数のページを 1 つのファイルに保存できます。
- **XPS**: **XPS (XML Paper Specification)** は、文書の元のフォーマットを維持し、カラーグラフィックと内蔵フォントをサポートする **XAML** ファイルを作成します。
- **PDF/A**: **PDF/A** は、電子文書の長期にわたる保管のために設計された **PDF** の一種です。文書のすべてのフォーマット情報は、内蔵型です。

HP LaserJet Enterprise Flow MFP プリンタは、次のタイプの **OCR** ファイルもサポートしています。

- **テキスト (OCR)**: **テキスト (OCR)** は、光学式文字認識 (**OCR**) を使用して原稿をスキャンすることによって、テキストファイルを作成します。テキストファイ

ルは任意のワープロプログラムで開くことができます。このオプションでは、原稿のフォーマットは保存されません。

- **Unicode テキスト (OCR):** Unicode テキスト (OCR) は、テキストを確実に表示および操作するために使用される業界標準です。このファイルタイプは、インターナショナルライズおよびローカライズに適しています。
- **RTF (OCR):** RTF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、リッチテキストフォーマット (RTF) を作成します。RTF は、ほとんどのワープロプログラムで開くことができる代替のテキスト形式です。このオプションでは、原稿のフォーマットの一部が保存されます。
- **サーチャブル PDF (OCR):** サーチャブル PDF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して原稿をスキャンすることによって、検索可能な PDF ファイルを作成します。この方法でスキャンした文書では、Adobe Acrobat® Reader の検索ツールを使って PDF 内の特定の単語または句を検索することができます。
- **サーチャブル PDF/A (OCR):** サーチャブル PDF/A (OCR) は、文書構造に関する情報を含む PDF/A ファイルのタイプです。この情報によりコンテンツを検索できます。
- **HTML (OCR):** HTML (OCR) は、原稿のコンテンツを含んだハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) ファイルを作成します。HTML は Web サイト上でファイルを表示するために使用されます。
- **CSV (OCR):** CSV (OCR) は、共通のテキストファイル形式で、カンマ区切りの値が含まれます。このタイプのファイルは、ほとんどのワープロ、表計算、またはデータベースプログラムで開くことができます。

出力品質	スキャンしたイメージの出力品質を指定できます。これは、出力ファイルのサイズに影響します。
片面原稿/両面原稿	元の原稿が片面または両面のどちらかで印刷されているかを指定します。
カラー/モノクロ	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでイメージをスキャンするかを指定します。 カラープリンタのみ。
スキャンモード	標準文書: 文書フィーダを使用してページまたはページの束をスキャンするか、またはスキャナガラスで1枚ずつページをスキャンします。 ブックモード: 開いた本をスキャンし、本の各ページを別々のページに出力します。 両面IDコピー: スキャナガラスでIDカードの各面をスキャンし、1ページに出力します。最初の面をスキャンした後、プリンタには裏面をガラスの適切な位置に配置するようにメッセージが表示されます。
解像度	スキャンするイメージの解像度を指定できます。高い解像度を指定するほど、イメージの鮮明度が向上します。ただし、解像度を上げるとファイルサイズも大きくなります。
元のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
内容の向き	原稿を印刷する向き (縦または横) を指定します。

イメージ調整	<p>シャープネス：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。</p> <p>濃度：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。</p> <p>コントラスト：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。</p> <p>背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。</p> <p>自動トーン：Flow プリンタのみ。原稿に 100 字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。</p>
テキスト/画像の最適化	スキャン中の次の画像タイプに合わせてジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。
エッジの消去	スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイプル跡などの不良を消します。
トリミング オプション	<p>原稿サイズにトリミング：原稿の用紙サイズに合わせてイメージをトリミングします。</p> <p>内容部分までトリミング：原稿の検出可能な内容のサイズに合わせてイメージをトリミングします。</p>
空白のページの削除	スキャンするイメージから原稿内の空白ページを除外できます。この機能は、文書内の空白ページを除去できるため、両面印刷されたページをスキャンするときに便利です。
複数ページの給紙の検出	複数ページの給紙の検出を有効または無効にします。有効に設定すると、プリンタが文書フィーダで一度に複数ページが給紙されていることを検出した場合、スキャンを停止します。無効に設定すると、複数ページが給紙されていることが検出されてもスキャンは続行するため、用紙同士が張り付いている場合、原稿に付箋紙が付いている場合、厚手の用紙を使用している場合などでもページをスキャンできます。
通知	スキャンジョブのステータスに関する通知を送信するかどうかを選択します。通知は、印刷するか、電子メールで送信できます。
デフォルトの保存	現在のスキャン設定を、このスキャン機能の新しいデフォルト設定として保存します。

デフォルトのファイル名の設定

オプション名	説明
[ファイル名プレフィックス]	デフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名サフィックス]	デフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。

【スキャンして SharePoint® に保存】のセットアップ (Flow モデルのみ)

- [はじめに](#)
- [【スキャンして SharePoint® に保存】の有効化](#)
- [ファイルをスキャンし、Microsoft SharePoint® サイトに直接保存します。](#)


はじめに

スキャンして **SharePoint®** に保存 を使用して、文書をスキャンして直接 **Microsoft® SharePoint®** サイトに送ります。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、**USB** フラッシュ ドライブ、または電子メール メッセージにスキャンして、そのファイルを手動で **SharePoint®** サイトにアップロードする必要がなくなります。


スキャンして **SharePoint®** に保存 は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、**OCR** 機能を使ってテキスト ファイルまたはサーチャブル **PDF** を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

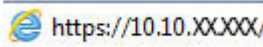
この機能は、デフォルトで無効です。HP 内蔵 **Web** サーバ (**EWS**) で **スキャンして SharePoint® に保存** を有効にします。


【スキャンして SharePoint® に保存】の有効化

 **注記** : この手順を完了するには、事前にスキャン ファイルが保存される宛先フォルダが **SharePoint®** サイトに存在しており、宛先フォルダへの書き込み権限が有効になっている必要があります。

スキャンして SharePoint® に保存 はデフォルトでは無効になっています。この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 次の手順で **HP** 埋め込み **Web** サーバ (**EWS**) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、**IP** アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. **Web** ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ **IP** アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。**EWS** が開きます。


 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記** : **EWS** を開こうとしたときに **Web** ブラウザに この **Web** サイトのセキュリティ証明書に問題があります というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。


[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、**HP** プリンタの **EWS** 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。


2. **[スキャン/デジタル送信]** タブを開き、左の列で **[SharePoint® に保存]** メニューを選択します。
3. **[SharePoint® への保存の有効化]** を選択し、**[適用]** ボタンをクリックします。

4. [クイック セット] セクションの [追加] ボタンをクリックして [クイック セットウィザード] を起動します。
5. [クイック セット名] フィールドにクイック セットの名前を入力します。
6. [クイック セットの説明] フィールドにクイック セットの説明を入力します。この説明は、プリンタのコントロールパネルのクイック セット ボタンで表示されます。
7. [クイック セット開始オプション] を選択します。
 - [ユーザーは、アプリケーションに入って [スタート] を押します]: スタート を押してジョブを開始する前に、設定の確認や変更を行うため、クイック セットのスキャンアプリケーションが開きます。
 - [選択後、直ちに開始します]: クイック セットを選択すると、ジョブがすぐに開始します。


 **注記:** ほとんどの場合、クイック セットを手動で開始して、ジョブを開始する前にオプションを確認し設定するのが最適な方法です。

8. [次へ] をクリックします。
9. SharePoint フォルダへのパスを追加するには、[追加] をクリックします。ターゲットパスをブラウザのアドレス フィールドからコピーして [SharePoint パス] フィールドにペーストします。[ショート URL を生成] をクリックして、プリンタのコントロールパネルに表示する短い URL を作成します。
10. デフォルトでは、新しいファイルと同じファイル名の既存のファイルは上書きされます。[既存のファイルを上書きします] をオフにすると、既存のファイルと同じ名前の新しいファイルには、日時のタイムスタンプが付きます。
11. [認証設定] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。認証情報を使用して SharePoint サイトにサインインする必要がある、またはクイック セット内に認証情報を保存するのいずれかを選択します。

 **注記:** [認証設定] ドロップダウン メニューで [コントロール パネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択した場合、ログインするユーザーは指定された SharePoint サイトへの書き込みアクセス権を持っている必要があります。


 **注記:** セキュリティ上の理由により、クイック セット ウィザードに入力された認証情報はプリンタに表示されません。

12. 認証情報を入力する場合は、[アクセスの確認] をクリックしてパスとその他の情報が正しいことを確認し、[OK] をクリックして [SharePoint の宛先設定] ウィンドウに戻ります。
13. オプション: 追加の SharePoint パスを入力します。[次へ] をクリックして次に進みます。[]
14. オプション: ジョブが正常に完了した、または失敗した際、電子メール メッセージを送信したり、概要ページを印刷したりするよう、クイック セットを設定します。[通知条件] ドロップダウンメニューからオプションを選択し、通知方法と、必要な場合は通知先電子メール アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

 **注記:** 電子メール通知機能を使用するには、最初にプリンタで電子メール機能を設定します。



15. [スキャン設定] ウィンドウでオプションを選択し、[次へ] をクリックします。
16. [ファイル設定] ウィンドウからオプションを選択します。ドロップダウン メニューから事前定義されているファイル名プレフィックスおよびサフィックスを選択し、デフォルトのファイル名

を入力します。[プレビューを更新] をクリックして、選択した設定をプレビューします。[[デフォルトのファイルタイプ] ドロップダウンメニューからデフォルトのファイル形式を選択します。

 **注記:** [デフォルトのファイルタイプ] メニューには、OCR のファイル形式が含まれます。

17. [次へ] をクリックすると、クイック セット ボタンがコントロール パネルに表示された状態がプレビュー表示されます。[終了] をクリックすると、セットアップは完了です。

ファイルをスキャンし、Microsoft SharePoint® サイトに直接保存します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、SharePoint® にスキャン をタッチします。
3. クイック セット リストからいずれかの項目を選択します。
4. ファイル名: をタッチします。テキスト フィールドをタッチしてキーボードを開き、オンスクリーン キーボードまたは物理キーボードを使ってファイル名を入力します。OK にタッチします。
5. 必要に応じて、ファイル タイプ ドロップダウン メニューをタッチして、別の出力ファイル形式を選択します。
6. その他のオプション をタッチして、ドキュメントの設定を表示、設定します。
7. 画面の右上隅にあるプレビュー  ボタンをタッチすれば、いつでもイメージをプレビューできます。この機能の詳細を確認するには、プレビュー画面にあるヘルプ ボタン  をタッチします。
8. スタート ボタンをタッチしてファイルを保存します。

クイック設定の作成

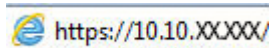
クイック設定機能を使用して、設定済みのジョブ オプションに簡単にアクセスすることができます。HP 内蔵 Web サーバを使用してクイック セットを作成すると、プリンタのコントロールパネルの **クイック セット** アプリケーションで使用できるようになります。クイック設定は、次のスキャン/送信機能で使用できます。


- コピー
- スキャンして電子メールで送信
- スキャンデータをネットワーク フォルダに送信
- スキャンして USB ドライブに保存
- スキャンしてファックス送信
- スキャンして SharePoint® に保存

次の手順でシステム管理者にサポートを依頼します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。

- プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** メニューまでスクロールして選択します。
- Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記**：EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります]** というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. [一般] タブをクリックします。

3. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[クイック セット] リンクをクリックします。

4. [クイック セット リスト] ダイアログで、[追加] をクリックします。

5. [アプリケーションの選択] ダイアログで、新しいクイック セットを作成するアプリケーションを選択します。[次へ] をクリックします。

6. 次の情報を指定します。


- **[クイック セット名]**: このタイトルは、プリンタのコントロールパネルの新しいクイック セットのボタンに表示されます。
- **[クイック設定の説明]**: コントロールパネルで、新しいクイック設定のボタンのタイトルの横にこの短い説明が表示されます。
- **クイック セットの開始オプション**: 以下のオプションのいずれかを選択します。

- **[ユーザーは、アプリケーションに入って【スタート】を押します]:** 設定を確認、変更してから、**スタート** ボタンをタッチしてジョブを開始できるよう、クイックセットのアプリケーションを起動します。
- **[選択後、直ちに開始します]:** クイックセットを選択すると、ジョブがすぐに開始します。

[次へ] をクリックします。

7. 次のいずれかのダイアログが表示されます (手順 5 で選択したアプリケーションによって異なります)。

- **[電子メールに保存]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[アドレスフィールドの制限]、[署名と暗号化]**
- **[ファックス]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[ファックス宛先の選択]**
- **[ネットワーク フォルダに保存]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[フォルダ設定]**
- **[USB ドライブに保存]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[USB ストレージデバイスにファイルを保存する場所を設定します]**
- **[SharePoint® に保存]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[SharePoint® の宛先設定]、[SharePoint® パスの追加]、[SharePoint® の宛先設定]**

 **注記:** [スキャンして **SharePoint® に保存**] 機能は、HP Flow MFP の全機種、デジタル センダ、Scanjet 7000nx (ファームウェア データ コード 20120119 以降) で使用できます。

- **[コピー]** を選択した場合に表示されるダイアログ: **[コピー設定]**

宛先固有のダイアログを続行します。[次へ] をクリックして次のダイアログに進みます。

8. **[通知設定]** ダイアログで、スキャンステータスの通知設定を選択して、[次へ] をクリックします。
9. **[スキャン設定]** ダイアログで、使用するスキャン設定を選択します。[次へ] をクリックします。
10. **[ファイル設定]** ダイアログで、使用するファイル設定を選択します。[次へ] をクリックします。
11. **[サマリ]** ダイアログを確認し、**[終了]** をクリックします。
12. クイック設定固有のダイアログで、ウィンドウ下部の **[適用]** をクリックしてクイック設定を保存します。

スキャンして電子メールに送信

はじめに


このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。この機能を使用する前に、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能を有効にし、セットアップしてください。

文書をスキャンして電子メールに送信

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**電子メール** ボタンをタッチします。


 **注記:** ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。

3. **宛先** フィールドをタッチしてキーボードを開きます。





 **注記:** プリンタにサインインしている場合、ユーザー名などのデフォルト情報が **差出人** フィールドに表示されることがあります。この場合、その情報を変更できないことがあります。


4. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

アドレスを手動で入力する

- ▲ **宛先** フィールドにアドレスを入力します。複数の電子メールアドレスに送信する場合は、アドレス間をセミコロンで区切るか、または各アドレスの入力後にタッチスクリーン キーボードの **Enter**  ボタンをタッチします。

連絡先リストからアドレスを入力する

- a. **宛先:** フィールドの横にあるアドレス帳ボタン  をタッチし、**アドレス帳** 画面を開きます。
 - b. ドロップダウン リストで、使用するアドレス帳ビューを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択し、右向き矢印ボタン  をタッチし、その名前を受信者リストに追加します。受信者ごとにこのステップを実行した後、**OK** ボタンをタッチします。
5. フィールドにタッチし、タッチスクリーン キーボードを使用して、**件名** および **ファイル名** フィールドに情報を入力します。フィールドに情報を入力したら、**OK** ボタンをタッチします。
 6. 文書の設定を行うには、**その他のオプション** ボタンをタッチします。たとえば、
 - 作成するファイルタイプ、解像度、および出力品質を指定するには、**ファイルタイプと解像度** を指定します。
 - 原稿が両面に印刷されている場合は、**片面原稿/両面原稿** を選択し、**両面** を選択します。
 7. 文書をプレビューするには、**[プレビュー]**  ボタンをタッチします。
 8. **スタート** ボタン  をタッチして送信します。


 **注記:** アドレス帳または連絡先リストに電子メールアドレスを追加するよう指示される場合があります。


スキャンしてネットワーク フォルダに送信

はじめに

ファイルをスキャンし、そのデータをネットワークの共有フォルダに保存できます。この機能を使用する前に、**HP 内蔵 Web** サーバを使用して機能を有効にし、共有フォルダを設定してください。システム管理者は、事前定義クイックセットフォルダを設定できます。設定しない場合は、ジョブごとにフォルダパスを指定する必要があります。


文書をスキャンしてフォルダに保存



 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ネットワーク フォルダに保存** ボタンをタッチします。
3. このジョブ専用のパスを指定するには、**[追加]**  ボタンをタッチしてキーボードを開き、フォルダへのパスを入力して、**OK** ボタンをタッチします。パス名には次の形式を使用します：

\\server\folder。「server」部分には共有フォルダをホストするサーバの名前、「folder」部分には共有フォルダの名前が表示されます。フォルダが他のフォルダ内にネストされている場合は、フォルダへのアクセスに必要なすべてパスのセグメントを指定します。たとえば、\\server\folder\folder

または、事前に定義したクイックセットのパスか連絡先に関連付けられているパスを選択します。

 **注記**：**フォルダパス** フィールドには、事前定義パスが設定されており、編集できない場合があります。この場合、このフォルダは、管理者により共通アクセス用として設定されています。


4. **ファイル名** テキストフィールドをタッチしてキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、**OK** ボタンをタッチします。
5. 文書の設定を行うには、**その他のオプション** ボタンをタッチします。たとえば、
 - 作成するファイルタイプ、解像度、および出力品質を指定するには、**ファイルタイプと解像度** を指定します。
 - 原稿が両面に印刷されている場合は、**片面原稿/両面原稿** を選択し、**両面** を選択します。
6. 文書をプレビューするには、**[プレビュー]**  ボタンをタッチします。
7. 文書の準備が整ったら、**[スタート]**  ボタンをタッチしてファイルを保存します。



スキャンして **USB** フラッシュ ドライブに保存

はじめに

このプリンタでは、ファイルをスキャンして **USB** フラッシュ ドライブに保存することができます。この機能を使用する前に、**HP** 内蔵 **Web** サーバを使用して機能を有効にし、設定してください。

文書をスキャンして **USB** フラッシュ ドライブに保存

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. **USB** フラッシュ ドライブをプリンタのコントロール パネル付近の **USB** ポートに挿入します。
3. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、**USB に保存** ボタンまでスクロールしてタッチします。
4. ファイルは、**USB** フラッシュ ドライブのルートに保存するか、既存のフォルダに保存するか、**新規フォルダ** ボタンをタッチして **USB** フラッシュ ドライブ上に新しいフォルダを作成します。
5. **ファイル名** テキスト フィールドをタッチしてキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、**OK** ボタンをタッチします。
6. 文書の設定を行うには、**その他のオプション** ボタンをタッチします。たとえば、
 - 作成するファイル タイプ、解像度、および出力品質を指定するには、**ファイル タイプと解像度** を指定します。
 - 原稿が両面に印刷されている場合は、**片面原稿/両面原稿** を選択し、**両面** を選択します。
7. 文書をプレビューするには、**[プレビュー]**  ボタンをタッチします。
8. 文書の準備が整ったら、**[スタート]**  ボタンをタッチしてファイルを保存します。

補足的なスキャン タスク

www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

たとえば、次のようなスキャン タスクの実行手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- ブックレット形式での文書のコピーまたはスキャン

7 ファックス

- [ファックスのセットアップ](#)
- [ファックス設定の変更](#)
- [ファックスの送信](#)
- [補足的なファックスタスク](#)

詳細は、[次を参照してください](#)。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索


ファックスのセットアップ

はじめに

この情報は、ファックスおよび **Flow** モデル、またはオプションのアナログ ファックス アクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。次に進む前に、プリンタを電話回線に接続するか (アナログ ファックスの場合)、インターネットまたはネットワーク ファックス サービスに接続します。


プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** までスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信のセットアップ
 - ファックス設定ウィザード

 **注記:** **ファックス設定** メニューがメニューリストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、**ファックス設定** メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用するには、HP 内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。

3. ファックス設定ウィザードの手順を実行して、必要な設定を行います。

ファックス設定の変更

 **注記:** コントロールパネルでファックス設定ウィザードを使用して指定したセットアップは、HP 内蔵 Web サーバで行ったセットアップよりも優先します。

- [ファックスダイアル設定](#)
- [全般的なファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)

ファックスダイアル設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[管理](#) までスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [ファックス送信のセットアップ](#)
 - [ファックスダイアル設定](#)

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
ファックスダイアル音量	ファックスの送信時にプリンタのダイアル音量レベルを設定するには、 ファックスダイアル音量 設定を使用します。
ダイアルモード	ダイアルモード 設定では、使用するダイアルタイプをトーン (プッシュホン) またはパルス (ダイアル式電話) のいずれかに設定します。
ファックス送信速度	ファックスの 送信速度 設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート (ビット/秒) を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● 高速 (デフォルト) - v.34/最大 33,600bps● 中 - v.17/最大 14,400bps● 低速 - v.29/最大 9,600bps
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔 設定では、ダイアルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。 注記: 通話中の場合のリダイヤルと無応答時のリダイヤル回数を両方もオフに設定すると、コントロールパネルにリダイヤルメッセージが表示されます。このエラーは、ファックスアクセサリが番号をダイアルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラー状況の結果として、ファックスアクセサリはリダイヤル設定に関係なくリダイヤルを自動的に 3 回試行します。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されません。
エラー発生時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。

メニュー項目	説明
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル 設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数 (0 ~ 9) を選択します。リダイヤルの間隔は【リダイヤルの間隔】設定で設定します。
無応答時のリダイヤル回数	無応答時のリダイヤル回数 設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、国/地域の設定に応じて 0 ~ 1 (米国で使用) または 0 ~ 2 のいずれかです。リダイヤルの間隔は【リダイヤルの間隔】設定で設定します。
ダイヤル トーンを検出	ダイヤル トーンを検出 設定では、ファックスを送信する前にダイヤル トーンを確認するかどうかを決定します。
プレフィックスのダイヤル	ダイヤルプレフィックス 設定では、ダイヤル時の局番 (外線発信時の「9」など) を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。

全般的なファックス送信設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** までスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信のセットアップ
 - 全般的なファックス送信設定

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	ファックス番号の確認 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
PC ファックス送信	PC からファックスを送信するには、 PC ファックス送信 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっている。
ファクス ヘッド	ファクス ヘッド 機能を使用して、先頭にヘッドを付加して内容を下に下げるか、前のヘッドにヘッドをオーバーレイするかを設定します。
JBIG 圧縮	JBIG 圧縮 機能を有効にすると、ファックスの伝送時間を短縮して電話料金を削減できるので便利です。ただし、JBIG 圧縮 機能を使用すると、旧式のファックス装置と通信するときに互換性の問題が発生する場合があります。このような場合は無効にする必要があります。 注記 : JBIG 圧縮 機能を使用できるのは、送信側と受信側の両方がこの機能に対応している場合に限られます。

メニュー項目	説明
エラー修正モード	<p>通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー修正モード 設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。</p> <p>デフォルトでは、エラー修正モード 機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。</p> <p>注記：一部の VoIP プロバイダは、エラー修正モード 設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。</p>
短縮ダイヤルに一致したファックス番号	<p>短縮ダイヤルに一致したファックス番号 を有効にすると、ファックスのダイヤル時に役立ちます。</p> <p>ファックス番号を手動でダイヤルした際、保存されている短縮ダイヤル エントリに、入力した番号に一致する番号がないか確認されます。これにより、ダイヤル処理の速度が向上し、指定したファックス番号の短縮ダイヤル エントリ番号を覚えていない場合に役立ちます。</p> <p>手動で入力したファックス番号に一致する短縮ダイヤル エントリが見つかった場合、はい をタッチしてその番号にファックスを送信するか、またはその番号をファックス配信リストに追加することができます。</p>

ファックス受信設定

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、**管理** までスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス受信設定**
 - **ファックス受信のセットアップ**

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
呼び出し音量	<p>呼び出し音量 ドロップダウン メニューをタッチして、呼び出し音量の設定を調整します。</p>
応答するまでの呼び出し回数	<p>応答するまでの呼び出し回数 設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。</p> <p>注記：応答するまでの呼び出し回数 設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、国/地域によって異なります。可能な 応答するまでの呼び出し回数 オプションの範囲は、国/地域によって制限されます。</p> <p>ファックス アクセサリの応答で問題が発生しており、応答するまでの呼び出し回数 が 1 に設定されている場合は、2 の設定を試してください。</p>

メニュー項目	説明
ファックス受信速度	<p>ファックスの受信速度 ドロップダウンメニューをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速 (デフォルト) - v.34/最大 33,600bps ● 中 - v.17/最大 14,400bps ● 低速 - v.29/最大 9,600bps
呼び出し間隔	<p>呼び出し間隔 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。キーパッドで呼び出し間隔の値を入力し、OK ボタンをタッチします。呼び出し間隔のデフォルト設定は 600 ms です。</p>
呼び出し音の周波数	<p>呼び出し回数 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。キーパッドで呼び出し音の周波数の値を入力し、OK ボタンをタッチします。呼び出し音の周波数のデフォルト設定は 68 Hz です。これにより、最大 68 Hz の呼び出し音を検出できます。</p>




ファクスの送信

1. 文書を下向きにしてスキヤナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** ボタンをタッチします。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

手動で受信者を入力

- ▲ **ファックス番号** フィールドをタッチして、キーパッドを開き、ファックス番号を入力して、**OK** ボタンをタッチします。

連絡先リストから受信者を入力

- a. **ファックス番号** フィールドの横にある **[連絡先]**  ボタンをタッチして、**連絡先** 画面を開きます。
 - b. ドロップダウンリストで、適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加します。受信者ごとにこのステップを実行した後、**OK** ボタンをタッチします。
4. 文書の設定を行うには、**その他のオプション** ボタンをタッチします。たとえば、
 - ファクスの解像度を指定するには、**解像度** を選択します。
 - 原稿が両面に印刷されている場合は、**片面原稿/両面原稿** を選択し、**両面** を選択します。
 5. 文書をプレビューするには、**[プレビュー]**  ボタンをタッチします。
 6. 文書の準備が整ったら、**[スタート]**  ボタンをタッチしてファックスを送信します。

補足的なファックス タスク

www.hp.com/support/colorljm577mfp を参照してください。

以下のようなファックス タスクの実行手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックス アーカイブおよび転送

8 プリンタの管理

- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) の高度な設定](#)
- [OS X 用 HP ユーティリティを使用した高度な設定](#)
- [IP ネットワークの設定](#)
- [プリンタのセキュリティ機能](#)
- [省エネ設定](#)
- [HP Web Jetadmin](#)
- [ソフトウェアおよびファームウェアの更新](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定

- [はじめに](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) へのアクセス方法](#)
- [HP 内蔵 Web サーバの機能](#)


はじめに

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタのコントロールパネルではなく、コンピュータから印刷機能を管理できます。


- プリンタの状態に関する情報の表示
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイの設定を表示および変更します。
- プリンタのコントロールパネルメニューの構成の表示と変更
- 内部ページを表示および印刷します。
- プリンタとサプライ品に関するイベントの通知の受信
- ネットワークの設定の表示および変更

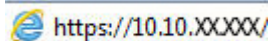
HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースのプリンタ接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用するために、インターネットに接続する必要はありません。


プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが使えるようになります。

 **注記**：ネットワーク ファイアウォールを越えて HP 内蔵 Web サーバにアクセスすることはできません。

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記**：EWS を開く際に、Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります]** というメッセージが表示されたら、**[Web サイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、ブラウザが次の要件を満たしている必要があります。

Windows® 7

- Internet Explorer (バージョン 8.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

Windows® 8 以降

- Internet Explorer (バージョン 9.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

OS X

- Safari (バージョン 5.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)

Linux

- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

HP 内蔵 Web サーバーの機能

- [情報 タブ](#)
- [一般 タブ](#)
- [コピー/印刷 タブ](#)
- [スキャン/デジタル送信 タブ](#)
- [ファックス タブ](#)
- [トラブルシューティング タブ](#)
- [セキュリティ タブ](#)
- [HP Web サービス タブ](#)
- [Networking \(ネットワーク\) タブ](#)
- [その他のリンク のリスト](#)

[情報] タブ

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、 [設定の変更] リンクをクリックします。

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ (続き)

メニュー	説明
[ジョブログ]	プリンタで処理したすべてのジョブの概要を示します。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータス ページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。[HP Instant Support] リンク (HP 内蔵 Web サーバの各ページにあるページフッター内) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、プリンタで使用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、タイプ、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、[一般] タブの [デバイス情報] をクリックします。
[コントロールパネルのスナップショット]	コントロールパネルディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[印刷]	印刷するために、コンピュータから印刷準備の整ったファイルをアップロードします。ファイルの印刷には、デフォルトの印刷設定が使用されます。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを一覧表示します。印刷または表示する項目を 1 つ以上選択してください。

[一般] タブ

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロールパネルのカスタマイズ]	コントロールパネルディスプレイで機能の並べ替え、表示、非表示を設定します。 デフォルトの表示言語を変更します。
[クイックセット設定]	プリンタのコントロールパネルのホーム画面にある クイックセット 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[アラート]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告をセットアップします。
[コントロールパネル管理メニュー]	コントロールパネルの 管理 メニューのメニュー構造を表示します。 注記: この画面で設定できますが、HP 内蔵 Web サーバには、 管理 メニューから利用できる高度な設定オプションが用意されています。
[AutoSend]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メールアドレスに送信するように設定します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズします。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページの [その他のリンク] 領域に表示されます。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	交換用プリントカートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータス ページに表示されます。

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ (続き)

メニュー	説明
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を設定します。
[日付と時刻]	日時を設定したり、ネットワーク タイム サーバと同期したりします。
[エネルギー設定]	プリンタの業務時間と業務外時間、および復帰イベント、スリープ イベント、休日イベントに関するスリープ設定を設定または編集します。 プリンタをスリープ モードから復帰させる操作を設定します。
[バックアップと復元]	プリンタ データとユーザー データを格納するバックアップ ファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元します。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ソリューションインストーラ]	プリンタ機能を拡張できるサードパーティ製のソフトウェアプログラムをインストールします。
[ファームウェア アップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[クォータ サービスと統計サービス]	サードパーティのジョブ統計サービスについての接続情報を示します。

[コピー/印刷] タブ

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[USB から取得] のセットアップ]	コントロール パネルの USB ドライブから印刷 メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを保存する機能を有効または無効にします。 ジョブ保存オプションを設定します。
[用紙の種類調節]	特定の用紙の種類を使用すると印刷品質に問題がある場合、出荷時のデフォルト モード設定を無視します。
[カラー印刷の制限] (カラー プリンタのみ)	カラー印刷およびカラー コピーを許可または制限します。 個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。
[全般的な印刷設定]	コピー ジョブまたは受信ファックスなど、すべての印刷ジョブの設定を指定できます。
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルト オプションを設定します。
[トレイの管理]	用紙トレイの設定を指定します。

[スキャン/デジタル送信] タブ

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ

メニュー	説明
[電子メールセットアップ]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルト設定を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">送信メール (SMTP) サーバの設定電子メール クイック セット ジョブのデフォルトの設定デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」 アドレス、件名など)デジタル署名と暗号化の設定電子メール通知の設定電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定
[ネットワーク フォルダに送信] のセットアップ]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">ネットワーク フォルダに保存されているクイック セット ジョブのデフォルトの設定通知の設定ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[SharePoint® に保存]	<p>デジタル送信用の Microsoft SharePoint® 設定を設定します。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">SharePoint® サイト上の文書ライブラリに保存されているクイック セット ジョブのデフォルト設定SharePoint® サイト上の文書ライブラリに保存されているジョブのデフォルト設定
[USB に保存] のセットアップ]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">USB フラッシュ ドライブに保存されているクイック セット ジョブのデフォルトの設定通知の設定USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ (続き)

メニュー	説明
[連絡先]	<p>連絡先管理を行います。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度に1つずつ電子メール アドレスを追加します。 頻繁に使用する電子メール アドレスの大きなリストを、1つずつではなく、一括でプリンタにロードします。 プリンタからコンピュータ上の .CSV ファイルにデータ バックアップとして連絡先をエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。 プリンタに保存されている電子メール アドレスを編集します。
[ユーザー設定]	<p>スキャナ ガラスでサイズを検出できない場合の設定を行います。</p>
[ネットワーク フォルダへのメール送信と保存のクイック設定ウィザード]	<p>スキャンしたイメージを電子メール添付ファイルとして送信するよう設定します。</p> <p>スキャンしたイメージがネットワーク フォルダクイックセットに保存されるよう設定します。クイックセットでは、ネットワーク上に保存されているファイルに簡単にアクセスできます。</p>
[デジタル送信ソフトウェア セットアップ]	<p>オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。</p>

[ファックス] タブ

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファックス送信のセットアップ]	<p>以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信ファックスのデフォルトの設定 通知の設定 内蔵ファックス モデムによるファックス送信のデフォルトの設定 LAN ファックス サービスの使用の設定 インターネット ファックス サービスの使用の設定
[短縮ダイヤル]	<p>次を含め、短縮ダイヤル番号を管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メール アドレス、ファックス番号、ユーザー レコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにします。 プリンタからコンピュータ上のファイルにデータ バックアップとして電子メール、ファックス、またはユーザー レコードをエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。
[ファックス受信のセットアップ]	<p>受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。</p>

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ (続き)

メニュー	説明
[ファックスのアーカイブと転送]	<p>ファックス アーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファックス アーカイブとは、すべての送受信ファックスのコピーを電子メールアドレス、ネットワーク フォルダ、または FTP サーバに送信する方法です。 ● ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックス デバイスに転送する方法です。
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

[トラブルシューティング] タブ

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[一般的なトラブルシューティング]	<p>プリンタに関する問題の解決に役立つ、さまざまなレポートとテストから選択します。</p> <p>ファックス、OXPd、および自動復旧を設定します。</p>
[診断データの取得]	<p>プリンタの情報をファイルにエクスポートして、詳細な問題分析に利用することができます。</p> <p>注記：この項目は、管理者パスワードを [セキュリティ] タブで設定した場合だけ選択できます。</p>
[校正/クリーニング]	自動クリーニング機能の有効化、クリーニング ページを作成して印刷、プリンタを迅速に校正するオプションの選択を行うことができます。
[ファームウェア アップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。

[セキュリティ] タブ

表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	<p>次を含む、一般セキュリティの設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プリンタの特定の機能へのアクセスを制限するため、管理者パスワードを設定します。 ● PJL コマンドを処理するための PJL パスワードを設定します。 ● ファイル システム アクセスとファームウェア アップグレードのセキュリティを設定します。 ● コンピュータから直接印刷するための、コントロールパネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。 ● すべてのセキュリティ設定のステータスを表示します。

表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ (続き)

メニュー	説明
[アクセス制御]	特定の個人やグループに対するプリンタ機能へのアクセスの設定、個人がプリンタへのサインインに使用する方法の選択を行います。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ハードドライブを設定および管理します。このプリンタには、セキュリティを最大限に高める暗号化ハードドライブが搭載されています。 プリンタのハードドライブに格納されているジョブを設定します。
[証明書の管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。
[Web サービス セキュリティ]	別のドメインからの Web ページによる本プリンタのリソースへのアクセスを許可します。リストに追加されたサイトがない場合、すべてのサイトが信頼されたサイトとなります。
[セルフテスト]	セキュリティ機能が、目的のシステムパラメータに応じて実行されていることを確認します。

[HP Web サービス] タブ

[HP Web サービス] タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ

メニュー	説明
[Web Services Setup (Web サービスの設定)]	HP Web サービスを有効にして、このプリンタを Web の HP ePrintCenter に接続します。
[Web Proxy (Web プロキシ)]	HP Web サービスの有効化やプリンタとインターネットの接続に問題がある場合は、プロキシサーバを設定します。

[Networking] (ネットワーキング) タブ

[ネットワーク] タブでは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に、プリンタのネットワーク設定を設定して保護します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ

メニュー	説明
[TCP/IP 設定]	IPv4 および IPv6 ネットワークの TCP/IP 設定を設定します。 注記: 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[ネットワーク設定]	プリントサーバモデルに応じて、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LLC、SNMP 設定を設定します。
[その他の設定]	プリントサーバでサポートされる全般的な印刷プロトコルとサービスを設定します。使用可能なオプションはプリントサーバのモデルによって異なりますが、ファームウェア更新、LPD キュー、USB 設定、サポート情報、リフレッシュ速度が含まれることがあります。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワークング] タブ (続き)

メニュー	説明
[AirPrint]	Apple 対応プリンタからのネットワーク印刷を有効化、セットアップ、または無効化します。
[言語の選択]	HP 内蔵 Web サーバにより表示される言語を変更します。このページは、Web ページで複数の言語がサポートされている場合に使用可能です。または、ブラウザの言語の優先順位設定を使用して、サポートする言語を選択します。
[設定]	現在のセキュリティ設定を表示し、出荷時の設定に戻します。 セキュリティ設定ウィザードを使用してセキュリティ設定を行います。 注記： HP Web Jetadmin などのネットワーク管理アプリケーションを使用してセキュリティを設定している場合は、セキュリティ設定ウィザードを使用しないでください。
[許可]	本プリンタの設定管理および使用を制御します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 管理者パスワードを設定または変更して、設定パラメータへのアクセスを制御します。 ● HP Jetdirect プリントサーバでのデジタル証明書 of の要求、インストール、および管理を行います。 ● アクセス制御リスト (ACL) を通して本プリンタへのホストアクセスを制限します (IPv4 ネットワーク上の選択したプリントサーバのみ)。
[管理 プロトコル]	本プリンタのセキュリティプロトコルを設定管理します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ● HP 内蔵 Web サーバのセキュリティ管理レベルを設定し、HTTP および HTTPS 上のトラフィックを制御します。 ● SNMP (Simple Network Management Protocol) の動作を設定します。プリントサーバで SNMP v1/v2c エージェントや SNMP v3 エージェントを有効または無効にします。 ● 印刷プロトコル、印刷サービス、検出プロトコル、名前の解決サービス、設定管理プロトコルなど、安全性が確約されていないプロトコルを通じたアクセスを制御します。
[802.1X Authentication]	ネットワーク上のクライアント認証に必要な Jetdirect プリントサーバの 802.1X 認証設定を設定したり、802.1X 認証設定を出荷時の設定に戻したりします。 注意： 802.1X 認証設定を変更すると、プリンタの接続が失われることがあります。再接続するには、プリントサーバを出荷時の状態に戻し、プリンタを取り付け直す必要がある場合があります。
[IPsec/ファイアウォール]	ファイアウォール ポリシーまたは IPsec/ファイアウォール ポリシーを表示または設定します (選択した HP Jetdirect モデルに対してのみ)。
[通知エージェント]	HP デバイス通知エージェントを有効または無効にします。証明書による相互認証を設定します。
[ネットワーク統計]	HP Jetdirect プリントサーバに収集して保存されているネットワーク統計を表示します。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーク] タブ (続き)

メニュー	説明
[プロトコル情報]	プロトコル別に HP Jetdirect プリント サーバのネットワーク設定のリストを表示します。
[設定ページ]	ステータスおよび設定情報が記載された HP Jetdirect 設定ページを表示します。

[その他のリンク] のリスト


 **注記:** [一般] タブの [その他のリンクの編集] メニューを使用して、[その他のリンク] のリストにどのリンクを表示するかを設定します。以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバ [その他のリンク] のリスト

メニュー	説明
[製品のサポート]	プリンタのサポートサイトに接続し、さまざまなトピックのヘルプを検索します。
[サプライ品の購入]	HP SureSupply Web サイトに接続し、HP 純正サプライ品 (例: トナーカートリッジ、用紙) の購入情報を取得します。
[HP Instant Support]	HP の Web サイトに接続して、問題の解決方法を検索します。

OS X 用 HP ユーティリティを使用した高度な設定

プリンタのステータスを確認したり、コンピュータからプリンタの設定を表示または変更するには、HP ユーティリティを使用します。

プリンタが USB ケーブルを使用して接続されているか、TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合、HP ユーティリティを使用できます。

HP ユーティリティを開く

1. コンピュータで、[システム環境設定] メニューを開き、[プリントとファクス]、[プリントとスキャン]、または [プリンタとスキャナ] をクリックします。
2. リストからプリンタを選択します。
3. [オプションとサプライ品] ボタンをクリックします。
4. [ユーティリティ] タブをクリックします。
5. [プリンタ ユーティリティを開く] ボタンをクリックします。

HP ユーティリティの機能

HP ユーティリティ ツールバーには次の項目があります。

- [デバイス]：HP ユーティリティで見つかった Mac 製品を表示するか非表示にするには、このボタンをクリックします。
- [すべての設定]：HP ユーティリティのメイン ビューに戻るには、このボタンをクリックします。
- [HP サポート]：ブラウザを開いて、HP サポートの Web サイトにアクセスするには、このボタンをクリックします。
- [サプライ用品]：HP SureSupply Web サイトを開くには、このボタンをクリックします。
- [登録]：HP の登録 Web サイトを開くには、このボタンをクリックします。
- [リサイクル]：HP Planet Partners Recycling Program の Web サイトを開くには、このボタンをクリックします。

HP ユーティリティは複数のページで構成されています。各ページを開くには、[すべての設定] リストの項目をクリックします。次の表は、HP ユーティリティで実行できる実行できるタスクの詳細です。

項目	説明
[サプライ品のステータス]	プリンタのサプライ品のステータスを示し、オンラインでサプライ品を注文できるリンクを表示します。
[デバイス情報]	現在選択されているプリンタに関する情報を表示します。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからプリンタにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからプリンタにフォント ファイルを転送します。
[HP 接続]	HP 接続の Web サイトにアクセスします。

項目	説明
[ファームウェアを更新]	ファームウェア更新ファイルをプリンタに転送します。 注記: このオプションは、 [表示] メニューを開いて [詳細オプションの表示] 項目を選択した場合のみ使用できます。
[コマンド]	印刷ジョブ終了後、特殊文字または印刷コマンドをプリンタに送信します。 注記: このオプションは、 [表示] メニューを開いて [詳細オプションの表示] 項目を選択した場合のみ使用できます。
[サプライ品管理]	サプライ品の推定寿命が近づいたときのプリンタの動作を設定します。
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
[排紙デバイス]	オプションの排紙アクセサリの設定を管理します。
[両面印刷]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	トナーの保護する設定を行います。
[電子メール警報]	サプライ品の交換が必要なとき、トレイが空になったとき、ドアが開いているとき、または紙詰まりが発生したときなど、特定のプリンタの状態に対する自動電子メール警報を設定します。
[解像度]	デフォルトの印刷解像度を設定します。
[Protect Direct Ports]	USB ポートまたはパラレルポートからの印刷を無効にします。
[保存ジョブ]	プリンタのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。
[ネットワーク設定]	IPv4 および IPv6 などのネットワーク設定を行います。
[詳細設定]	HP 内蔵 Web サーバーにアクセスできるようにします。
[スキャンして電子メールで送信]	HP 内蔵 Web サーバのページを開いて、電子メールへのスキャン設定を指定します。 注記: USB 接続はサポートされていません。
[ネットワーク フォルダにスキャン]	HP 内蔵 Web サーバのページを開いて、ネットワーク フォルダへのスキャン設定を指定します。 注記: USB 接続はサポートされていません。

IP ネットワークの設定


- [プリンタ共有の免責条項](#)
- [ネットワーク設定の表示または変更](#)
- [ネットワーク上でのプリンタ名の変更](#)
- [コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する](#)
- [コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する](#)
- [リンク速度と二重通信設定](#)

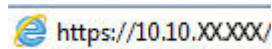
プリンタ共有の免責条項


HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

ネットワーク設定の表示または変更

HP 内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示または変更します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。




 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

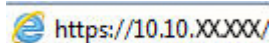
2. [ネットワークキング] タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更します。


ネットワーク上でのプリンタ名の変更

プリンタを一意に識別できるようにネットワーク上でプリンタ名を変更する場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用します。


1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 https://10.10.XX.XXX/

 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. [一般] タブを開きます。
 3. [デバイス情報] ページの [デバイス名] フィールドにデフォルトのプリンタ名が表示されています。プリンタを一意に識別できるよう、この名前を変更できます。
-  **注記** : このページの他のフィールドへの入力省略可能です。
4. 変更を保存するには、[適用] ボタンをクリックします。

コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロールパネルの **管理** メニューを使用して IPv4 アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - Jetdirect メニュー
 - TCP/IP
 - IPV 4 設定
 - 設定方法
3. **手動** オプションを選択し、**保存** ボタンをタッチします。
4. **手動設定** メニューを開きます。
5. **IP アドレス**、**サブネットマスク** または **デフォルトゲートウェイ** オプションをタッチします。
6. 最初のフィールドをタッチしてキーパッドを開きます。フィールドに正しい数字を入力して、**OK** ボタンをタッチします。
7. このプロセスをフィールドごとに繰り返した後、**保存** ボタンをタッチします。

コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する


コントロールパネルの **管理** メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - **Jetdirect** メニュー
 - **TCP/IP**
 - **IPV 6** 設定
 - アドレス
 - 手動設定
 - 有効
3. 文書を印刷する用紙 オプションを選択し、**保存** ボタンをタッチします。
4. アドレスを設定するには、**アドレス** ボタンをタッチした後、フィールドをタッチしてキーパッドを開きます。
5. キーパッドを使用してアドレスを入力し、**OK** ボタンをタッチします。
6. **保存** ボタンをタッチします。

リンク速度と二重通信設定

 **注記:** この情報は、**Ethernet** ネットワークのみに適用されます。ワイヤレス ネットワークには適用されません。

プリントサーバのリンク速度と通信モードはネットワーク ハブと一致する必要があります。特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルを使用します。

 **注記:** プリンタの設定は、ネットワークデバイス (ネットワークハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピュータ) の設定と一致している必要があります。

 **注記:** 設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - **Jetdirect** メニュー
 - **リンク速度**
3. 以下のオプションから **1** つ選択してください。
 - **自動:** 使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
 - **10T Half:** 10Mbps、ハーフ二重

- **10T Full:** 10Mbps、フル二重
 - **10T Auto:** 10Mbps、自動二重
 - **100TX Half:** 100Mbps、ハーフ二重
 - **100TX Full:** 100Mbps、フル二重
 - **100TX Auto:** 100Mbps、自動二重
 - **1000T Full:** 1000Mbps、フル二重
4. **保存** ボタンをタッチします。プリンタの電源を入れ直します。

プリンタのセキュリティ機能

はじめに

プリンタには、構成設定やセキュア データにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェア コンポーネントへのアクセスを防ぐセキュリティ機能が複数搭載されています。


- [セキュリティステートメント](#)
- [管理者パスワードの割り当て](#)
- [IP セキュリティ](#)
- [フォーマッタのロック](#)
- [暗号化サポート：HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク](#)

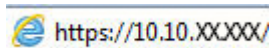
セキュリティ ステートメント

このプリンタでは、プリンタの安全な状態の維持、ネットワーク上の重要な情報の保護、プリンタの監視および管理方法の効率化に役立つセキュリティ規格および推奨プロトコルをサポートしています。


管理者パスワードの割り当て

プリンタおよび HP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



https://10.10.XX.XXX/


 **注記：** EWS を開く際に、Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります] というメッセージが表示されたら、[Web サイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. [一般セキュリティ] メニューを開きます。
4. [ローカル管理者パスワードを設定] 領域で、[ユーザー名] フィールドのパスワードに対応する名前を入力します。
5. [新しいパスワード] フィールドにパスワードを入力し、[パスワードの確認] フィールドにパスワードを再度入力します。

 **注記**：現在のパスワードを変更する際は、最初に [古いパスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。


6. [適用] をクリックします。

 **注記**：パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

コントロールパネルの一部の機能は、権限のないユーザーが利用できないよう、保護できます。保護されている機能を利用しようとする、サインインを要求されます。プリンタのコントロールパネルで **サインイン** を選択すると、サインインを求めるプロンプトが表示される前にサインインすることもできます。

通常、プリンタへのサインインの認証情報は、ネットワークにサインインするときのものと同じです。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サインイン** を選択します。
2. プロンプトに従って認証情報を入力します。

 **注記**：プリンタのセキュリティを維持するため、プリンタ使用後に **サインアウト** を選択します。

IPセキュリティ

IPセキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルセットです。ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されており、かつ HP Jetdirect プリント サーバを備えているプリンタの場合については、HP 内蔵 Web サーバで [ネットワーク] タブを使用して、IPsec を設定できます。

フォーマッタのロック

フォーマッタには、セキュリティ ケーブルを取り付けるのに使用できるスロットが付いています。フォーマッタをロックすることで、重要なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

暗号化サポート：HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク

このハードディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えることなく、機密性のあるデータを安全に保存できます。このハードディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] メニューを使用して、このディスクを設定します。

省エネ設定

はじめに

- [最適速度またはエネルギー使用状況](#)
- [スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。](#)
- [スリープスケジュールの設定](#)

最適速度またはエネルギー使用状況

デフォルトでは、スピードを最適化してジョブの最初のページの印刷時間を短縮するために、ジョブを実行していないときにもプリンタをウォームアップしています。エネルギーを節約するには、ジョブを実行していないときにクールダウンするようにプリンタを設定します。プリンタではスピードやエネルギー使用状況を最適化するために4段階の設定が用意されています。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 電力設定
 - 最適な速度/電力使用
3. 使用するオプションを選択して、**保存** ボタンをタッチします。


 **注記**：デフォルトの設定は **最初のページ(高速)** です。

スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。


プリンタには、省電力スリープタイマ機能用のオプションが複数搭載されています。スリープ/自動オフの状態に入る時間遅延は調整することができます。また、スリープ/自動オフ状態時の電力の使用は、選択されているスリープ復帰のオプションに応じて変わります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 電力設定
 - スリープタイマ設定
3. **スリープ/自動オフ** を選択し、適切な時間を入力して、**保存** ボタンをタッチします。

 **注記**：EUでは、**スリープ/自動オフ** または **アイドル状態後、スリープ/自動オフ** オプションを無効に設定することはできません。この機能をオフにするチェックボックスは存在しません。


 **注記**：デフォルトのスリープモード時間は、**0分**です。各ジョブが完了すると、プリンタはすぐにスリープモードに入ります。

4. これらのイベント時に**スリープ復帰/自動オン** オプションの**1つ**を選択します。

- **すべてのイベント**：なんらかの印刷ジョブを受信したとき (USB ポート、ネットワーク ポート、またはワイヤレス接続経由)、コントロールパネルでボタンが押されたとき、またはいずれかのドアやトレイが開かれたときに、プリンタはスリープから復帰します。
 - **ネットワーク ポート**：印刷ジョブをネットワーク ポート経由で受信したとき、コントロールパネルでボタンが押されたとき、またはいずれかのドアやトレイが開かれたときに、プリンタはスリープから復帰します。この設定により、スリープ/自動オフ状態にある間、プリンタの使用電力量は **1W** 以下になります。
-
-  **注記**：スリープ中に印刷ジョブがネットワーク経由で送信されるとプリンタが復帰してジョブを印刷しますが、コントロールパネルは淡色表示のままになります。
-
- **電源ボタンのみ**：電源ボタンが押されたときのみ、プリンタはスリープから復帰します。この設定により、スリープ/自動オフ状態にある間、プリンタの使用電力量は **1W** 以下になります。


スリープ スケジュールの設定

スリープ スケジュール 機能は、プリンタが自動的にスリープから復帰したり、特定の曜日の特定の時間にスリープ モード/自動オフになるように設定する場合に使用します。

 **注記**：スリープ スケジュール 機能を設定するには、日付と時刻の設定を行う必要があります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **全般的な設定**
 - **日付/時刻の設定**
3. **日付/時刻の形式** メニューを開き、次の設定を行います。
 - **日付形式**
 - **時刻形式**
4. **保存** ボタンをタッチします。
5. **日付/時刻** メニューを開き、次の設定を行います。
 - **日付/時刻**
 - **タイムゾーン**

夏時間を採用しているエリアにいる場合は、**夏時間の調整** ボックスを選択します。
6. **保存** ボタンをタッチします。
7. 戻る矢印ボタンをタッチして、**管理** 画面に戻ります。
8. 以下のメニューを開きます。
 - **全般的な設定**
 - **電力設定**
 - **スリープ スケジュール**

9. 追加ボタン  をタッチし、スケジュールリングするイベントのタイプとして **復帰** または **スリープ** からスケジュールするイベントのタイプを選択します。
10. 次の項目の値を設定します。
 - **時刻**
 - **イベントの日**
11. **OK** ボタンをタッチし、**保存** ボタンをタッチします。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールで、ネットワーク接続されたさまざまな HP 製品 (例：プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信装置) を効率的に管理できます。このソフトウェア 1 つで、印刷/画像処理環境におけるリモートインストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンタ機能をサポートする HP Web Jetadmin の更新プログラムは定期的に提供されています。詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin をご覧ください。

ソフトウェアおよびファームウェアの更新

HP では、プリンタ ファームウェアの機能を定期的に更新しています。プリンタ ファームウェアをアップデートすると、最新機能を利用できます。最新のファームウェア更新ファイルを **Web** からダウンロードしてください。

www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。次に [ドライバ & ソフトウェア] をクリックします。

9 問題の解決

- [カスタマ サポート](#)
- [コントロールパネルのヘルプ システム](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される](#)
- [給紙されない、または給紙ミスが発生する](#)
- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [コピーのイメージ品質を向上させる](#)
- [スキャンのイメージ品質を向上させる](#)
- [ファックスのイメージ品質を向上させる](#)
- [有線ネットワークに関する問題の解決](#)
- [ファックスに関する問題を解決する](#)

詳細は、次を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM577MFP を参照してください。


お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のパンフレットまたは www.hp.com/support/ をご覧ください。
24 時間インターネット サポートの利用と、ソフトウェアユーティリティおよびドライバのダウンロード	www.hp.com/support/colorljM577MFP
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
プリンタの登録	www.register.hp.com


コントロールパネルのヘルプシステム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプシステムが組み込まれています。ヘルプシステムを開くには、画面の右上隅のヘルプ  ボタンをタッチします。



一部の画面では、【ヘルプ】にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバルメニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。


一部の【ヘルプ】画面には、紙詰まりの解消などの具体的な手順を示すアニメーションが含まれています。

エラーや警告が通知されたら、ヘルプ  ボタンをタッチして、問題について説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

出荷時の設定に戻す


はじめに

プリンタを出荷時の設定に戻すには、次の方法のいずれかを実行します。


 **注記:** 出荷時の設定に戻すと、ほとんどのプリンタ設定が出荷時のデフォルトに設定されます。ただし、言語、日付、時刻、一部のネットワーク設定など、一部の設定は変更できません。

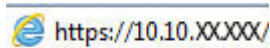
方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 出荷時の設定に戻す
3. リセット機能を実行するとデータの損失が起こる可能性があることを知らせる確認メッセージが表示されます。**リセット** を選択して、処理を完了します。

 **注記:** リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)


1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ネットワーク  ボタンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているものと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記:** EWS を開く際に、Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります]** というメッセージが表示されたら、**[Web サイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

2. **[一般]** タブを開きます。
3. 画面左側で、**[出荷時の設定に戻す]** をクリックします。
4. **[リセット]** ボタンをクリックします。

 **注記:** リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される

カートリッジ残量わずか：トナーカートリッジの残量が少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。今すぐトナーカートリッジを交換する必要はありません。

カートリッジ残量が非常にわずか：トナーカートリッジの残量が非常に少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。

HPのトナーカートリッジの残量が**非常にわずか**になったとき、このトナーカートリッジに対するHPのプレミアムプロテクション保証は終了します。

「非常にわずか」の設定の変更

サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を変更できます。これらの設定は、新しいトナーカートリッジを取り付けるときに再設定する必要はありません。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サプライ品**までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **サプライ品の管理**
 - **サプライ品の設定**
 - **黒カートリッジまたはカラーカートリッジ**
 - **非常にわずかの設定**
3. 以下のオプションから1つ選択してください。
 - カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を停止するようプリンタを設定するには、**停止** オプションを選択します。
 - カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を続行するようプリンタを設定するには、**続行を要求** オプションを選択します。メッセージを承認するか、またはカートリッジを交換して印刷を再開することができます。
 - カートリッジの残量が非常にわずかという警報を表示し、**非常にわずか**の設定を超えても操作なしで印刷を続けるようプリンタを設定するには、**継続** オプションを選択します。この場合、満足な印刷品質が得られないことがあります。

ファックス機能付きのプリンタの場合

プリンタが**停止**または**続行を要求**オプションに設定されている場合、プリンタが印刷を再開する際、一部のファックスが印刷されなくなるリスクがあります。この問題は、プリンタが、待機中にメモリに保持できる容量より多くのファックスを受信した場合に発生する可能性があります。

トナーカートリッジに対して**継続**オプションを選択した場合は、「非常にわずか」のしきい値を超えても、中断することなくファックスを印刷できますが、印刷品質は劣化する可能性があります。

サプライ品の注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com/go/suresupply
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って注文する	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP SureSupply Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

給紙されない、または給紙ミスが発生する

はじめに

プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次のソリューションが問題解決に役立ちます。次のいずれかの状況は、紙詰まりが原因となっている可能性があります。


- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [文書フィーダのピックアップローラーおよび仕分けパッドのクリーニング](#)

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。プリンタ内部に紙の切れ端が残っていないことを確認します。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. プリンタのコントロールパネルで用紙サイズと用紙タイプが正しく設定されていることを確認します。

4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

 **注記:** 用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-1 トレイ 1 または汎用トレイのサイズマーク

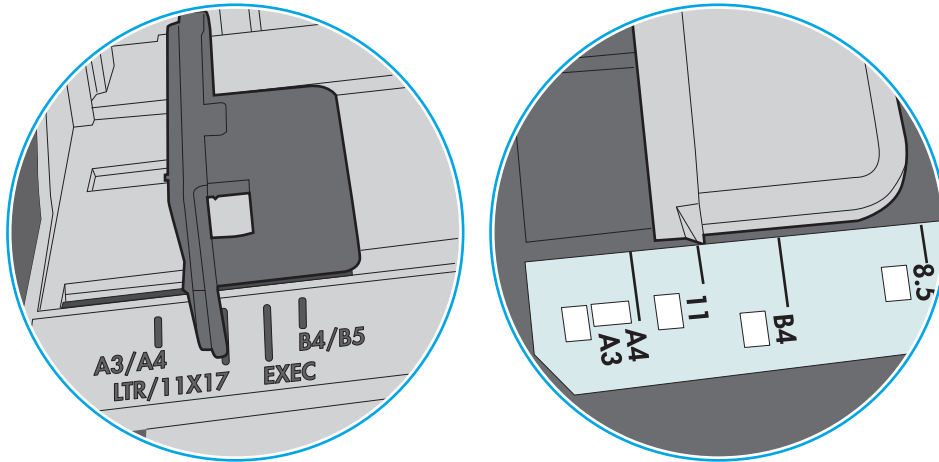
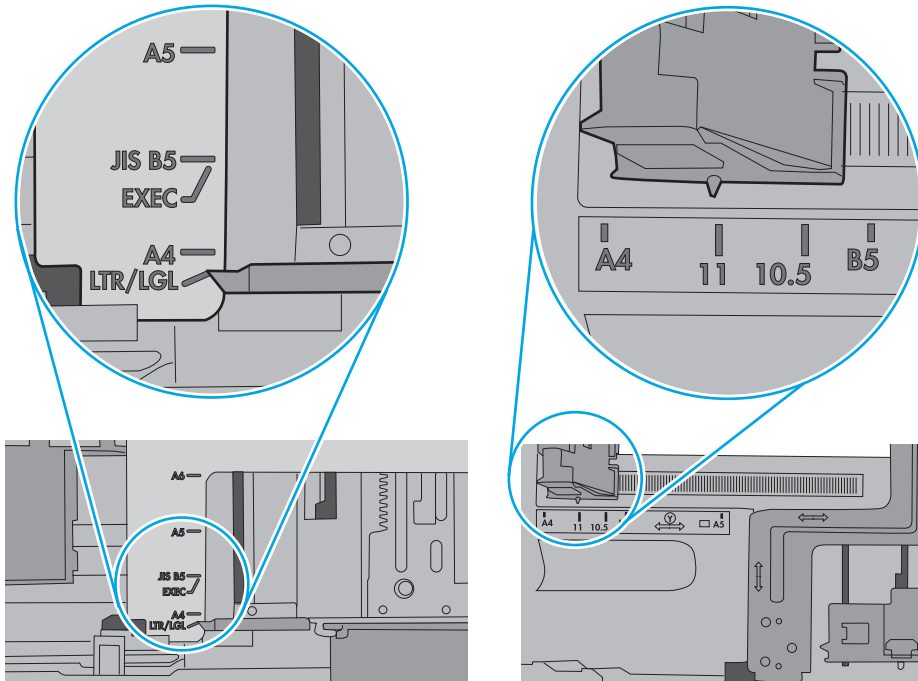


図 9-2 カセット トレイのサイズマーク

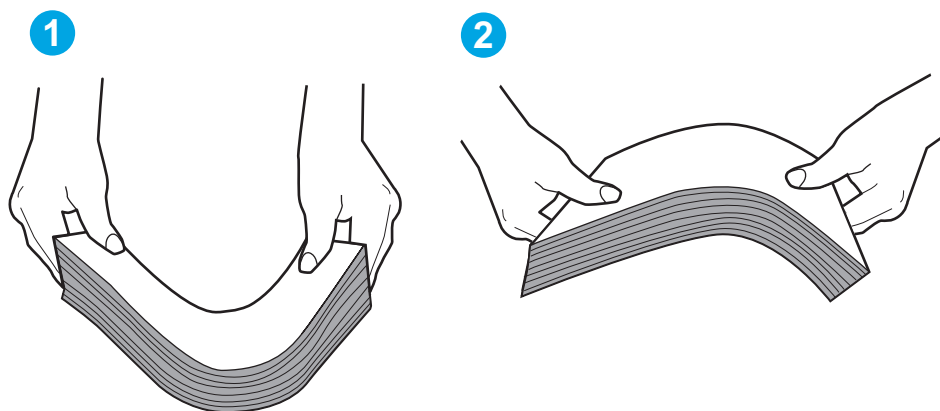


5. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙が未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から5～10枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、用紙の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-3 用紙束の曲げ方

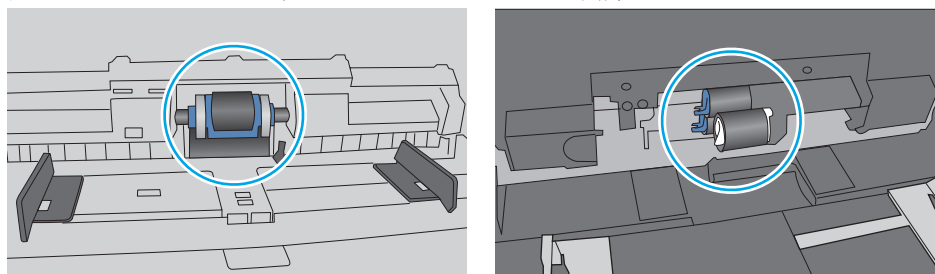


6. 手差しでの給紙が表示されているかどうかを、プリンタのコントロールパネルで確認します。用紙をセットして続行します。
7. トレイの上にあるローラーが汚れている可能性があります。水で湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。使用できる場合は蒸留水を使用します。

⚠ 注意: プリンタに直接水を吹き付けしないでください。布に水を吹き付けるか布を水に軽く浸して絞ってから、ローラーをクリーニングしてください。

下の図は、各種プリンタのローラーの場所の例です。

図 9-4 トレイ 1 または汎用トレイのローラーの場所



複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出し、さばき、左右を入れ替え、裏返します。用紙に風をあてないでください。用紙の束をトレイに戻します。


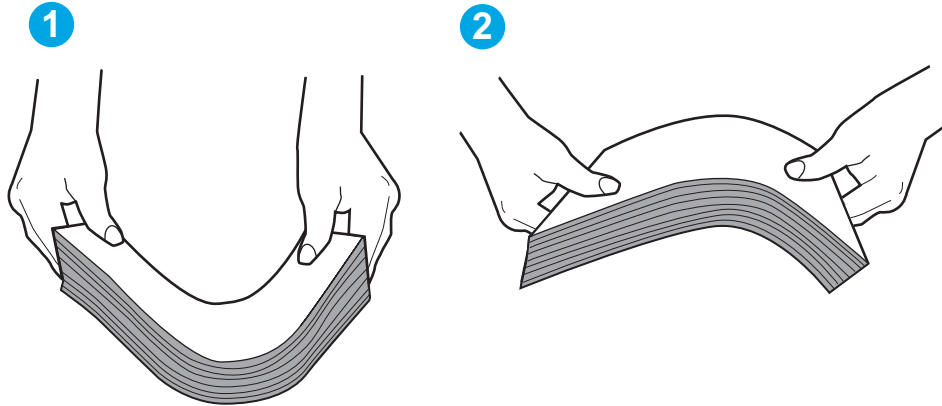
 **注記**：用紙をあおると、静電気が発生します。用紙をあおるのではなく、用紙束の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-5 用紙束の曲げ方



2. このプリンタに対応する **HP** の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙は未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から **5～10** 枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、前述の方法で用紙束を曲げます。

4. しわ、折り目、損傷がない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。

5. トレイ内部の積載制限マークを確認して、トレイがあふれていないことを確認します。あふれている場合は、用紙束全体をトレイから取り出してまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

下の図は、各種プリンタのトレイに付いている積載制限マークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。さらに、すべての用紙が積載制限マークの近くにあるつまみよりも下にあることを確認します。これらのつまみは、プリンタに送られる用紙を正しい位置に保持するためのものです。

図 9-6 積載制限マーク

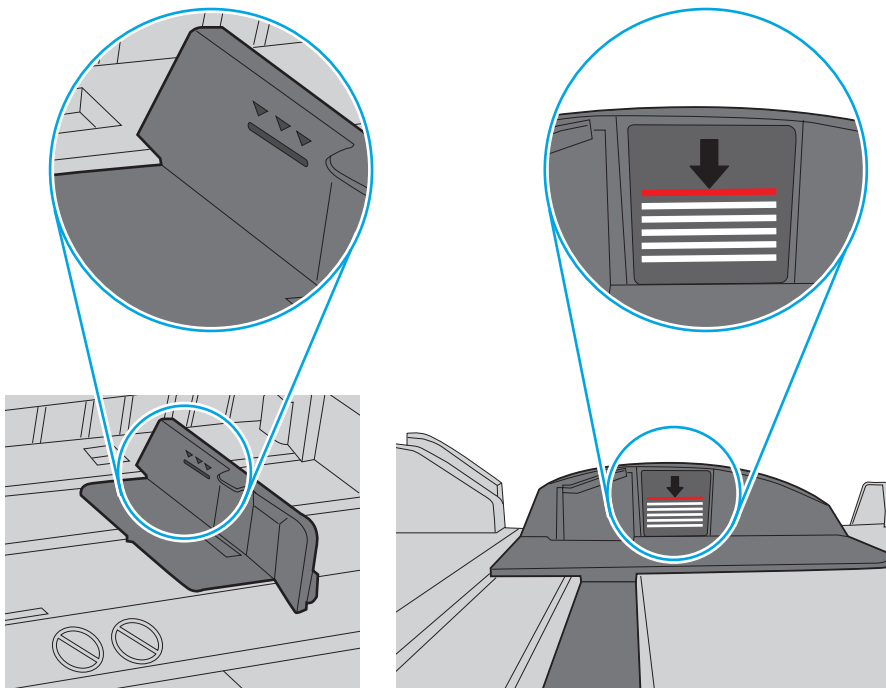
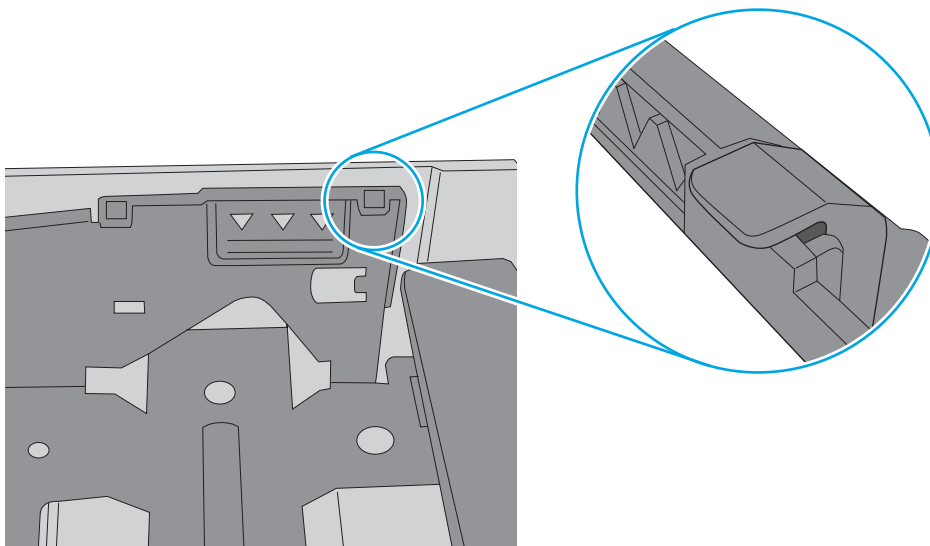



図 9-7 用紙束用のつまみ



6. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

 **注記:** 用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-8 トレイ 1 または汎用トレイのサイズマーク

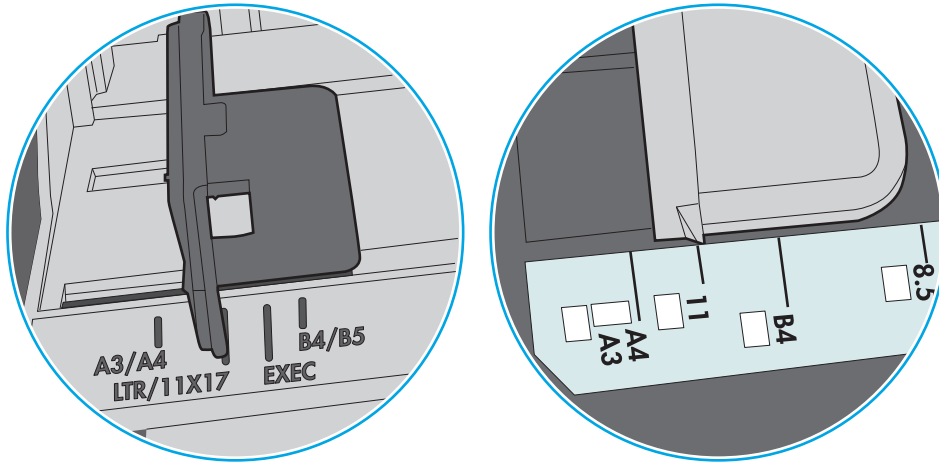
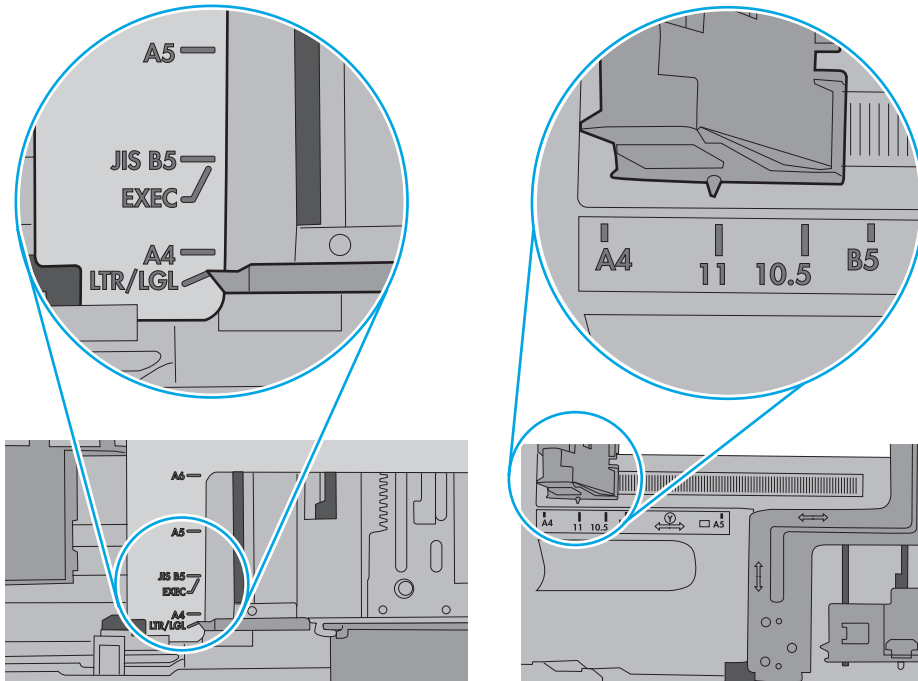


図 9-9 カセット トレイのサイズマーク



7. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる

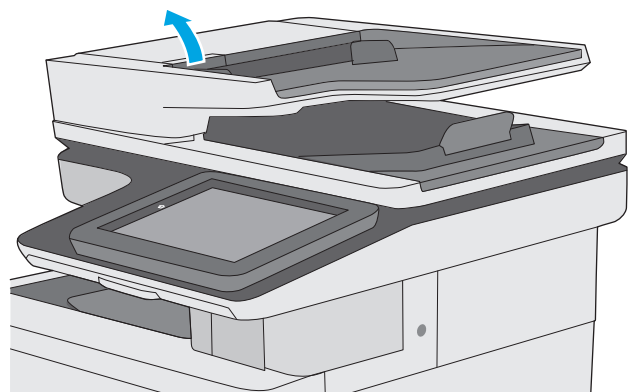
 **注記**：この情報は、MFP プリンタのみに適用されます。

- 原稿にステイプルまたはシールなどが付着している可能性があります。これらは取り外す必要があります。
- すべてのローラーが正しい場所にあり、文書フィーダ内のローラー アクセス カバーが閉じていることを確認します。
- 文書フィーダの上部カバーが閉じていることを確認します。
- ページが正しくセットされていない可能性があります。ページをまっすぐにそろえて、スタックが中央になるように用紙ガイドを調整します。
- 用紙ガイドを適切に機能させるには、用紙ガイドが用紙スタックの両側に接触している必要があります。用紙スタックをまっすぐにそろえて、用紙ガイドを用紙スタックに合わせます。
- 文書フィーダの給紙トレイまたは排紙ビンに最大枚数を超えるページが置かれている可能性があります。用紙スタックが給紙トレイのガイドの下に収まっていることを確認し、排紙ビンからページを取り除きます。
- 紙の断片、ステイプル、クリップ、またはその他のごみが用紙経路にないことを確認します。
- 文書フィーダ ローラーと仕分けパッドをクリーニングします。エアスプレー、またはぬるま湯で湿らせた繊維の残らない布を使用します。それでも給紙ミスが解決しない場合は、ローラーを交換します。
- プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サプライ品** ボタンまでスクロールしてタッチします。文書フィーダ キットのステータスを確認して、必要な場合には交換します。

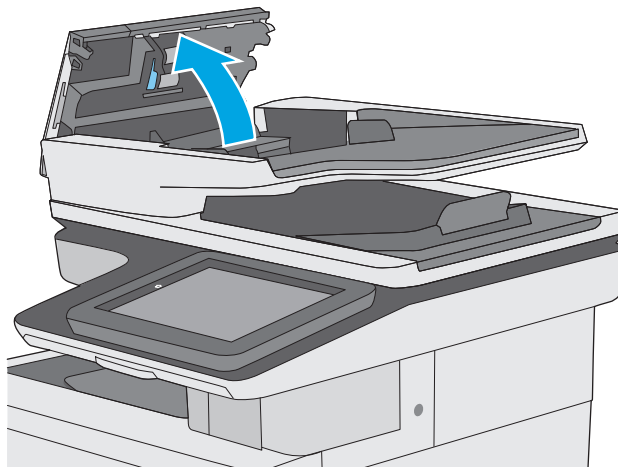
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング

文書フィーダで正しく給紙されない、歪んだ用紙が排出される場合は、次の手順に従います。

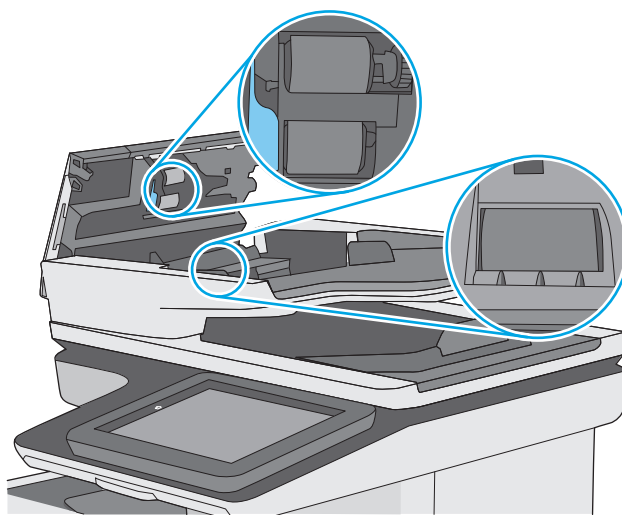
1. 文書フィーダのラッチを持ち上げます。



2. 文書フィーダのカバーを開けます。

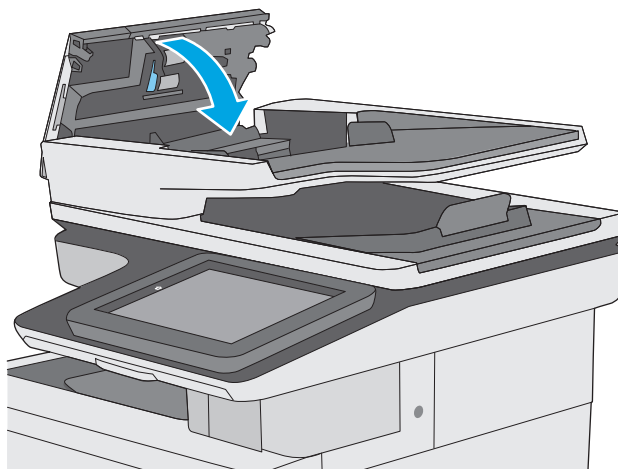


3. 目で確認できる糸くずやほこりがあれば、エアスプレーや温水で湿らせた繊維の残らない布を使用して、各フィードローラーや仕分けパッドから取り除きます。




4. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記： 文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



問題が解決しない場合は、文書フィーダの仕分けパッドおよびローラーに損傷や摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。

 **注記**：新しいローラーの表面には起伏があります。ローラーを長期間使用していると、表面の起伏はなくなります。

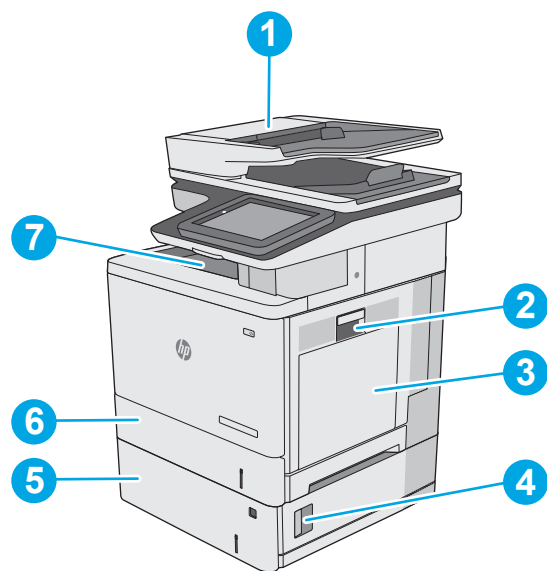
紙詰まりの解消

はじめに

次の情報には、プリンタの紙詰まりを解消する手順が含まれています。

- [紙詰まりの場所](#)
- [自動ナビゲーションによる紙詰まり解消](#)
- [紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する](#)
- [文書フィーダの紙詰まりの解消](#)
- [トレイ 1 の紙詰まりの解消](#)
- [トレイ 2 の紙詰まりの解消](#)
- [オプションの 550 枚トレイの紙詰まりの解消](#)
- [右のドアおよびフューザ エリアから紙詰まりの除去](#)
- [排紙ビンの紙詰まりの解消](#)

紙詰まりの場所



1	文書フィーダ
2	右のドアおよびフューザ エリア
3	トレイ 1
4	右下ドア
5	オプションの 550 枚収納用紙トレイ
6	トレイ 2
7	排紙ビン

自動ナビゲーションによる紙詰まり解消

コントロールパネルに表示される操作手順によって、紙詰まり解消をサポートする機能です。すべての操作手順を完了するまで、1つの手順を完了すると、次の手順に関する指示が表示されます。

紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する

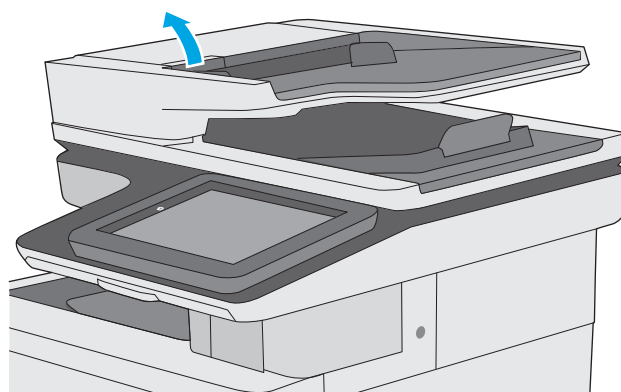
紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

1. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷がない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
3. プリントまたはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙にプリントする場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に1枚ずつ用紙を送ります。
8. プリンタのコントロールパネルで **トレイ** メニューを開きます。トレイが用紙のタイプとサイズに合わせて適切に設定されていることを確認します。
9. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

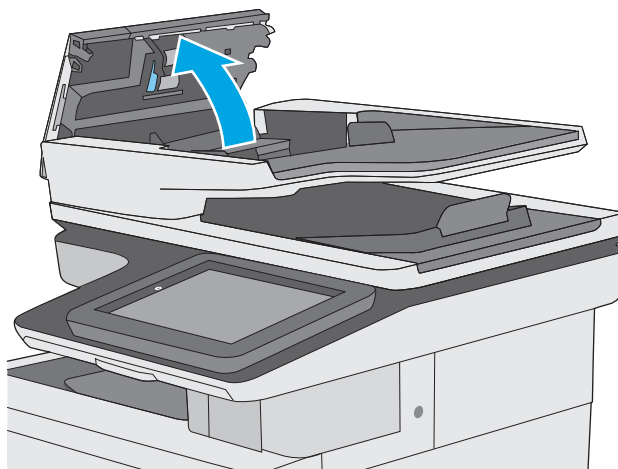
文書フィーダの紙詰まりの解消

以下の情報は、文書フィーダの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

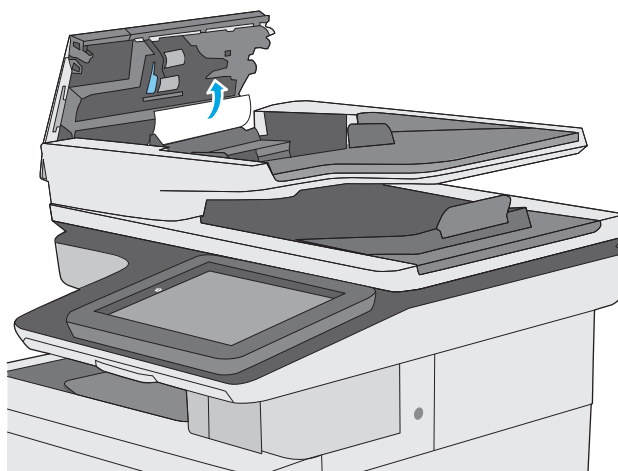
1. ラッチを持ち上げて、文書フィーダのカバーを解放します。



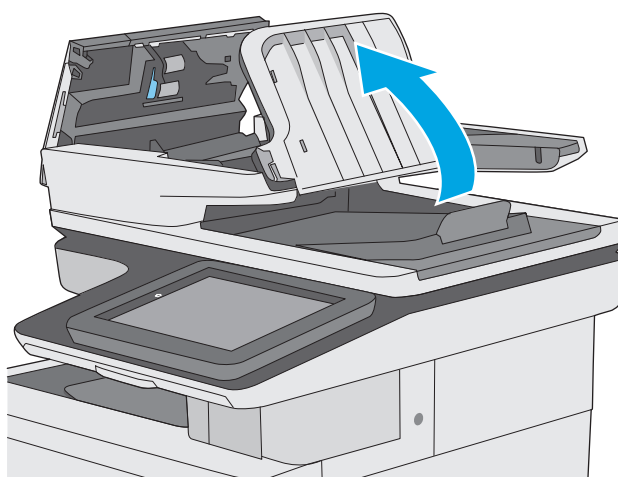
2. 文書フィーダのカバーを開けます。



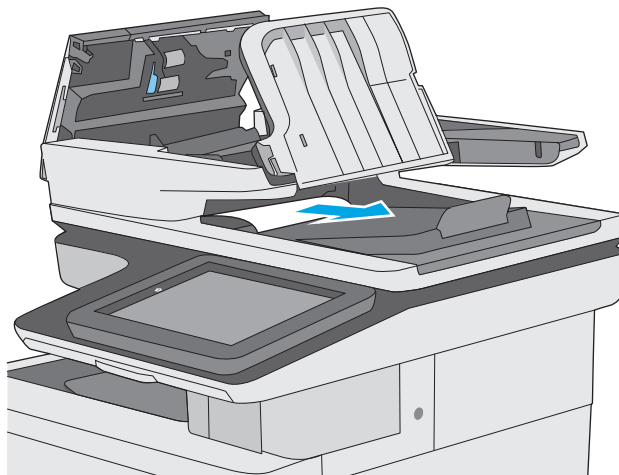
3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



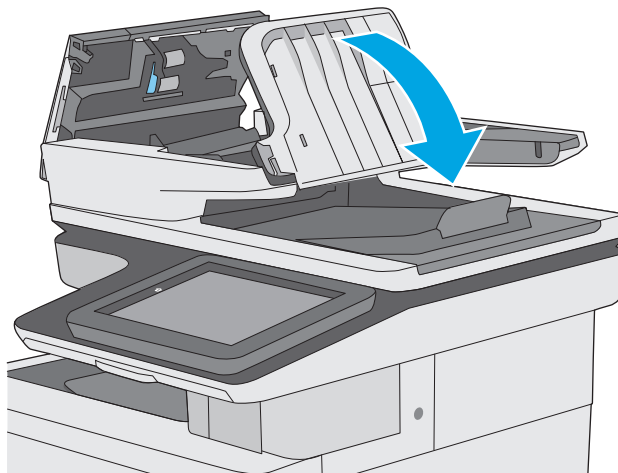
4. 文書フィーダの給紙トレイを持ち上げます。



5. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。

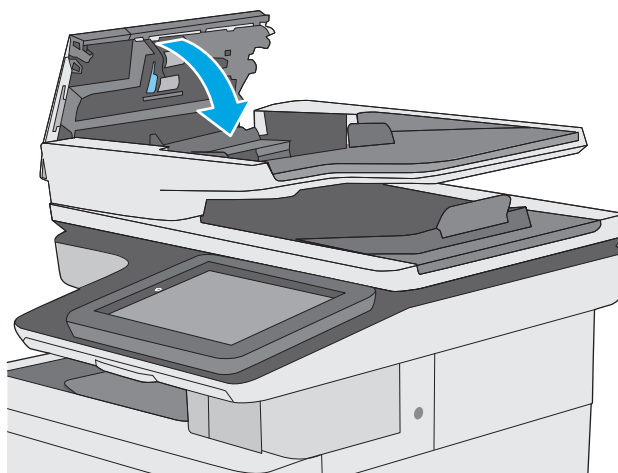



6. 文書フィーダの給紙トレイを下げます。




7. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記：文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



 **注記：**紙詰まりを防ぐため、文書フィーダ給紙トレイのガイドが文書に合わせて調整されており、文書が曲がっていないことを確認します。幅の狭い文書をコピーする場合は、フラットベッドスキャナを使用します。ステイプルや用紙クリップはすべて原稿から取り外してください。

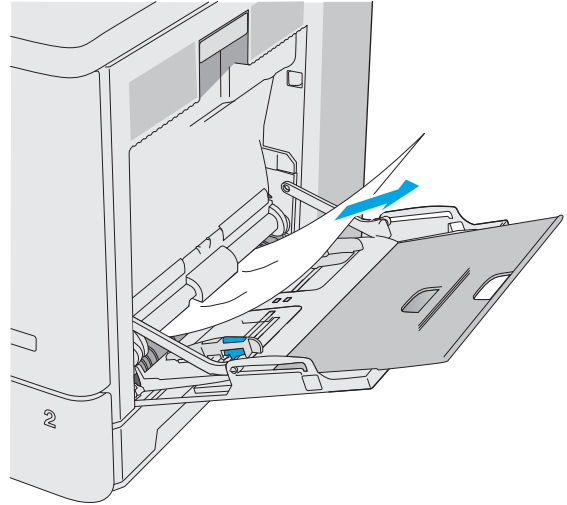
 **注記：**原稿を厚手光沢紙に印刷する場合は、普通紙に印刷するよりも紙詰まりが発生しやすくなります。

トレイ 1 の紙詰まりの解消

以下の手順を使用して、トレイ 1 に関連する場所で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 用紙のほぼ全体がトレイに見える場合は、詰まった用紙をゆっくりとプリンタから引き抜きます。用紙全体が取り除かれていることを確認します。詰まった用紙が破れた場合は、続けて次の手順を実行し、残った用紙を見つけます。

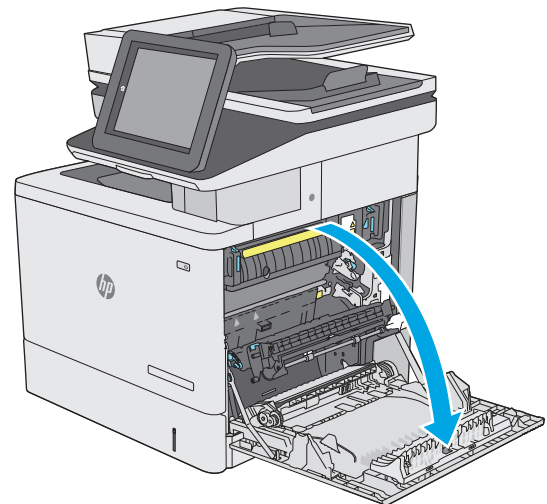
用紙の大部分がプリンタ内部に引き込まれている場合は、次の手順を続行します。



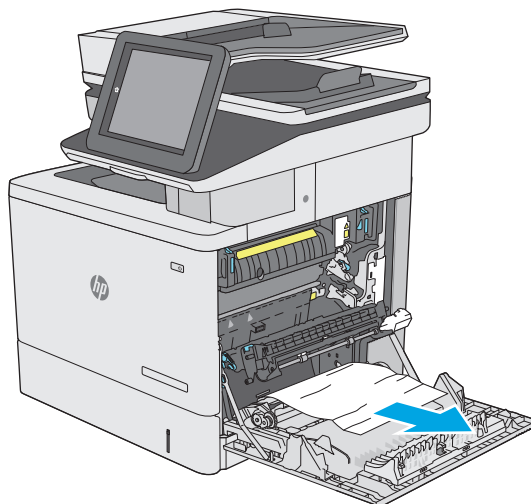
2. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



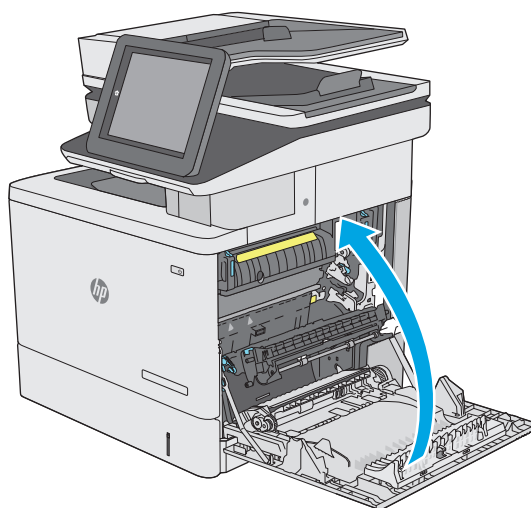
3. 右のドアを開きます。



4. 詰まった用紙があれば、丁寧に引き抜きます。



5. 右のドアを閉めます。



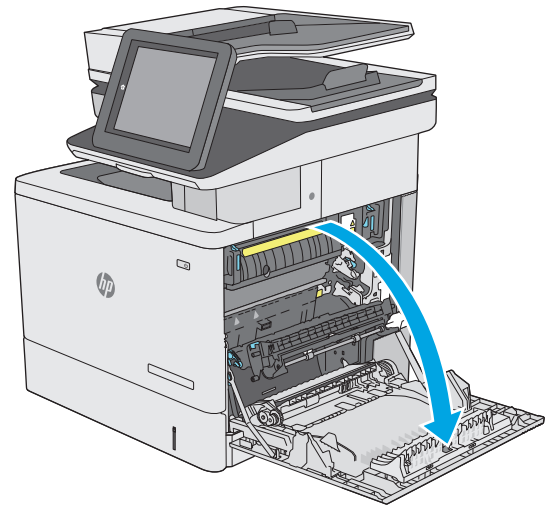
トレイ 2 の紙詰まりの解消

以下の手順を使用して、トレイ 2 に関連する場所で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

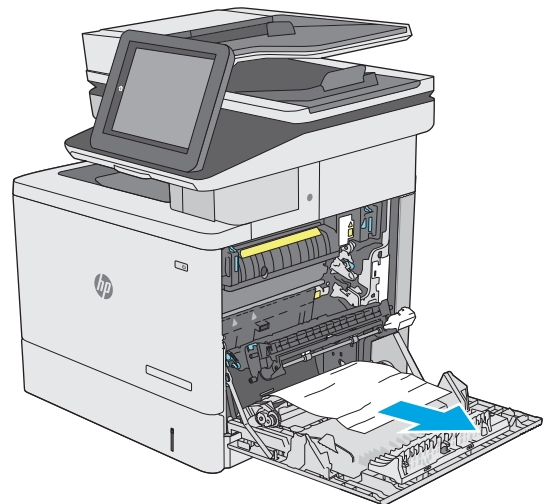
1. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



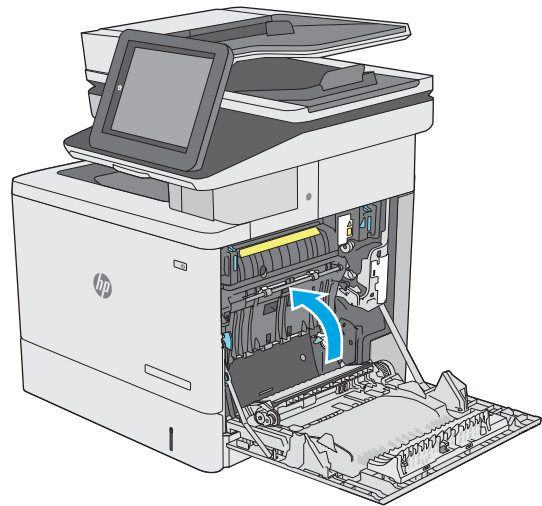
2. 右のドアを開きます。



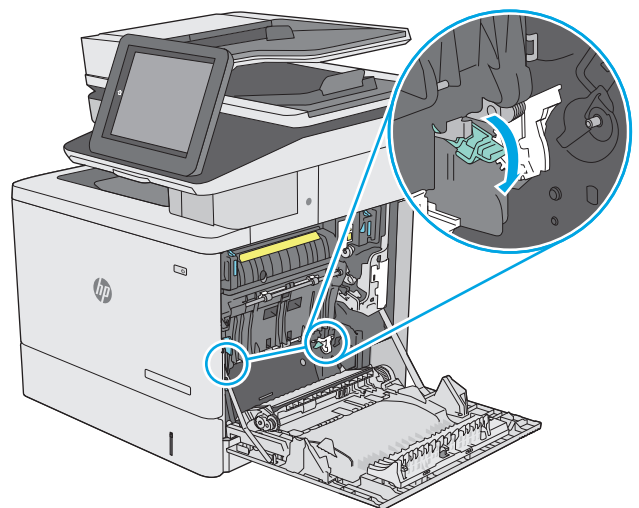
3. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



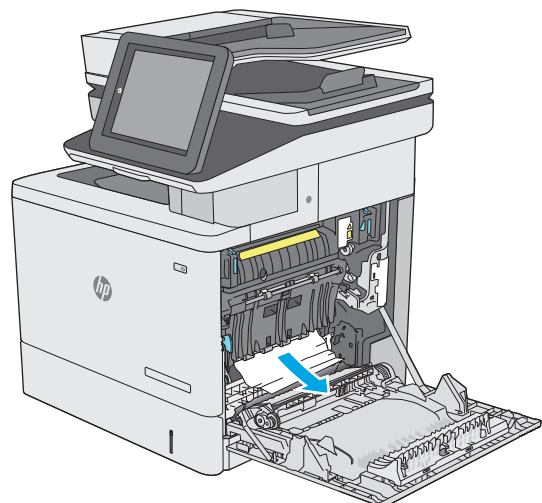
4. トランスファー アセンブリを閉じます。



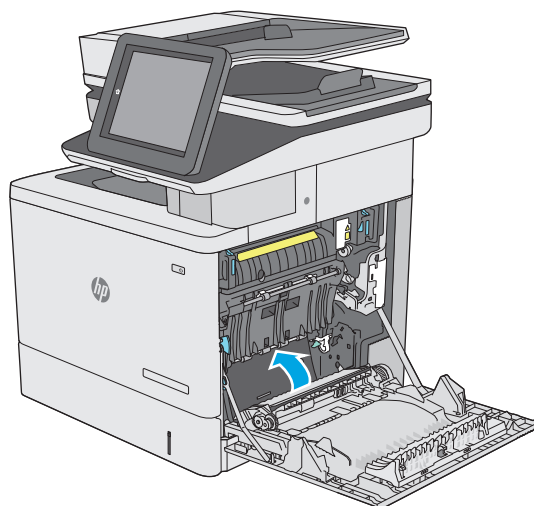
5. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



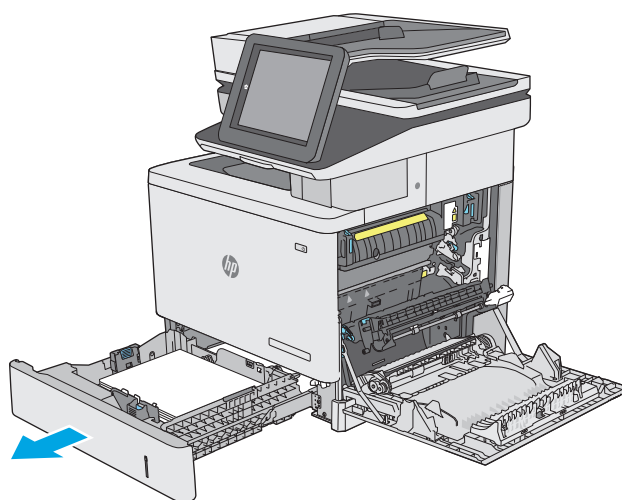
6. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。



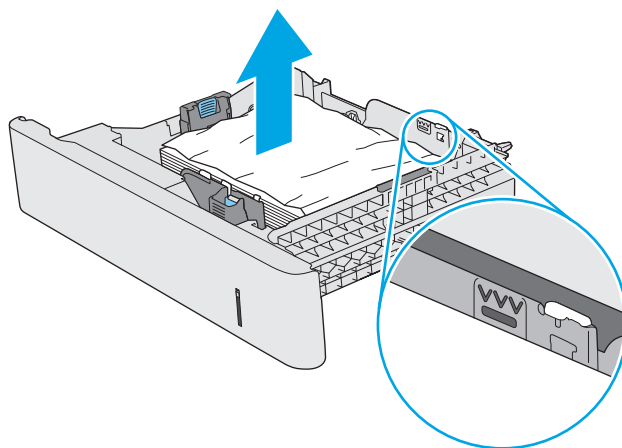
7. 紙詰まりアクセス カバーを閉じて、トランスファー アセンブリを下げます。



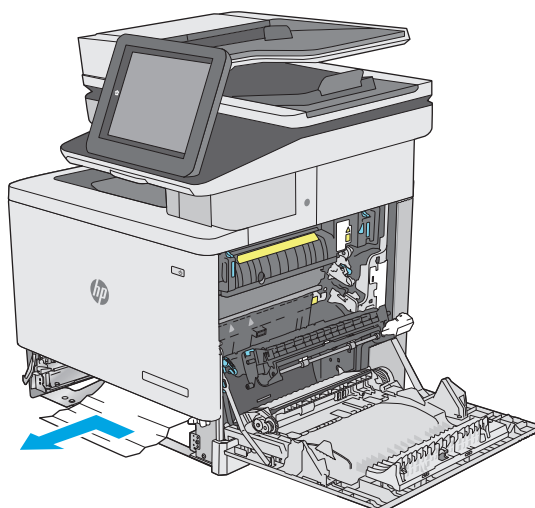
8. トレイを引き出し、少し持ち上げてプリンタから完全に取り出します。



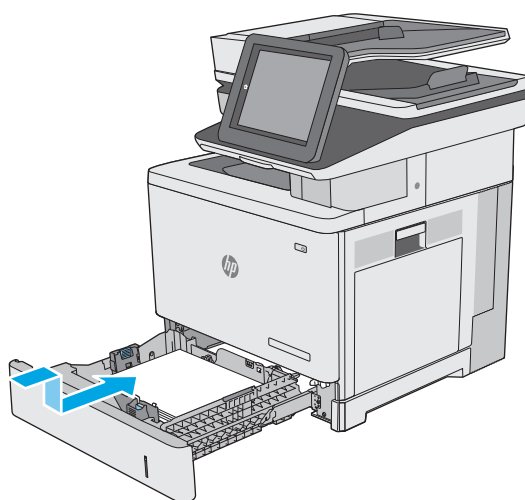
9. 詰まっている用紙や傷んだ用紙があれば取り除きます。トレイにセットされている用紙が多すぎないか、用紙ガイドが適切に設定されているかを確認してください。



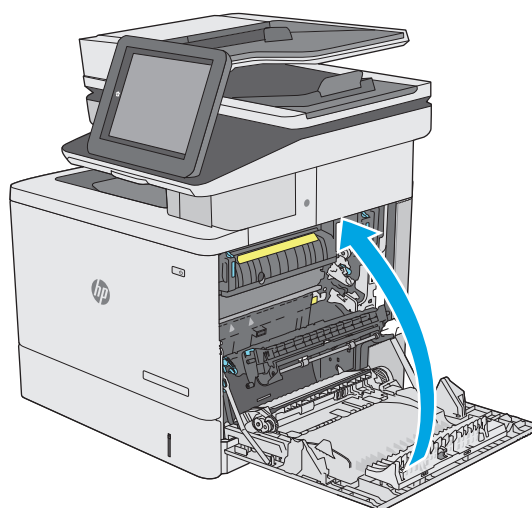
10. プリンタ内部のフィードローラーから用紙をすべて取り除きます。まず用紙を左側に引いて解放し、次に前方に引いて取り除きます。



11. トレイを再度取り付けて閉じます。



12. 右のドアを閉めます。



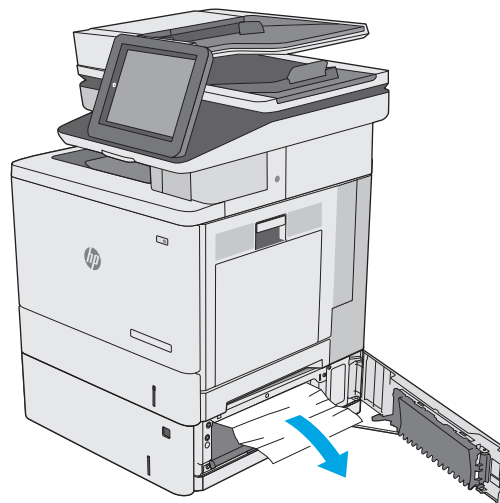
オプションの 550 枚トレイの紙詰まりの解消

以下の手順に従って、オプションの 550 枚用紙フィーダに関連する、紙詰まりが発生している可能性があるすべての場所に用紙が詰まっていないか確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

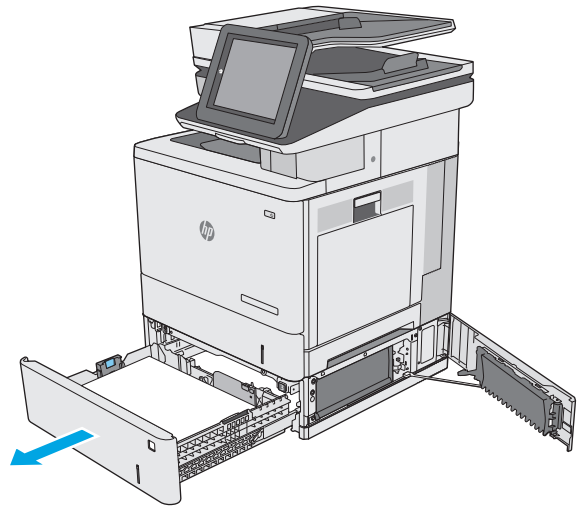
1. 右下のドアを開きます。



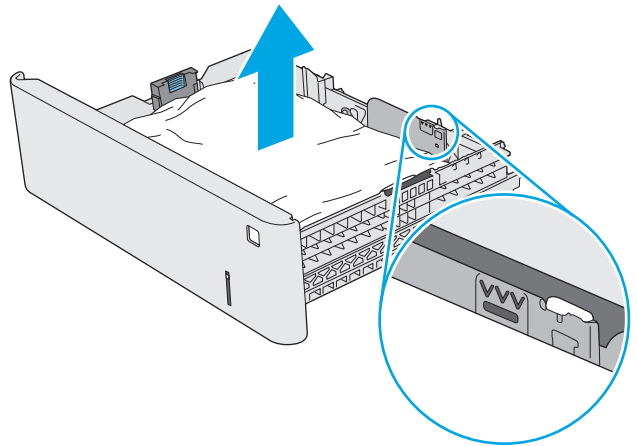
2. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。



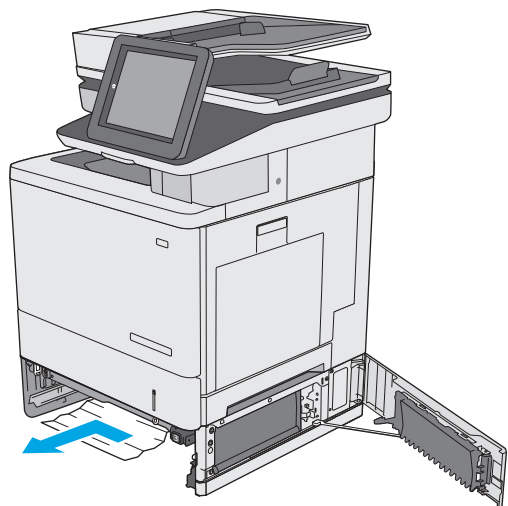
3. トレイを引き出し、少し持ち上げてプリンタから完全に取り出します。



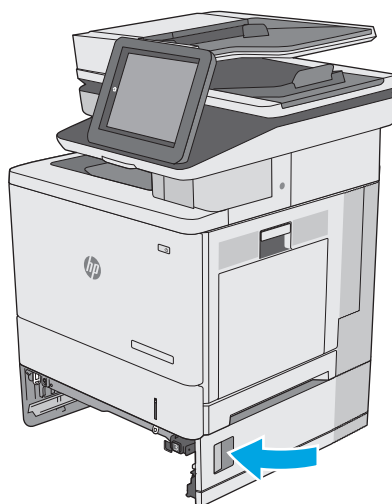
4. 詰まっている用紙や傷んだ用紙があれば取り除きます。トレイにセットされている用紙が多すぎないか、用紙ガイドが適切に設定されているかを確認してください。



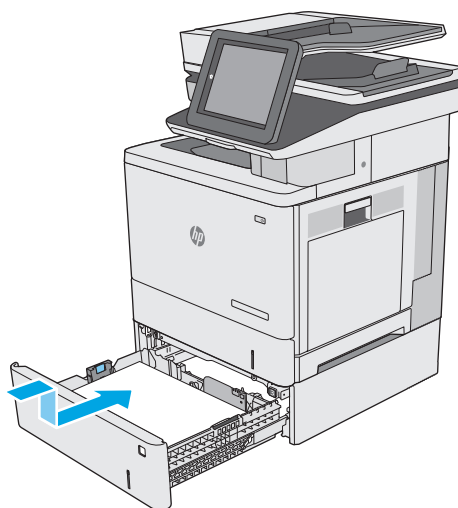
5. プリンタ内部のフィードローラーから用紙をすべて取り除きます。まず用紙を左側に引いて解放し、次に前方に引いて取り除きます。



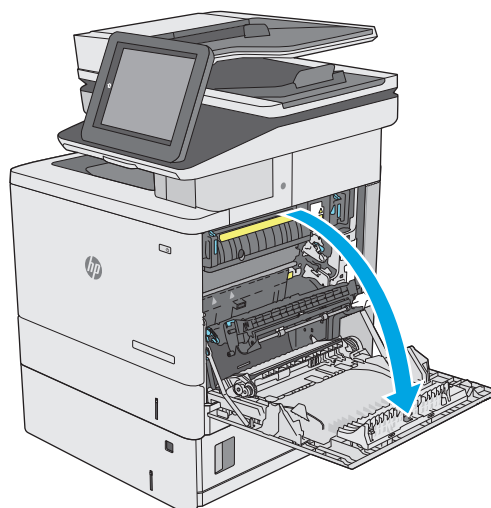
6. 右下のドアを閉じます。



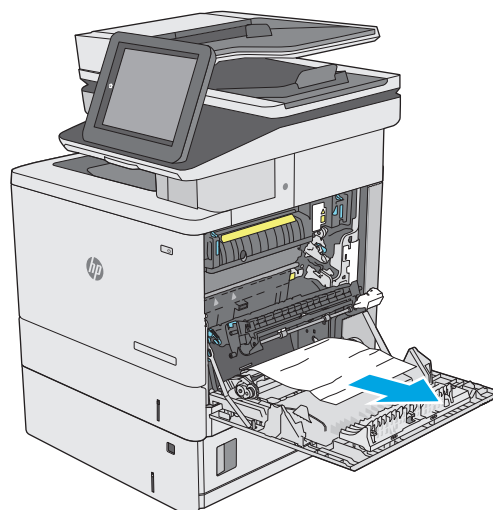
7. トレイを再度取り付けて閉じます。



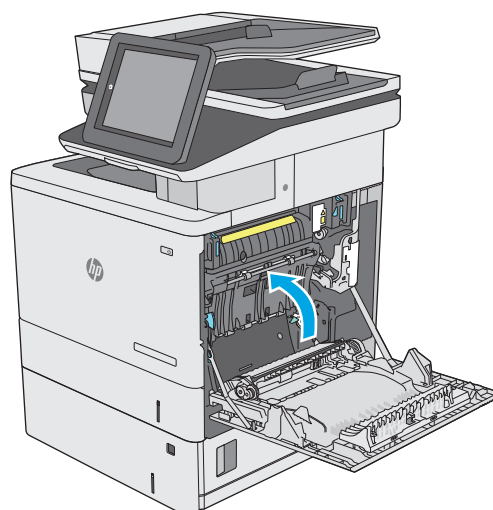
8. 右のドアを開きます。



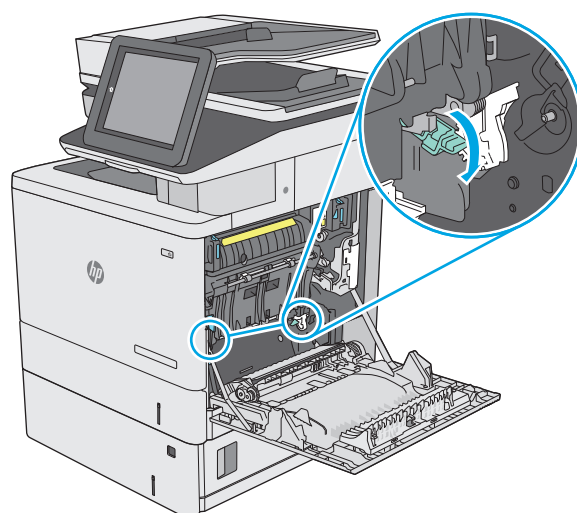
9. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



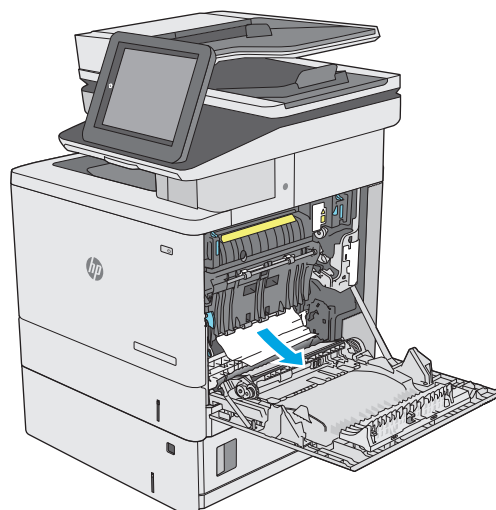
10. トランスファーアセンブリを閉じます。



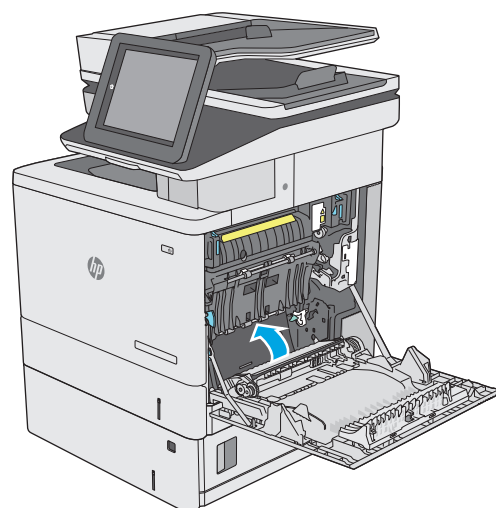
11. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



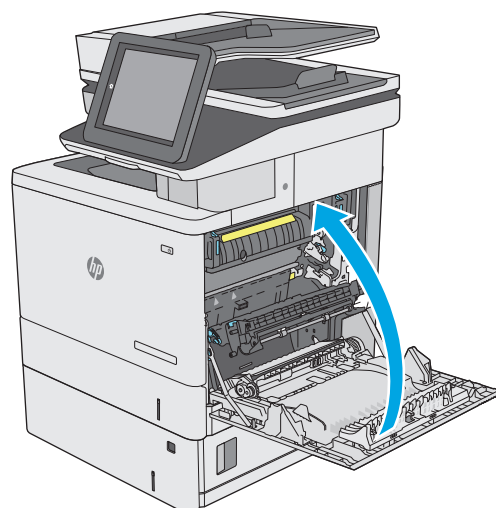
12. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。
用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。



13. 紙詰まりアクセスカバーを閉じて、トランスファーアセンブリを下げます。



14. 右のドアを閉めます。



右のドアおよびフューザエリアから紙詰まりの除去

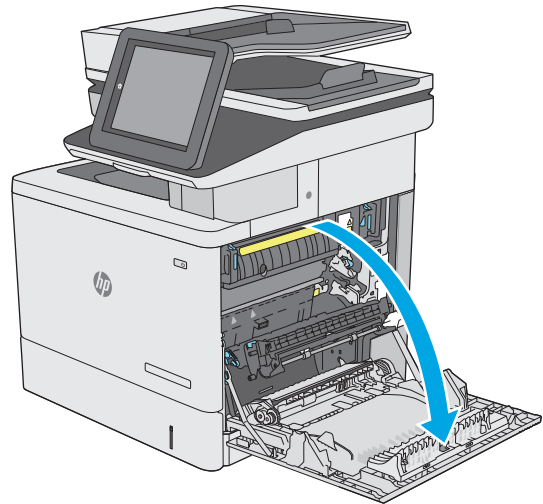
以下の手順を使用して、右のドア内部で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

⚠ 注意：フューザは、製品の使用中高温になっている可能性があります。フューザが冷めるまで待つてから作業を行ってください。

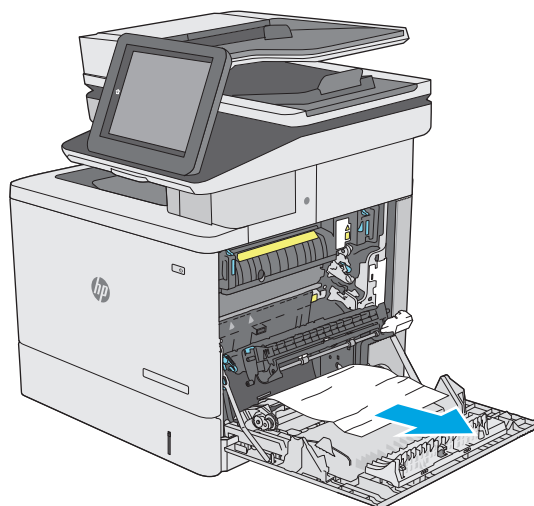
1. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



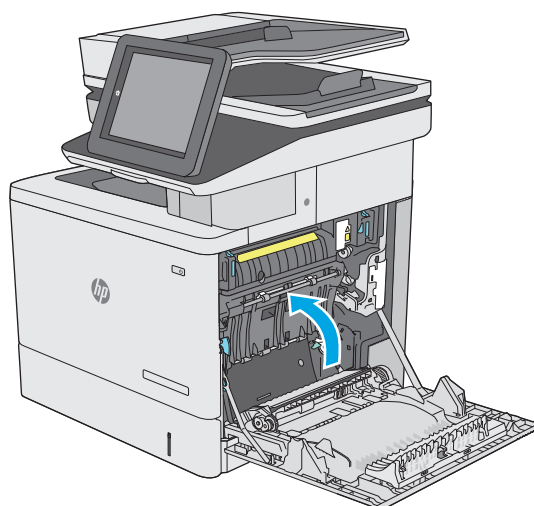
2. 右のドアを開きます。



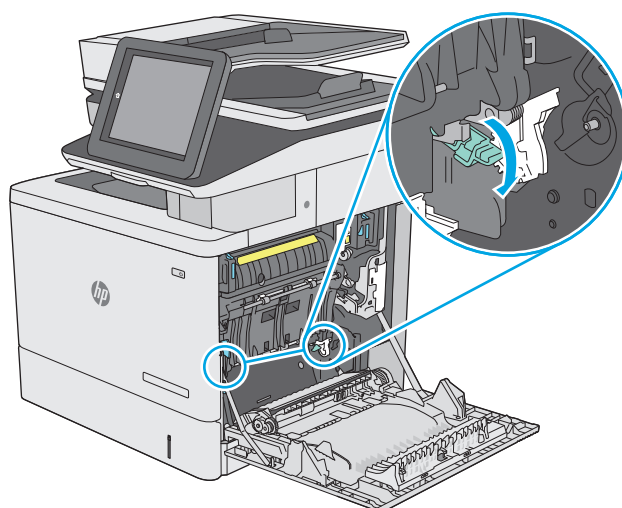
3. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



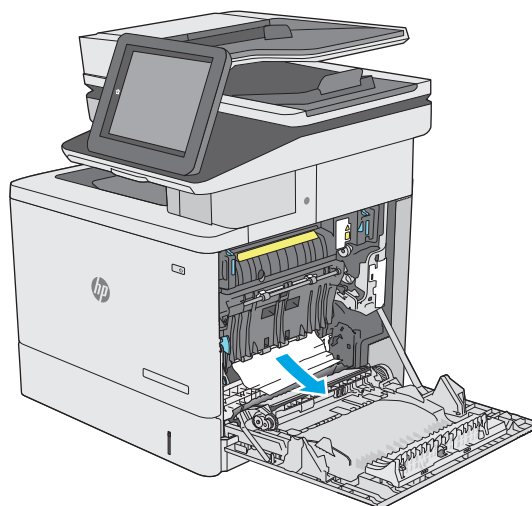
4. トランスファーアセンブリを閉じます。



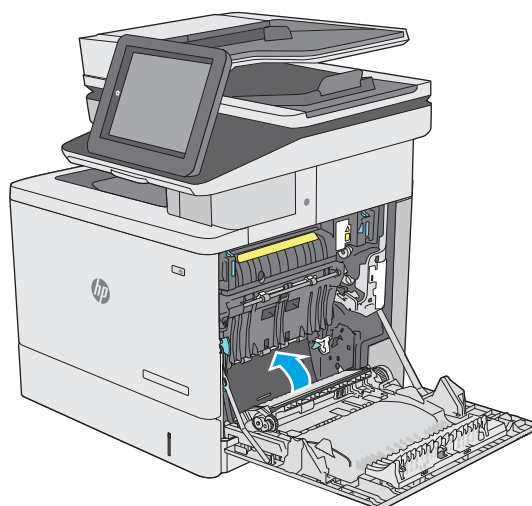
5. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



6. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。

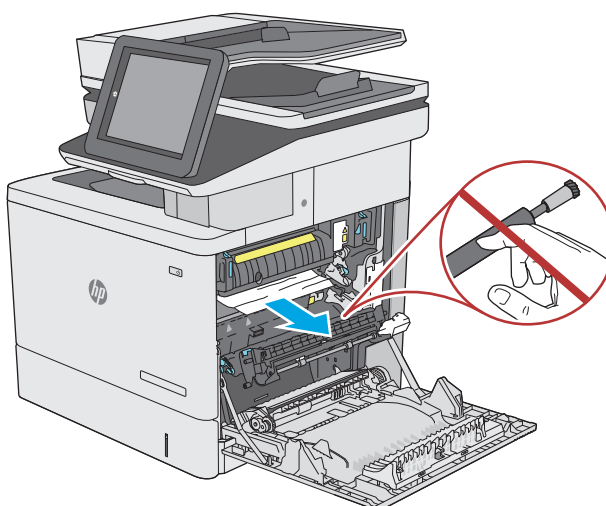


7. 紙詰まりアクセスカバーを閉じて、トランスファーアセンブリを下げます。

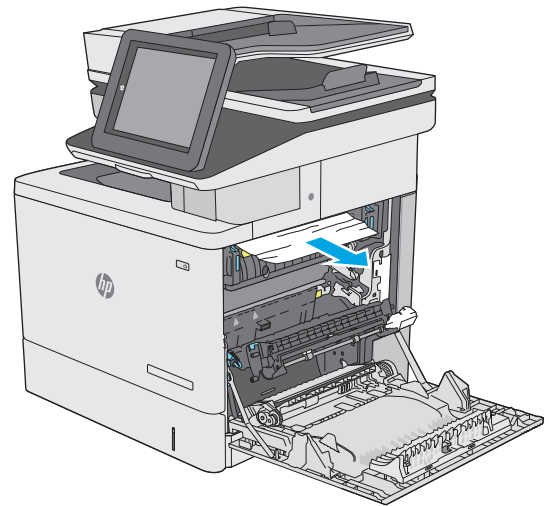


8. フューザの下部に詰まっている用紙が見える場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

注意：トランスファーローラーの発泡体に触らないようにしてください。汚れると印刷品質が低下するおそれがあります。

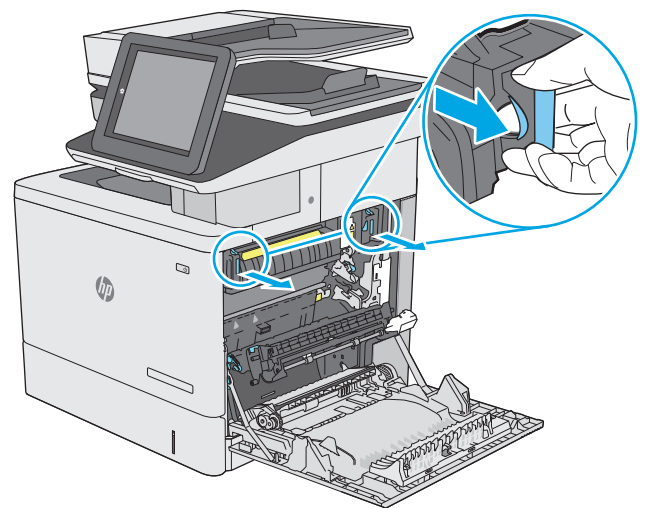


9. 排紙ビンに入りかけた用紙がある場合は、丁寧に引き出して取り除きます。



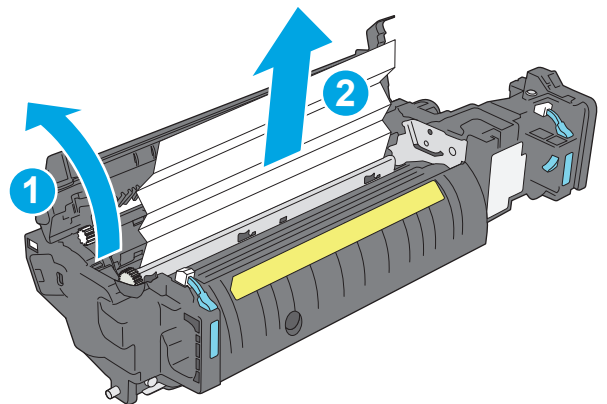
10. フューザ内部の見えないところに用紙が詰まっている場合があります。フューザハンドルをつかんで少し持ち上げてからまっすぐに引き、フューザを取り外します。

注意：フューザは、製品の使用中高温になっている可能性があります。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

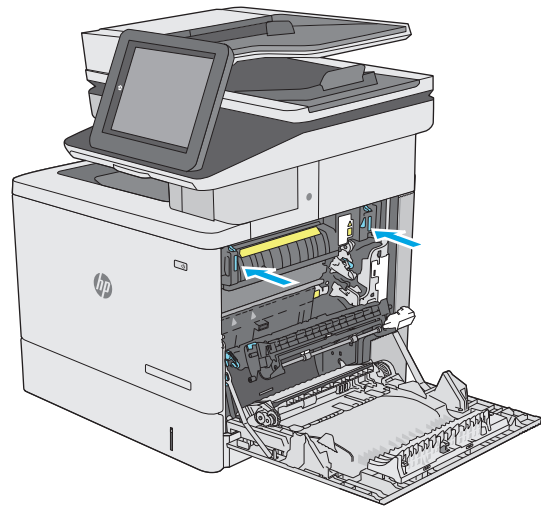


11. 紙詰まりアクセスドアを開きます。フューザ内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。用紙が破れた場合は、紙片をすべて取り除いてください。

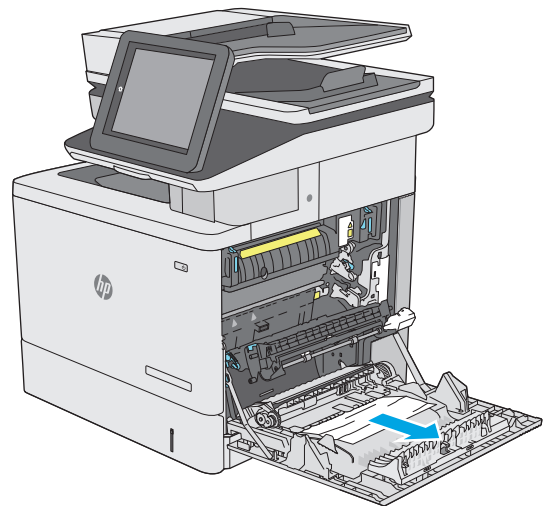
注意：フューザ本体が冷めていても、内部のローラーがまだ熱いことがあります。フューザローラーが冷めるまで、触らないようにしてください。



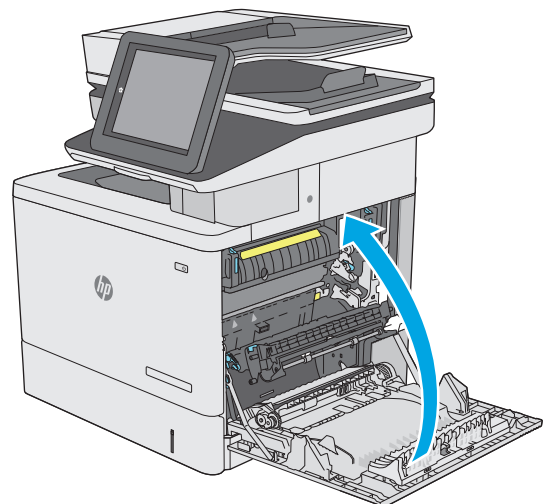
12. 紙詰まりアクセスドアを閉じ、フューザをカチッと音がして固定されるまでプリンタに完全に押し込みます。



13. 右ドア内側の両面印刷経路に詰まった用紙がないか確認します。詰まっている場合は取り除きます。



14. 右のドアを閉めます。



排紙ビンの紙詰まりの解消

以下の手順を使用して、排紙ビンの紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 排紙ビン内の用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。



印刷品質の改善

はじめに

- [別のソフトウェア プログラムからの印刷](#)
- [印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認](#)
- [トナー カートリッジ ステータスの確認](#)
- [プリンタのクリーニング](#)
- [トナー カートリッジを目視で調べる](#)
- [用紙および印刷環境の確認](#)
- [カラー設定を調整する \(Windows の場合\)](#)
- [印刷品質ページの印刷と確認](#)
- [プリンタを校正してカラーを調整](#)
- [別のプリント ドライバで試行](#)

プリンタの印刷品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

別のソフトウェア プログラムからの印刷

別のソフトウェア プログラムを使って印刷してみます。ページが正しく印刷された場合は、印刷したソフトウェア プログラムに問題があります。

印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認

ソフトウェア プログラムから印刷し、印刷したページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、トナーの汚れが点在している、トナーが落ちやすい、またはトナーが印刷されない箇所がある場合には、用紙タイプ設定を確認します。

用紙タイプ設定の変更 (Windows)

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから、**[詳細...]** オプションをクリックします。
5. **[用紙の種類:]** オプションのリストを展開します。
6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。
8. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。


用紙タイプ設定の確認 (OS X)

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. [プリンタ] メニューで、プリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリント ドライバに [部数とページ] メニューが表示されます。メニューのドロップダウン リストを開いて、[レイアウト] メニューをクリックします。
4. [用紙の種類] ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. [印刷] ボタンをクリックします。

トナー カートリッジ ステータスの確認

次の手順に従って、トナー カートリッジの推定残量を確認し、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

手順 1: サプライ品ステータス ページの印刷

1. プリンタのコントロール パネルのホーム  ボタンを押します。
2. サプライ品 を選択します。
3. すべてのサプライ品のステータスが画面に一覧表示されます。
4. サプライ品の再注文に使用する HP 純正品の部品番号を含む、すべてのサプライ品のステータスのレポートを印刷するには、[サプライ品の管理](#) ボタンにタッチしてから、[サプライ品のステータスの印刷](#) を選択します。

手順 2: サプライ品ステータスのチェック

1. サプライ品ステータスのレポートを確認して、トナー カートリッジの残量の割合をチェックし、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

推定寿命に達したトナー カートリッジを使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。サプライ品の残量が非常に少なくなると、サプライ品ステータス ページに表示されます。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアムプロテクション保証は終了します。

適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナー カートリッジを交換する必要はありません。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。

トナー カートリッジまたは他の交換可能なメンテナンス部品を交換する必要があると考えられる場合、サプライ品ステータス ページには、HP 純正品の部品番号が一覧表示されます。

2. HP 純正のカートリッジを使用しているかどうかを確認します。


HP 純正のトナー カートリッジには、カートリッジ上に「HP」、「Hewlett-Packard」という文字、または HP のロゴが表示されています。HP 製カートリッジの確認の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutesupplies を参照してください。

プリンタのクリーニング

クリーニング ページの印刷

印刷処理中に紙くず、トナー、埃がプリンタ内部にたまり、これが原因でトナーの染みやはね、汚れ、かすれ、筋、同じ汚れの繰り返しなどの印刷品質の問題が発生することがあります。

次の手順に従って、プリンタの用紙経路をクリーニングします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム  ボタンを押します。
2. **[デバイスのメンテナンス]** を選択します。
3. **校正/クリーニング** を選択してから、**クリーニング ページの印刷** を選択してページを印刷します。

プリンタのコントロールパネルに **クリーニング中** のメッセージが表示されます。クリーニングプロセスは数分で完了します。クリーニングプロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

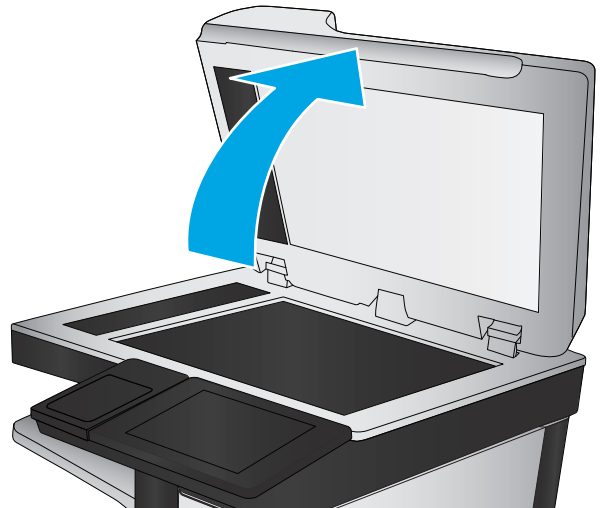
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



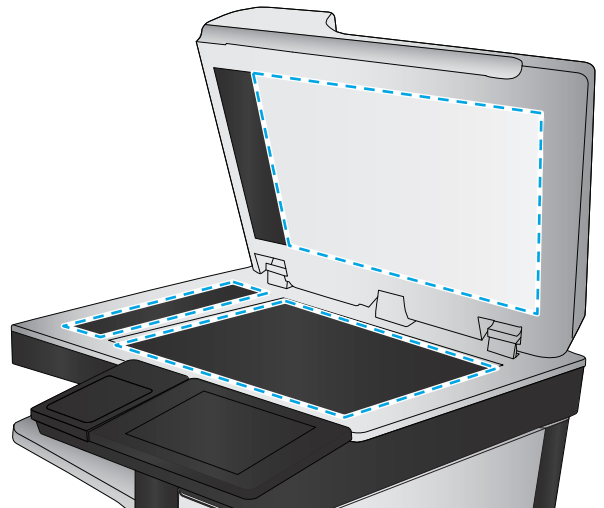
2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板、文書フィーダ ストリップ、およびビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

トナー カートリッジを目視で調べる

次の手順に従って、各トナー カートリッジを確認します。

1. トナー カートリッジをプリンタから取り外します。
2. メモリ チップに損傷がないか確認します。
3. 緑色のイメージング ドラムの表面を確認します。

⚠ 注意：イメージング ドラムには触れないでください。イメージング ドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージングドラムに傷、指紋、またはその他の損傷が見られる場合は、トナーカートリッジを交換します。
5. トナーカートリッジを再度取り付け、試しに印刷を行い、問題が解決されているかどうか確認します。

用紙および印刷環境の確認

手順 1: HP 仕様を満たす用紙の使用

HP の仕様を満たしていない用紙を使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。

- タイプと重量がこのプリンタでサポートされている用紙を必ず使用してください。
- 傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわなどがなく、端がめくれているたり折れたりしていない良質の用紙を使用します。
- 未印刷の用紙を使用します。
- グリッターなどの金属素材を含まない用紙を使用します。
- レーザープリンタ用の用紙を使用します。インクジェット式プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- あまりしわのない用紙を使用します。一般に、用紙にしわが少ないほど、印刷品質が良好になります。


手順 2: 環境の確認

環境は印刷品質に直接影響する可能性があり、印刷品質や給紙の問題の原因になることがよくあります。次のソリューションを実行してみてください。

- 開け放した窓やドア、空調システムの排気口などの空気の流れが生じる場所から離れたところにプリンタを設置し直します。
- 温度または湿度がプリンタの仕様を超える環境にプリンタが設置されていないことを確認します。
- プリンタをキャビネットなどの密閉された場所に設置しないようにします。
- プリンタを平らで安定した面に設置します。
- プリンタの通気孔をふさがないようにします。上部も含めて、プリンタのすべての面の周囲に十分な空気が流れている必要があります。
- 空気中のごみ、ほこり、蒸気、油脂、またはその他の物質がプリンタ内部に蓄積しないようプリンタを保護します。

手順 3: 各トレイ位置の設定

特定のトレイから印刷したときに、印刷されたページでテキストやイメージが用紙の中心にない場合や適切な位置に調整されていない場合は、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム  ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。

- 管理
 - 全般的な設定
 - 印刷品質
 - イメージレジストレーション
3. 調整するトレイを選択します。
 4. テスト ページの印刷 に選択してから、印刷したページに表示されている指示に従います。
 5. テスト ページの印刷 を再度選択して結果を確認し、必要に応じて、さらに調整します。
 6. 保存 ボタンをタッチして、新しい設定を保存します。


カラー設定を調整する (Windows の場合)

ソフトウェアプログラムから印刷する際、印刷したページのカラーがコンピュータ画面のカラーと一致しない場合、または印刷したページのカラーに満足できない場合は、次の手順に従います。

カラーテーマの変更

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[カラー]** タブをクリックします。
4. **[HP EasyColor]** チェック ボックスをクリックしてチェックを外します。
5. **[カラーテーマ]** ドロップダウンリストでカラーテーマを選択します。
 - **[デフォルト (sRGB)]**: RGB データが raw デバイス モードで印刷されます。このテーマを使用する場合、適切な印刷結果を得るには、ソフトウェアまたは OS でカラーを管理する必要があります。
 - **[鮮明 (sRGB)]**: 中間階調の彩度が高くなります。このテーマは、業務用のグラフィックスを印刷する用途に適しています。
 - **[フォト (sRGB)]**: RGB カラーが、デジタル現像所で写真として印刷されるときと同じように解釈されます。**[デフォルト (sRGB)]** を選択した場合に比べて、濃度と彩度が高くなります。このテーマは、写真を印刷する用途に適しています。
 - **[フォト (Adobe RGB 1998)]**: このテーマは、sRGB ではなく Adobe RGB の色空間を使用しているデジタル写真を印刷する用途に適しています。このテーマを使用する場合、ソフトウェア側でカラー管理を無効にしてください。
 - **[なし]**: カラーテーマは使用されません。
 - **[ユーザー定義プロファイル]**: ユーザー定義の入力プロファイルを使用してカラー出力を正確に管理するには、このオプションを選択します (特定の HP Color LaserJet プリンタをエミュレートする場合など)。www.hp.com からユーザー定義のプロファイルをダウンロードします。
6. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

カラー オプションを変更する

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
 2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
 3. **[カラー]** タブをクリックします。
 4. **[HP EasyColor]** チェック ボックスをクリックしてチェックを外します。
 5. **[Automatic]** (自動) または **[Manual]** (手動) 設定をクリックします。
 - **[Automatic]** (自動) 設定：通常はこのオプションを選択します。
 - **[Manual]** (手動) 設定：特定の印刷ジョブに対してカラー設定を調整する場合は、このオプションを選択します。**[Settings]** (設定) をクリックして、手動カラー調整ウィンドウを開きます。
-
-  **注記**：カラー設定を手動で変更した場合、印刷結果に悪影響が及ぶおそれがあります。カラー設定を手動で変更する作業は、グラフィックの専門家だけが行うことを推奨しています。
6. カラー文書を灰色階調と黒で印刷するには、**[Print in Grayscale]** (グレースケールで印刷) オプションをクリックします。このオプションは、複写またはファクス送信する目的でカラー文書を印刷する場合に適しています。また、ドラフト印刷を行う場合やカラー トナーを節約する場合にも使用できます。
 7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

印刷品質ページの印刷と確認

印刷品質トラブルの解決ページを使用して、印刷品質の問題を診断して解決します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [トラブルシューティング](#)
 - [印刷品質ページ](#)
 - [印字品質トラブルの解決ページの印刷](#)
3. **印刷** ボタンをタッチして、ページを印刷します。

印刷品質のトラブルシューティング手順ページに記載されている指示に従います。

プリンタを校正してカラーを調整

校正は、印刷品質を最適化するプリンタ機能です。

カラーの位置不良、カラーのシャドウ、ぼやけたグラフィックスなどの印刷品質の問題を解決するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**デバイス メンテナンス** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- 校正/クリーニング
 - 完全校正
3. **スタート** ボタンをタッチして、校正処理を開始します。
- 校正中** というメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示されます。校正プロセスは **2** ～ **3** 分で完了します。校正プロセスが完了するまで、プリンタの電源を切らないでください。
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度印刷してみます。

別のプリントドライバで試行

ソフトウェアプログラムから印刷しているときに、印刷ページのグラフィックスに予期しない線が印刷されている、テキストやグラフィックスが印刷されない、誤った形式または代替フォントが使用されている場合には、別のプリントドライバを試してください。

次のいずれかのドライバを HP の Web サイトからダウンロードします。 www.hp.com/support/colorljM577MFP。

HP PCL.6 ドライバ	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタに同梱の CD に、デフォルトのドライバとして収録されています。別のドライバを選択しない限り、自動的にこのドライバがインストールされます。
HP PCL 6 ドライバ	
HP PCL-6 ドライバ	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての Windows 環境で推奨 ● ほとんどのユーザーにとって最適な速度、印刷品質、印刷機能サポートを提供 ● Windows グラフィック デバイス インタフェース (GDI) を使用することで Windows 環境で最高の速度を実現 ● PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェアプログラムと完全な互換性がない場合がある
HP UPD PS ドライバ	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe® ソフトウェアプログラム、または他の高グラフィックス集約型ソフトウェアプログラムを使用して印刷する場合に推奨 ● PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート

HP UPD PCL 5

- Windows 環境での一般的なオフィス印刷に推奨
- PCL の旧バージョンと古い HP LaserJet プリンタと互換性がある
- サードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムからの印刷に最適な選択
- 異機種混在環境で使用する場合の最適な選択 (UNIX、Linux、メインフレーム)。この場合、プリンタを PCL 5 に設定する必要あり
- 企業の Windows 環境で、この単一のドライバを複数のプリンタ モデルに使用可能
- モバイル Windows コンピュータから複数のプリンタ モデルで印刷する場合に推奨

HP UPD PCL 6

- すべての Windows 環境での印刷に推奨
 - ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、印刷機能サポートが最適
 - Windows グラフィック デバイス インタフェース (GDI) を使用することで Windows 環境で最高の速度を実現
 - PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある
-

コピーのイメージ品質を向上させる

プリンタのコピー品質に問題がある場合、以下に示すソリューションを順番に実行して問題を解決してください。

- [スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [スキヤナの校正](#)
- [用紙設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する](#)
- [最小マージン コピー](#)
- [文書フィーダのピックアップローラーおよび仕分けパッドのクリーニング](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

- 文書フィーダではなくフラットベッド スキヤナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

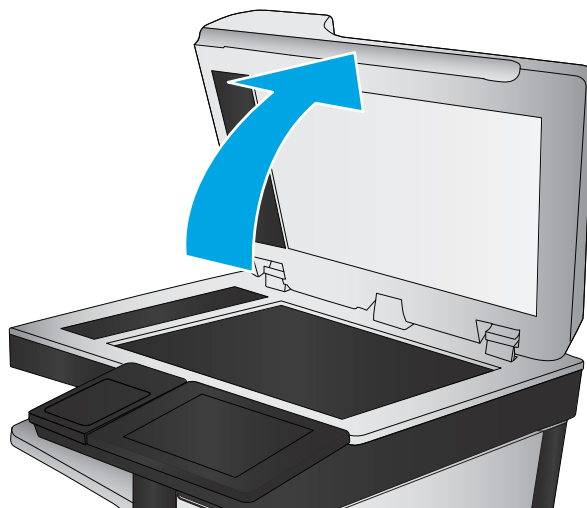
スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキヤナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキヤナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



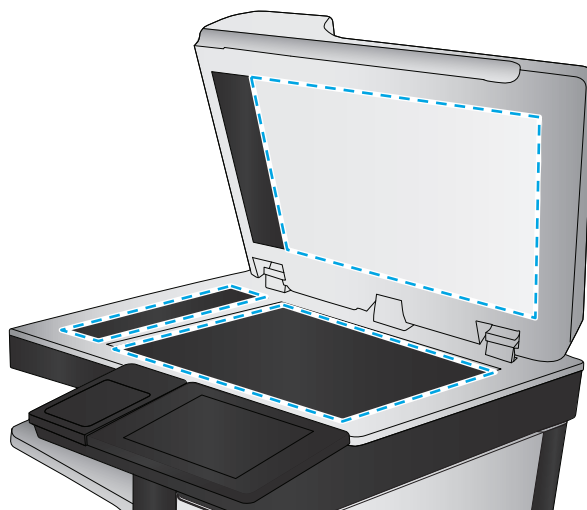
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板、文書フィーダストリップ、およびビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。


注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

スキャナの校正

イメージがページの正しい位置にコピーされない場合は、次の手順に従ってスキャナを校正します。

 **注記：**文書フィーダを使用する場合には、給紙トレイのガイドを原稿に合わせて調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**デバイスメンテナンス** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **校正/クリーニング**
 - **スキャナの校正**

3. 次へ ボタンをタッチして、校正処理を開始します。画面の指示に従います。
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度コピーを試します。

用紙設定を確認する

コピーしたページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、トナーの汚れが点在している、トナーが落ちやすい、またはトナーが印刷されない個所がある場合には、次の手順に従います。

用紙サイズとタイプの設定の確認

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**トレイ** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 設定するトレイの行をタッチして、**変更** ボタンをタッチします。
3. オプションのリストから用紙サイズと用紙タイプを選択します。
4. **OK** ボタンをタッチして選択内容を保存します。

コピーに使用するトレイの選択


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
2. **用紙の選択** ボタンをタッチします。
3. 使用する用紙が入ったトレイを選択します。
4. **OK** ボタンをタッチします。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、コピー品質を改善します。


- **シャープネス**：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - **濃度**：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - **コントラスト**：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - **背景の除去**：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - **自動トーン**：Flow プリンタのみ。原稿に 100 字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
 2. **イメージ調整** ボタンをタッチします。

3. スライダを調節してレベルを設定し、**OK** ボタンをタッチします。
4. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する


コピー中の次の画像タイプに合わせてコピー ジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
2. **その他のオプション** ボタンをタッチして、**テキスト/画像の最適化** ボタンをタッチします。
3. 定義済みのオプションのいずれかを選択するか、または、**マニュアル調整** ボタンをタッチして **最適化** 領域のスライダを調整します。**OK** ボタンをタッチします。
4. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

最小マージン コピー

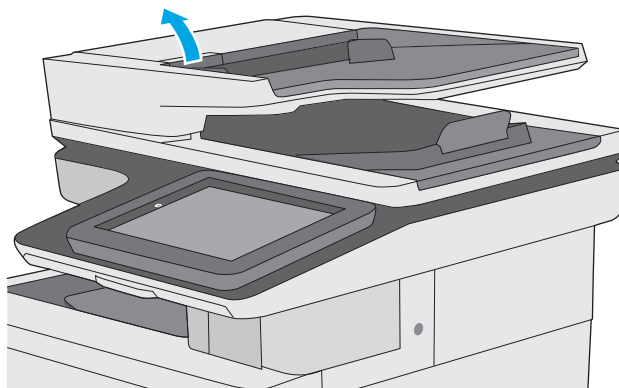
原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、この機能を使用して、コピーの端にシャドウが印刷されるのを防ぎます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **コピー設定**
 - **最小マージン**
3. 原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、**最小マージン出力** を選択します。
4. **保存** ボタンをタッチします。
5. スタート ボタン  をタッチします。

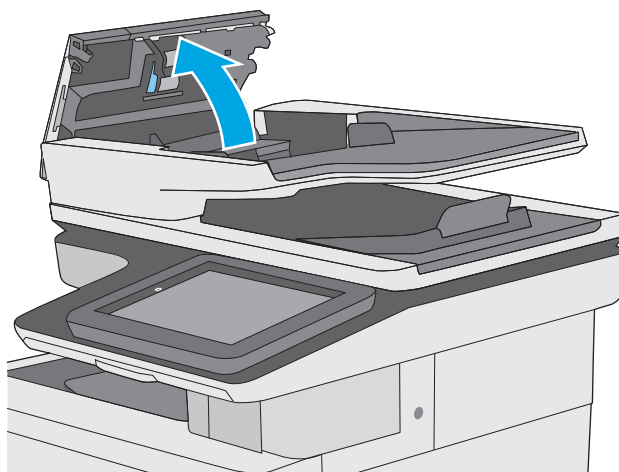
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング

文書フィーダで正しく給紙されない、歪んだ用紙が排出される場合は、次の手順に従います。

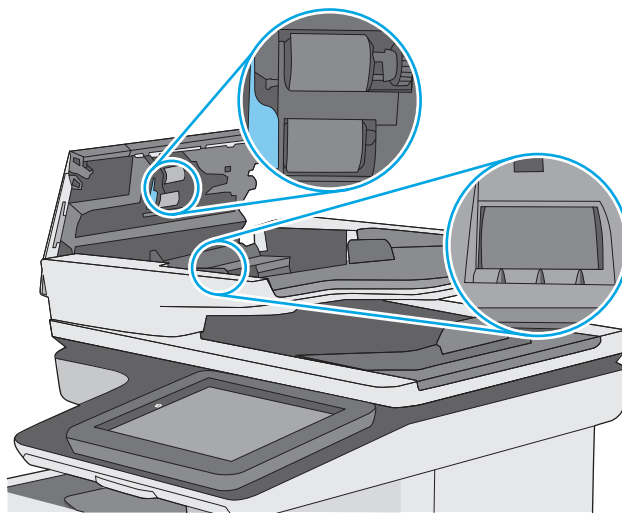
1. 文書フィーダのラッチを持ち上げます。



2. 文書フィーダのカバーを開けます。

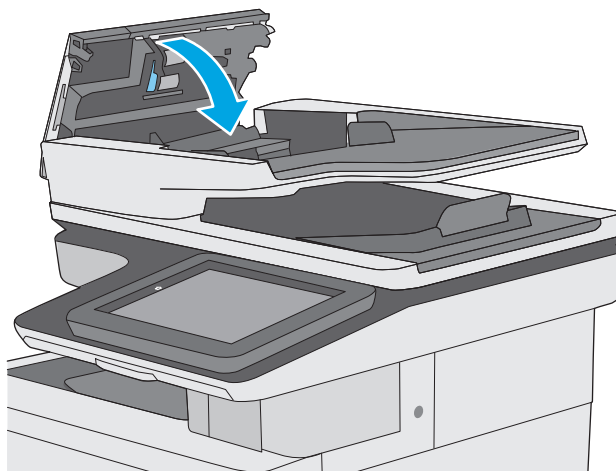


3. 目で確認できる糸くずやほこりがあれば、エアスプレーや温水で湿らせた繊維の残らない布を使用して、各フィードローラーや仕分けパッドから取り除きます。




4. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記：文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



問題が解決しない場合は、文書フィーダの仕分けパッドおよびローラーに損傷や摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。

 **注記：**新しいローラーの表面には起伏があります。ローラーを長期間使用していると、表面の起伏はなくなります。

スキヤンのイメージ品質を向上させる

- [スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [解像度設定を確認する](#)
- [カラー設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のスキヤン品質を最適化する](#)
- [出力品質設定を確認する](#)
- [文書フィーダのピックアップローラーおよび仕分けパッドのクリーニング](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

- 文書フィーダではなくフラットベッドスキヤナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

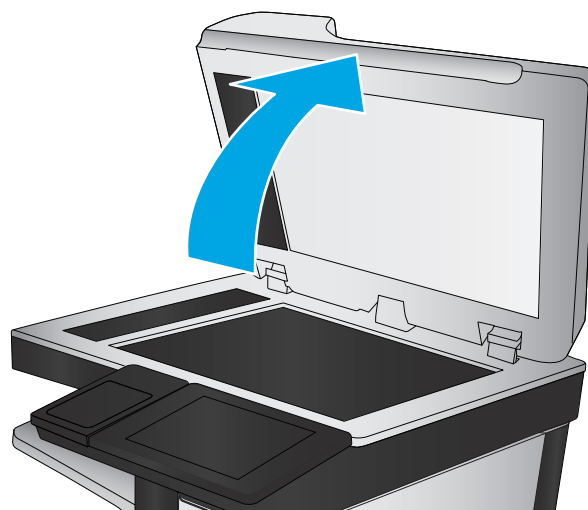
スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキヤナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキヤナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



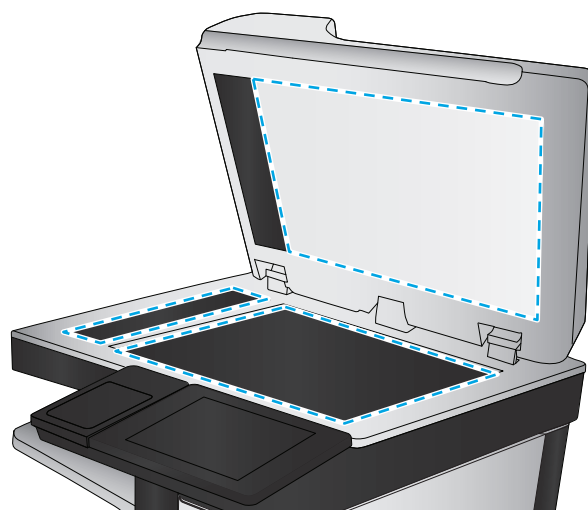
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板、文書フィーダストリップ、およびビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。


注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。




4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

解像度設定を確認する

 **注記：**解像度を高い値に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、スキャン時間が長くなります。


次の手順に従って解像度設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. **[スキャン/デジタル送信] の設定** メニューを開きます。
3. **スキャン/デジタル送信設定** のカテゴリを選択します。
4. **デフォルト ジョブ オプション** メニューを開きます。
5. **解像度** ボタンをタッチします。

6. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。保存 ボタンをタッチします。
7. スタート ボタン  をタッチします。


カラー設定を確認する

次の手順に従ってカラー設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、管理 ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. [スキャン/デジタル送信] の設定 メニューを開きます。
3. スキャン/デジタル送信設定のカテゴリを選択します。
4. デフォルト ジョブ オプション メニューを開きます。
5. カラー/モノクロ ボタンをタッチします。
6. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。保存 ボタンをタッチします。
7. スタート ボタン  をタッチします。

イメージ調整設定を確認する


以下の追加の設定を調整して、スキャン品質を改善します。

- **シャープネス**：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - **濃度**：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - **コントラスト**：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - **背景の除去**：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - **自動トーン**：Flow プリンタのみ。原稿に 100 字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、管理 ボタンまでスクロールしてタッチします。
 2. [スキャン/デジタル送信] の設定 メニューを開きます。
 3. スキャン/デジタル送信設定のカテゴリを選択します。
 4. デフォルト ジョブ オプション メニューを開きます。
 5. イメージ調整 ボタンをタッチします。
 6. スライダを調節してレベルを設定し、保存 ボタンをタッチします。
 7. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する


スキャン中の次の画像タイプに合わせてスキャン ジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、次のいずれかのスキャン/送信機能ボタンをタッチします。
 - ネットワーク フォルダに保存
 - デバイス メモリに保存
 - USB に保存
 - SharePoint® にスキャン
2. その他のオプション ボタンをタッチして、**テキスト/画像の最適化** ボタンをタッチします。
3. 定義済みのオプションのいずれかを選択するか、または、**マニュアル調整** ボタンをタッチして**最適化** 領域のスライダを調整します。**OK** ボタンをタッチします。
4. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

出力品質設定を確認する

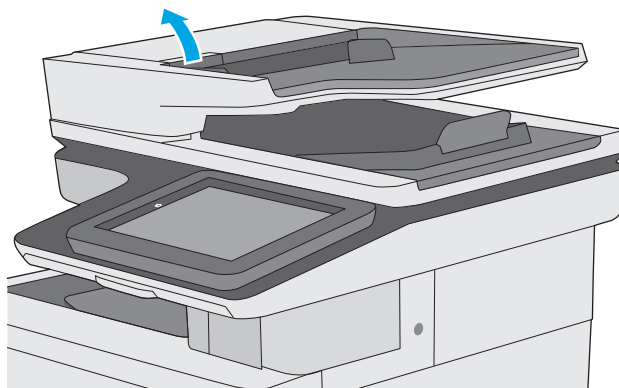
この設定では、ファイル保存時の圧縮レベルを調整します。最高の品質を確保するには、最高値の設定を選択します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. **[スキャン/デジタル送信] の設定** メニューを開きます。
3. **スキャン/デジタル送信設定のカテゴリ** を選択します。
4. **デフォルト ジョブ オプション** メニューを開きます。
5. **出力品質** ボタンをタッチします。
6. 事前定義オプションの**1**つを選択してから、**保存** ボタンをタッチします。
7. スタート ボタン  をタッチします。

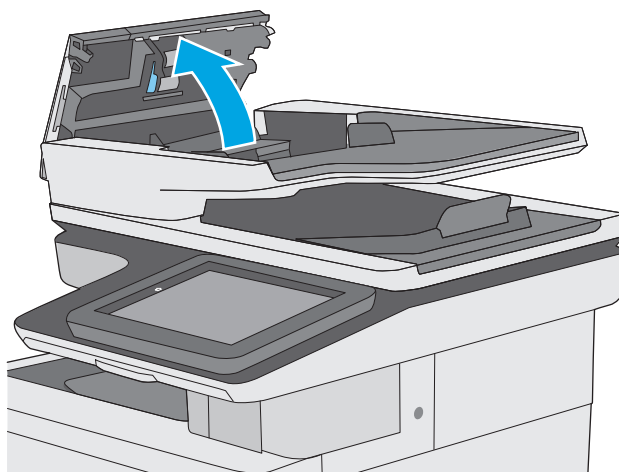
文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング

文書フィーダで正しく給紙されない、歪んだ用紙が排出される場合は、次の手順に従います。

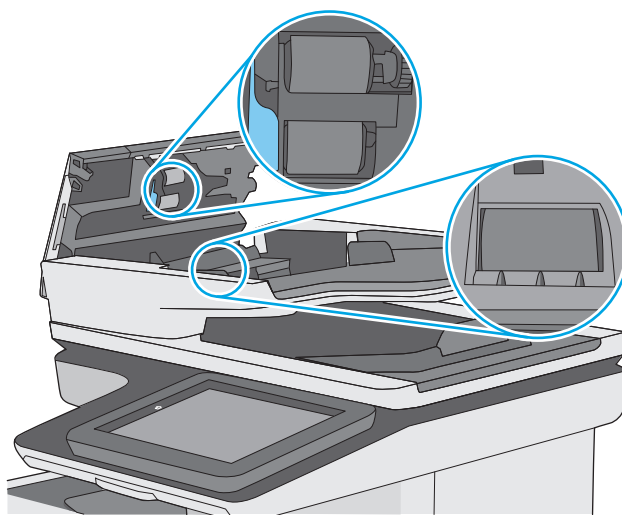
1. 文書フィーダのラッチを持ち上げます。



2. 文書フィーダのカバーを開けます。

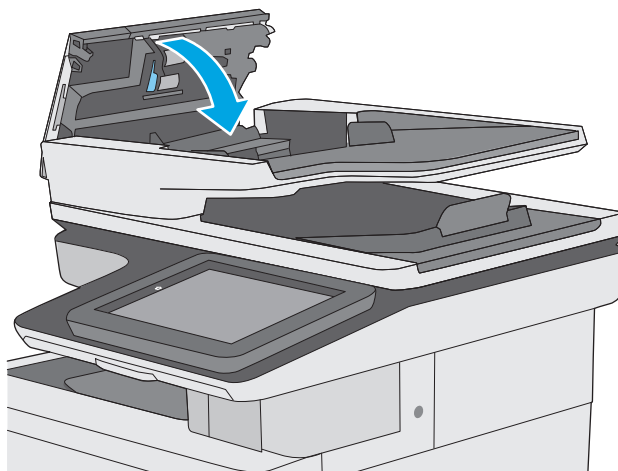


3. 目で確認できる糸くずやほこりがあれば、エアスプレーや温水で湿らせた繊維の残らない布を使用して、各フィードローラーや仕分けパッドから取り除きます。




4. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記：文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



問題が解決しない場合は、文書フィーダの仕分けパッドおよびローラーに損傷や摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。

 **注記：**新しいローラーの表面には起伏があります。ローラーを長期間使用していると、表面の起伏はなくなります。

ファックスのイメージ品質を向上させる

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [送信ファックスの解像度設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のファックス品質を最適化する](#)
- [エラー修正設定を確認する](#)
- [用紙の大きさに合わせる設定を確認する](#)
- [文書フィーダのピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング](#)
- [異なるファックス機に送信する](#)
- [送信側のファックス機を確認する](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

- 文書フィーダではなくフラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

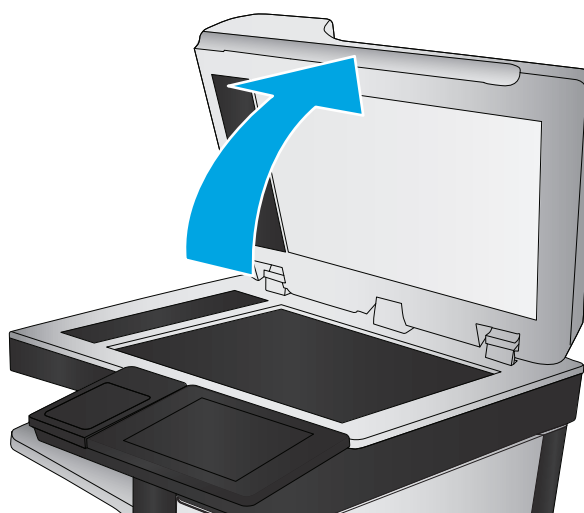
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



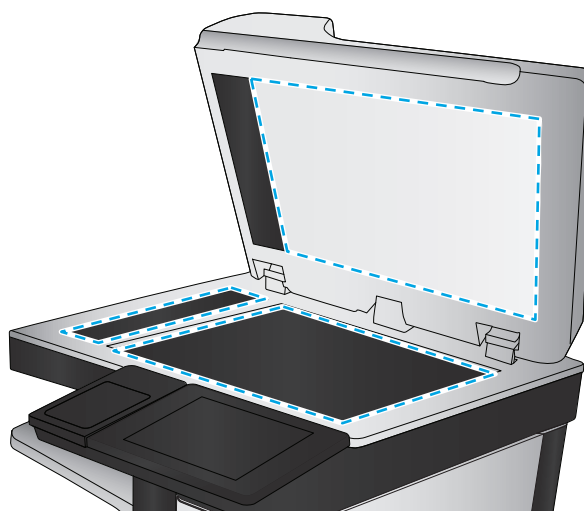
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板、文書フィーダストリップ、およびビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。


注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。




4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

送信ファックスの解像度設定を確認する

次の手順に従って送信ファックスの解像度を調整します。


 **注記：** 解像度を上げると、ファックスのサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス送信設定**
 - **デフォルトジョブオプション**
3. **解像度** ボタンをタッチします。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。**保存** ボタンをタッチします。
5. **スタート** ボタン  をタッチします。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、送信ファックスの品質を改善します。


- **シャープネス：** イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - **濃度：** スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - **コントラスト：** ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - **背景の除去：** スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - **自動トーン：** **Flow** プリンタのみ。原稿に **100** 字以上の文字が含まれる場合、プリンタでページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。スキャンジョブで、他のページに対して上下逆のページが含まれる場合でも、スキャンしたイメージではすべてのページが正しい向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにイメージが回転されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールしてタッチします。
 2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルトジョブ オプション
3. イメージ調整 ボタンをタッチします。
 4. スライダを調節してレベルを設定し、保存 ボタンをタッチします。
 5. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記：**これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のファックス品質を最適化する

スキャン中の次の画像タイプに合わせてファックス ジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ファックス ボタンをタッチします。
2. その他のオプション ボタンをタッチして、[テキスト/画像の最適化] ボタンをタッチします。
3. 定義済みのオプションのいずれかを選択するか、または、マニュアル調整 ボタンをタッチして最適化 領域のスライダを調整します。OK ボタンをタッチします。
4. スタート ボタン  をタッチします。

 **注記：**これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

エラー修正設定を確認する

[エラー修正モード] 設定が無効になっている可能性があり、それが原因で印刷品質が低下している可能性があります。この設定を再度有効にするには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、管理 ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信のセットアップ
 - 全般的なファックス送信設定
3. エラー修正モード オプションを選択します。保存 ボタンをタッチします。

用紙の大きさに合わせる設定を確認する

用紙の大きさに合わせる 設定が有効になっており、受信したファックスがデフォルト ページサイズよりも大きい場合は、イメージがページに収まるように縮小されます。この設定が無効になっていると、サイズの大きいイメージが複数のページに分割されます。

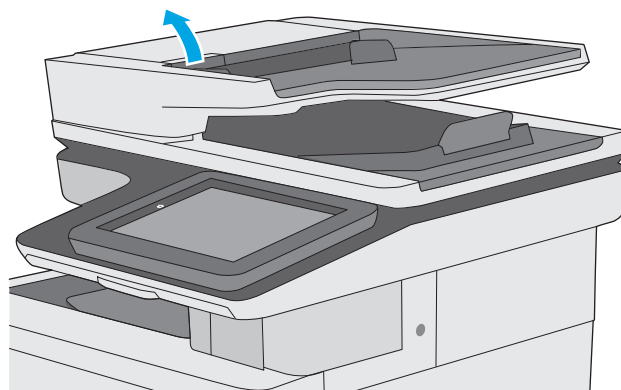
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、管理 ボタンまでスクロールしてタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の大きさに合わせる
3. 設定を有効にするには、有効 オプションをタッチし、無効にするには、無効 オプションをタッチします。保存 ボタンをタッチします。

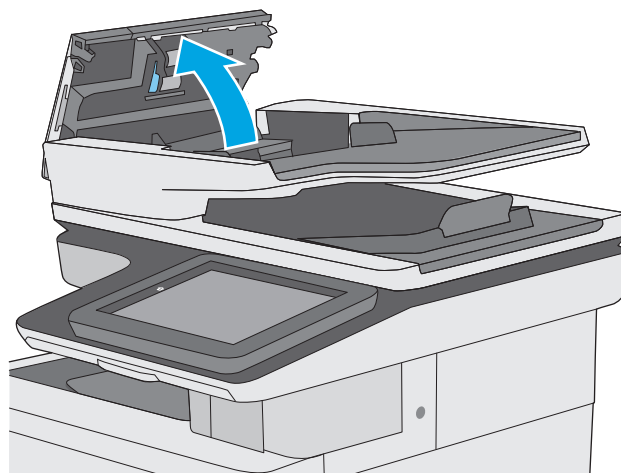
文書フィーダのピックアップローラーおよび仕分けパッドのクリーニング

文書フィーダで正しく給紙されない、歪んだ用紙が排出される場合は、次の手順に従います。

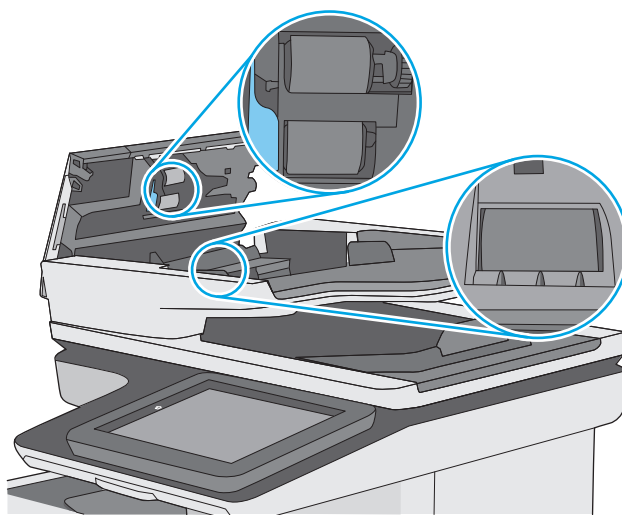
1. 文書フィーダのラッチを持ち上げます。



2. 文書フィーダのカバーを開けます。

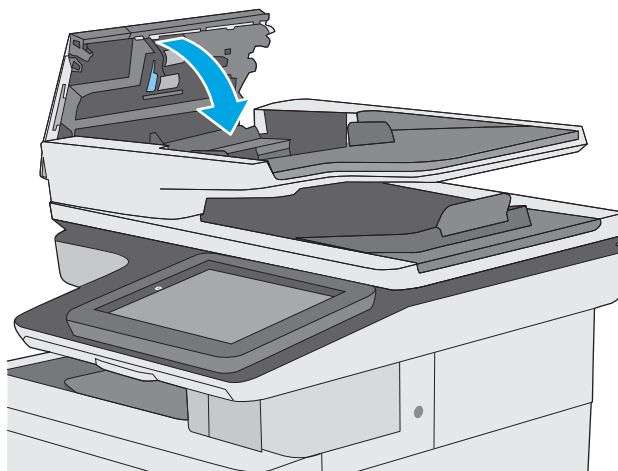


3. 目で確認できる糸くずやほこりがあれば、エアスプレーや温水で湿らせた繊維の残らない布を使用して、各フィードローラーや仕分けパッドから取り除きます。




4. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記：文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



問題が解決しない場合は、文書フィーダの仕分けパッドおよびローラーに損傷や摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。

 **注記：**新しいローラーの表面には起伏があります。ローラーを長期間使用していると、表面の起伏はなくなります。

異なるファックス機に送信する

異なるファックス機にファックス送信を試行します。ファックス品質が良好な場合、問題は最初の受信者のファックス機の設定またはサプライ品の状態に関係しています。

送信側のファックス機を確認する

送信側に別のファックス機から送信するように依頼します。ファックス品質が向上する場合は、送信側のファックス機に問題があります。別のファックス機を使用できない場合は、送信側に次の変更を検討するよう依頼します。


- 原稿を白地 (色付きでなく) にする。
- ファックスの解像度、品質レベル、またはコントラストの設定を高くする。
- 可能な場合には、コンピュータのソフトウェアプログラムからファックスを送信する。

有線ネットワークに関する問題の解決

はじめに

次の項目を確認し、プリンタがネットワークと通信しているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認する前に、プリンタのコントロールパネルから設定ページを印刷し、このページに印刷されるこのプリンタの IP アドレスを確認します。

- [物理接続が不適切である](#)
- [コンピュータ側で、誤った IP アドレスを使用している](#)
- [コンピュータがプリンタと通信できない](#)
- [プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある](#)
- [新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある](#)
- [コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある](#)
- [プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある](#)

 **注記:** HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティングシステムの機能であり、HP プリント ドライバの機能ではありません。詳細については、Microsoft Web サイト (www.microsoft.com) にアクセスしてください。

物理接続が不適切である

1. プリンタが適切な長さのケーブルで適切なネットワーク ポートに接続されているかどうかを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されているかどうかを確認します。
3. プリンタ背面のネットワーク ポート接続を見て、黄色の動作ランプと緑のリンク ステータス ランプが点灯していることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、別のケーブルを試すか、または、ハブの別のポートに接続してみます。

コンピュータ側で、誤った IP アドレスを使用している

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[ポート]** タブをクリックします。このプリンタの現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは設定ページに記載されています。
2. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、**[IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタに印刷する]** とラベルされたボックスを選択します。
3. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくホスト名を使用します。
4. IP アドレスが正しい場合は、プリンタをいったん削除し、再度追加します。

コンピュータがプリンタと通信できない

1. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。

- a. コンピューターでコマンドラインプロンプトを開きます。
 - Windows の場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
 - OS X の場合は、[アプリケーション] から [ユーティリティ] へ移動し、[ターミナル] を開きます。
 - b. ping と入力し、その後にプリンタの IP アドレスを入力して、実行します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
2. ping コマンドが失敗した場合は、ネットワーク ハブの電源が入っているかどうかを確認してから、プリンタとコンピュータが同じネットワークに対して設定されているかどうかを確認します。

プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある

HP では、これらの設定を自動モード (デフォルト設定) のままにすることをお勧めしています。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新規に導入したすべてのソフトウェアプログラムが正しくインストールされているかどうか、およびそれらのソフトウェアプログラムで正しいプリントドライバが使用されているかどうかを確認します。

コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワーク ドライバ、プリント ドライバ、およびネットワークのリダイレクト設定を確認します。
2. OS が正しく設定されているかどうかを確認します。

プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある


1. 設定ページの内容を確認し、ネットワーク プロトコルのステータスを調べます。無効になっている場合は有効にします。
2. 必要があれば、ネットワーク設定をやり直します。

ファックスに関する問題を解決する


- [ファックスの問題を解決するためのチェックリスト](#)
- [一般的なファックスの問題](#)

ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- **ファックス アクセサリに付属のファックス ケーブルを使用していますか？** このファックス アクセサリは、付属のファックス ケーブルを使用して **RJ11** 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他のファックス ケーブルは使用しないでください。アナログ ファックス アクセサリにはアナログのファックス ケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
 - **ファックス/電話線コネクタがファックス アクセサリの差し込み口に接続されていますか？** 電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをカチッと音がするまで差し込み口に挿入します。
-
-  **注記：** フォンジャックがネットワークポートではなくファックスポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。
-
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？** 壁のジャックに電話を接続して、ダイアルトーンが聞こえることを確認してください。ダイアルトーンが聞こえて、電話をかけたたり受けたりできますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：** ファックスの送受信に標準的なファックス/電話回線が割り当てられています。
-
-  **注記：** 電話回線はプリンタファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。
-
- **PBX システム：** ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックスアクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の **PBX** システムはデジタルであるため、ファックスアクセサリと互換性がない場合があります。ファックス機をデジタル **PBX** システムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (**ATA**) が必要になる場合があります。
 - **ロールオーバー回線：** 最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタを接続してください。ファックスアクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックスアクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電流からファックスアクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージサービスの呼び出し回数設定がファックス アクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージサービスが呼び出しに応答するため、ファックス アクセサリでファックスを受信できません。ファックス アクセサリの呼び出し回数設定がメッセージサービスの呼び出し回数設定がよりも少ない場合は、ファックス アクセサリですべての呼び出しに応答します。


電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。


ファックス アクセサリのステータスの確認

アナログ ファックス アクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. ホーム画面をスクロールし、[管理](#) ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [レポート](#)
 - [設定/ステータス ページ](#)
 - [設定ページ](#)
3. [印刷](#) ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示](#) ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、[Jetdirect](#) ページに記載されています。

設定ページのファックス アクセサリ ページで、[\[ハードウェア情報\]](#) という見出しの下にある [\[モデムステータス\]](#) を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

 **注記：** ファックス アクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログ ファックス アクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

動作中/使用可能 ¹	アナログ ファックス アクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 ¹	ファックス アクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。 ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、 HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。 注記： LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロールパネルの ファックスをスキャン 機能を利用できません。

停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。
破損/使用可能/使用不可 ¹	ファックス アクセサリでエラーが発生しました。ファックス アクセサリ カードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログファックス アクセサリ カードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログファックス アクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログファックスはオフ)。

一般的なファックスの問題

ファックスに関する一般的な問題の一部を以下に示します。

ファックスを送信できない

JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。

[JBIG] 設定をオフにします。

プリンタのコントロールパネルに【メモリ不足です】というステータスメッセージが表示される

プリンタのストレージディスクが満杯になっています。

ディスクから保存ジョブをいくつか削除します。プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**デバイスメモリから取得** ボタンをタッチします。保存ジョブまたは保存ファックスのリストを開きます。削除するジョブを選択し、**削除** ボタンをタッチします。

写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される

間違ったページコンテンツ設定または解像度設定を使用しています。

テキスト/画像の最適化 オプションを **フォト** に設定して試してください。

停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された

送信プロセスのジョブが長すぎると、ジョブをキャンセルできません。

これは正常な動作です。

ファックス アドレス帳ボタンが表示されない

選択した連絡先リスト内のどの連絡先にも、ファックス情報が関連付けられていません。

HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。

ドロップダウン メニューから **【デジタル送信とファックス】** を選択します。

オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。

これは正常な動作です。

受信者ボックスに名前と番号が混在している

ソース データに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックス アドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される

ファックス ヘッダがファックスの上部に付加されると、テキストが 2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを 1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダをオーバーレイ モードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

ファックス アクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

音量設定を調整する必要があります。

ファックスの送信設定 メニューおよびファックスの受信設定 メニューで音量を調整します。

索引

記号/数字

- 1 枚の用紙に印刷するページ数
 - 選択 (Mac の場合) 56
 - 選択 (Windows の場合) 53
- 1 枚の用紙に複数ページ印刷 (Mac の場合) 56
- 印刷 (Windows の場合) 53
- 550 枚給紙トレイ
 - 製品番号 34
- 550 枚トレイ
 - 詰まり 171

A

- AirPrint 63
- Android デバイス
 - 印刷元 64

B

- Bonjour
 - 識別 122

E

- Ethernet (RJ-45)
 - 位置 4
- Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 122

H

- HP ePrint 62
- HP ePrint ソフトウェア 63
- HP Web Jetadmin 143
- HP Web サービス
 - 有効化 129
- HP カスタマ ケア 146
- HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - 機能 122

HP 内蔵 Web サーバ (EWS)

- ネットワーク接続 122
- HP 内蔵 Web サーバ
 - HP Web サービス 129
 - 印刷設定 125
 - コピー設定 125
 - 情報ページ 123
 - スキャン設定 126
 - セキュリティ設定 128
 - 全般的な設定 124
 - [その他のリンク] リスト 131
 - デジタル送信設定 126
 - トラブルシューティング用ツール 128
 - ネットワーク設定 129
 - ネットワーク設定の変更 134
 - 開く 134
 - ファックス設定 127
 - プリンタ名の変更 134
- HP ユーティリティ (Mac)
 - Bonjour 132
 - 機能 132
- HP ユーティリティ、OS X 132
- HP ユーティリティ 132

I

- Internet Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 122
- IPsec 139
- IPv4 アドレス 135
- IPv6 アドレス 135
- IP セキュリティ 139

J

- Jetadmin、HP Web 143

L

- LAN ポート
 - 位置 4

M

- Mac ドライバ設定
 - ジョブ保存 59

N

- Near Field Communication 印刷 64
- Netscape Navigator、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 122
- NFC アクセサリ
 - 製品番号 34
- NFC 印刷 64

O

- OHP フィルム
 - 印刷 (Windows) 53
- OS X
 - HP ユーティリティ 132

R

- RJ-45 ポート
 - 位置 4

T

- TCP/IP
 - IPv4 パラメータの手動設定 135
 - IPv6 パラメータの手動設定 135

U

- USB ドライブ
 - 送信先 110
- USB ストレージ アクセサリ
 - 印刷元 66

- USB ポート
 - 位置 4
 - 有効化 66
- USB ポート、オプション
 - 製品番号 34
- W**
- Web サイト
 - HP Web Jetadmin、ダウンロード 143
- Web サイト
 - カスタマ サポート 146
- Web ブラウザ要件
 - HP 内蔵 Web サーバ 122
- Wi-Fi ダイレクト印刷 64
- あ**
- アクセサリ
 - 製品番号 34
 - 注文 34
- い**
- 印刷ジョブの保存 58
- 印刷設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 125
- 印刷、両面
 - Mac 55
 - Windows 52
- 両面印刷
 - 手差し、Windows 52
- 印刷
 - USB ストレージアクセサリから 66
 - 保存ジョブ 60
- インタフェース ポート
 - 位置 4
- イーザーアクセス USB 印刷 66
- う**
- ウィザード、ファックス設定 115
- え**
- エネルギー使用、最適化 140
- お**
- オペレーティング システム、対応 9
- オン/オフ ボタン
 - 位置 2
- オンライン サポート 146
- オンライン ヘルプ、コントロール
 - パネル 147
- か**
- 稼動音仕様 15
- カスタマ サポート
 - オンライン 146
- 紙詰まり
 - 550 枚トレイ 171
 - 自動ナビゲーション 161
 - トレイ 1 164
 - トレイ 2 166
 - 排紙ビン 181
 - 場所 160
 - フューザ 176
 - 文書フィーダ 161
 - 右のドア 176
- カラー オプション
 - 変更、Windows 187
- カラー テーマ
 - 変更、Windows 187
- ガラス、クリーニング 184, 191, 197, 203
- カラー
 - 校正 188
- カートリッジ
 - 交換 38
 - 注文番号 38
- き**
- 技術サポート
 - オンライン 146
- 給紙トレイ
 - 製品番号 34
- 給紙の問題 214
- キーパッド
 - 位置 2
- く**
- クリーニング
 - ガラス 184, 191, 197, 203
 - 用紙経路 184
- クリーニング
 - ローラー 157, 194, 200, 207
- け**
- 言語の選択ボタン
 - 位置 4
- ゲートウェイ、デフォルトの設定 135
- こ**
- 交換部品
 - 製品番号 36
- 交換
 - ステイプル 46
 - トナー回収ユニット 43
 - トナーカートリッジ 38
- 更新ボタン
 - 位置 4
- 校正
 - カラー 188
 - スキャナ 192
- 高速 USB 2.0 ポート USB ポート
 - 位置 4
- コピー
 - 単一コピー 70
 - テキストまたは画像の最適化 194
 - 複数コピー 70
 - 両面 71
- コピー設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 125
- コントロール パネル
 - 位置 2
 - 機能の位置 4
 - ヘルプ 147
- さ**
- 最小マージン コピー 194
- 最小マージン 194
- 最適化、コピー結果 194
- サインアウト ボタン
 - 位置 4
- サインイン ボタン
 - 位置 4
- 削除
 - 保存ジョブ 60
- サブネット マスク 135
- サプライ品
 - 残量わずかのしきい値に達したときの設定 149
 - 残量わずかのしきい値に達しても使用する 149
 - ステイプルの交換 46
 - ステータス、HP ユーティリティによる表示 (Mac) 132
 - 製品番号 36
 - 注文 34

- トナー回収ユニットの交換 **43**
- トナー カートリッジの交換 **38**
- サポート
 - オンライン **146**
- サプライ品のステータス **183**
- し**
- システム要件
 - HP 内蔵 Web サーバ **122**
 - 最小 **12**
- 仕様
 - 電気および稼動音 **15**
 - 重量、プリンタ **13**
 - 出荷時の設定に戻す **148**
- 情報ページ
 - HP 内蔵 Web サーバ **123**
- ジョブ保存
 - Windows の場合 **58**
- ジョブ、保存
 - Mac 設定 **59**
 - 印刷 **60**
 - 削除 **60**
 - 作成 (Windows の場合) **58**
- シリアル番号
 - 位置 **3**
- す**
- スキャナ
 - 校正 **192**
- スキャナ
 - ガラスのクリーニング **184, 191, 197, 203**
- スキャンした画像の最適化 **200**
- スキャンして USB ドライブに保存 **110**
 - デフォルトのオプションの設定 **99**
 - ファイル設定の設定 **102**
 - 有効化 **99**
- スキャンして USB に保存 **110**
- スキャンして電子メール送信
 - 文書を送信 **108**
- スキャンしてフォルダに保存 **109**
- スキャン
 - テキストまたは画像の最適化 **200**
- スキャン設定
 - HP 内蔵 Web サーバ **126**
- スキャンデータをネットワーク フォルダに送信 **109**
- 初期セットアップ **87**
- スタンド
 - 製品番号 **34**
- ステイプラ
 - 使用 **31**
 - トラブルシューティング **31**
- ステイプル
 - 交換 **46**
- ステータス
 - HP ユーティリティ、Mac **132**
- ステータス、ファックス アクセサリ ページ **213**
- スリープ ボタン
 - 位置 **4**
- スリープ モード **140**
- 寸法、プリンタ **13**
- せ**
- 製品番号
 - アクセサリ **34**
 - 位置 **3**
 - 交換部品 **36**
 - サプライ品 **36**
 - トナー カートリッジ **36**
- セキュリティ
 - 暗号化されたハードディスク **139**
- セキュリティ設定
 - HP 内蔵 Web サーバ **128**
- 設定
 - 出荷時に戻す **148**
 - 必須 **115**
- セット
 - トレイ 1 の用紙 **20**
 - トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙 **24**
- 全般的な設定
 - HP 内蔵 Web サーバ **124**
- そ**
- 速度、最適化 **140**
- [その他のリンク] リスト
 - HP 内蔵 Web サーバ **131**
 - ソフトウェア **132**
 - HP ユーティリティ **132**
- た**
- 代替レターヘッドモード **22, 27**
- ち**
- 注文
 - サプライ品とアクセサリ **34**
- つ**
- 詰まり
 - 550 枚トレイ **171**
 - 場所 **160**
 - 右のドア **176**
- 紙詰まり
 - 原因 **161**
 - トレイ 1 **164**
 - トレイ 2 **166**
 - 排紙ビン **181**
 - フューザ **176**
- て**
- 停止ボタン
 - 位置 **4**
- 手差し両面印刷
 - Mac **55**
 - Windows **52**
- デジタル送信設定
 - HP 内蔵 Web サーバ **126**
- 電気仕様 **15**
- デジタル送信
 - USB **110**
 - フォルダ **109**
 - 送信、文書 **108**
- デフォルト ゲートウェイ、設定 **135**
- 電源スイッチ
 - 位置 **2**
- 電源接続
 - 位置 **3**
- 電力
 - 消費 **15**
- 電子メールへの送信
 - 文書を送信 **108**
- 電子メール
 - 文書を送信 **108**
- 電力の使用
 - 1W 以下 **140**
- と**
- 特殊用紙
 - 印刷 (Windows) **53**

トナー カートリッジ ステータス
183
トナー回収ユニット
位置 3
交換 43
トナー カートリッジ
交換 38
コンポーネント 38
残量わずかのしきい値に達した
ときの設定 149
残量わずかのしきい値に達して
も使用する 149
製品番号 36
注文番号 38
ドライバ、対応 9
トラブルシューティング
給紙に関する問題 151
紙詰まり 161
ネットワークに関する問題
210
有線ネットワーク 210
トラブルシューティング用ツール
HP 内蔵 Web サーバ 128
トレイ 1
紙詰まり 164
封筒のセット 28
用紙の向き 21
トレイ 2 および 550 枚トレイ
セット 24
用紙の向き 26
トレイ 2
紙詰まり 166
トレイ
位置 2
収容枚数 7
付属 7

な
内蔵 Web サーバ (EWS)
機能 122
パスワードの割り当て 138
内蔵 Web サーバ (EWS)
ネットワーク接続 122
内蔵 Web サーバ
ネットワーク設定の変更 134
開く 134
プリンタ名の変更 134

ね
ネットワーク
HP Web Jetadmin 143
ネットワーク設定
HP 内蔵 Web サーバ 129
ネットワーク二重通信設定、変更
136
ネットワーク
IPv4 アドレス 135
IPv6 アドレス 135
サブネット マスク 135
設定、表示 134
設定、変更 134
対応 7
デフォルト ゲートウェイ 135
プリンタ名、変更 134
ネットワークの管理 134
ネットワーク フォルダ
問題解決 98
ネットワーク フォルダに送信
問題解決 98
ネットワーク フォルダ、保存先
109
ネットワーク ボタン
位置 4
ネットワークリンク速度、変更
136

は
排紙ビン
位置 2
紙詰まりの解消 181
ハードディスク
暗号化 139
ハード ドライブ
製品番号 34

ひ
必須設定
国/地域 115
ファックス 114
ビン、排紙
位置 2

ふ
ファイルのアップロード、Mac
132
ファックス イメージの最適化
206

ファックス設定
HP 内蔵 Web サーバ 127
必須 114
ファックス
設定ウィザード 115
セットアップ 114
必須設定 114, 115
ファックス
給紙の問題 214
テキストまたは画像の最適化
206
ファックス ポート
位置 4
ファームウェア
アップデート、Mac 133
封筒、セット 28
封筒
トレイ 1 にセット 20
フォルダ
送信先 109
フォルダ、ネットワーク
問題解決 98
フォント
アップロード、Mac 132
フォーマッタ
位置 3
部数、変更 70
フューザ
紙詰まり 176
プライベート印刷 58
ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 122
プリンタ ステータス 4
プリンタ ドライバ、対応 9
文書フィーダ
紙詰まり 161
給紙の問題 157

へ
ヘルプ、コントロール パネル 147
ヘルプ ボタン
位置 4
ページ数/分 7

ほ
保存ジョブ
印刷 60
削除 60

作成 (Mac) 59
作成 (Windows の場合) 58
保存、ジョブ
Mac 設定 59
ポート
位置 4
ホーム ボタン
位置 4

ま
マージン、最小
コピー 194

み
右のドア
詰まり 176
未設定 115

め
メモリ チップ (トナー)
位置 38
メモリ
付属 7

も
モバイル印刷
Android デバイス 64
モバイル印刷、対応ソフトウェア
13
問題解決
ネットワーク フォルダ 98

よ
用紙タイプ
選択 (Mac) 56
選択 (Windows) 53
用紙のピックアップに関する問題
解決 151, 153
用紙、注文 34
用紙
紙詰まり 161
トレイ 1 の向き 21
トレイ 1 への用紙のセット 20
トレイ 2 および 550 枚トレイの
セット 24
トレイ 2 および 550 枚トレイの
向き 26
用紙
選択 186

ら
ラベル
印刷 (Windows) 53
印刷用紙 29

り
両面印刷
Mac 55
Windows 52
手動 (Windows) 52
手動 (Mac) 55
設定 (Windows の場合) 52
両面に印刷する
設定 (Windows の場合) 52

ろ
ローカル エリア ネットワーク
(LAN)
位置 4
フォーマッタ
ロック 139
ローラー
クリーニング 157, 194, 200,
207

わ
ワイヤレス プリント サーバ
製品番号 34

© 2015 HP Development Company, L.P.

www.hp.com

